

RasterLink Pro5 TA

ソフトウェア RIP

ラスターリンクプロ5 TA

リファレンスガイド

GP シリーズ編

DM シリーズ編

カラーインクジェットプリンタ“GP シリーズ”、“DM シリーズ”用の RasterLinkPro5 TA の機能について説明しています。

マニュアルの種類と使い方

本装置には、次の説明書が付属しています。

インストールガイド

RasterLinkPro5 SG/RasterLinkPro5 IP/RasterLinkPro5 TA のインストール方法と RasterLinkPro5 の設定方法を説明します。

ネットワーク接続ガイド

RasterLinkPro5 へネットワーク接続するための設定方法を説明します。(マニュアル CD に PDF で保存されています)

リファレンスガイド

プリンタ共通編と各プリンタ編に分かれて機能および操作方法など、RasterLinkPro5 SG/RasterLinkPro5 IP/RasterLinkPro5 TA を使用していく上で必要な設定項目について説明しています。

お使いのプリンタに合わせたリファレンスガイドをお読みください。(マニュアル CD に PDF で保存されています)

ファームウェアアップデート取扱説明書

ミマキ製プリンタのファームウェアをアップデートするソフトウェア使用方法について説明します。
(マニュアル CD に PDF で保存されています)

今読んでいる
取扱説明書です。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用するメディア（ワーク）等の損失、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator および PostScript は、アドビシステムズ社の商標です。

Apple、Macintosh、Power Macintosh、Mac OS、Mac OSX は、Apple, Inc. の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は、Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国での登録商標または商標です。

本書で記載する「カラーコレクション」の DIC カラーは、DIC カラーガイドに基づくデータで作成しました。DIC 及び DIC カラーガイドは大日本インキ化学工業株式会社の登録商標です。

PC MACLAN は Miramar Systems, Inc. の米国における登録商標です。

使用されているすべての Corel の商標は、カナダ、アメリカ合衆国およびその他の国の Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書について

本書は、カラーインクジェットプリンタ“GP シリーズ”、“DM シリーズ”に作図するための“RasterLinkPro5 TA”の取り扱いについて説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“フルカラー”のように“”で囲っています。

ダイアログに表示されているボタンは、**設定終了** のように で囲っています。

マークについて



操作を行う上で、注意する点を説明しています。



知っていると便利な事について説明しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

用語について

- ジョブ： RasterLinkPro5 TA が取り扱う印刷ファイルのことを“ジョブ”と称します。
Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトウェアから出力した各種フォーマットの入力データを RasterLinkPro5 TA にスプールすると RasterLinkPro5 TA に登録され、ジョブになります。
- 幅： RasterLinkPro5 TA の設定画面で表示する“幅”とは、プリンタのヘッドが動く方向（Y 方向）を指します。
- 送り： RasterLinkPro5 TA の設定画面で表示する“送り”とは、プリンタのメディアが動く方向（X 方向）を指します。

目次

マニュアルの種類と使い方	2
ご注意	3
この取扱説明書について	4
本文中の表記について	4
マークについて	4
用語について	4
ジョブの編集	10
画像編集	10
画像編集画面	10
サムネイルリスト	11
複数ジョブの入れ替え	12
レイアウトプレビュー	13
画像を拡大 / 縮小する (スケール)	14
倍率を指定して拡大 / 縮小して印刷	14
画像のサイズを指定して拡大 / 縮小して印刷	15
画像の幅方向と送り方向の比率を変えて印刷	15
印刷データの向きを変えて印刷 (回転)	16
ミラー印刷 (ミラー)	17
メディア上の任意の位置に印刷 (移動)	18
数値を指定して移動する	18
マウスで自由な位置に配置	18
キーボードによる画像の移動	19
印刷データを複数印刷 (コピー)	20
コピー間隔	21
余白指定	21
ピッチ指定	21
配置方法とネストの関係について	22
トリミング印刷 (トリミング)	23
印刷情報ラベル印刷	24
トンボを印刷する	25
カラーインクと同時に抜染液を使用する (抜染合成 - GP-604D, GP-1810D)	26
抜染合成例	26
LED ポインタを取得してジョブの位置合わせを行う (GP-604 シリーズ)	27
LED ポインタの位置を取得する	27
画像の幅をプリントエリアの幅に合わせる	28
画像の長さをプリントエリアの送り長に合わせる	29
画像の大きさをプリントエリアに合わせる	29
ジョブの配置位置を指定する	30
画像基準点を指定してジョブの位置合わせを行う (GP-1810 シリーズ)	32
画像基準点を指定する	32
ジョブの配置位置を指定する	33

作図領域内でジョブの位置合わせを行う (GP-604 シリーズ, GP-1810 シリーズ).....	34
作図領域位置合わせを有効にする.....	34
画像の幅を作図領域の幅に合わせる.....	34
画像の幅を作図領域の送り長に合わせる.....	35
画像の幅を作図領域に合わせる.....	35
作図領域内の配置位置を指定する.....	36
複数のジョブを一度に印刷する (グループ化).....	38
面付け (GP/DM シリーズ全機種).....	38
合成 (GP-604S).....	38
面付けの指定方法.....	39
“ジョブ一覧” 上で面付けする.....	39
ジョブの編集集中に面付けするジョブを追加する.....	41
面付けの解除.....	43
面付けジョブ編集集中の面付け解除.....	44
面付けに固有の機能 (配置 - 整列).....	45
画像を整列する (画像が複数ある場合).....	45
画像を整列する (画像が1つの場合).....	46
合成の指定方法 (GP-604S のみ).....	47
合成した複数ジョブの出力順設定 (GP-604S のみ).....	48
合成に固有の機能 (GP-604S のみ).....	49
画像を重ね合わせる (整列).....	49
カラー編集.....	51
カラーマッチングの設定を行う.....	51
カラー調整を編集する.....	53
カラー調整セットを作成する.....	54
カラー調整セットを削除する.....	55
カラー調整セットを更新する.....	55
インク濃度の調整.....	56
全てのインク濃度を調整する.....	56
イラスト部分、イメージ部分のインク濃度を調整する.....	57
より詳細にカラー調整をするには (インクカーブ).....	58
バージョン 1.0、2.0 のデバイスプロファイル.....	58
バージョン 3.0 のデバイスプロファイル.....	59
インクカーブを調整する.....	60
キーボードによるインクカーブの設定.....	63
K-CMY 比率調整.....	65
色置換.....	66
色置換の方法.....	66
スポットカラー名に対して色置換する.....	66
CMYK に対して色置換する.....	67
グラデーションに対して色置換する.....	67
CMYK どれか 1 色を複数のインクへ色置換する.....	67
色置換画像の作成方法.....	68
色置換可能な画像の条件.....	68
スポットカラーの作成.....	68

色置換画面	71
スポットカラー	71
グラデーション	73
単色	74
色置換セットの作成	75
色置換セットの更新	76
色置換セットの選択	77
色置換セットの削除	77
スポットカラー・CMYK カラーの置換	78
置換する元の色を指定	78
置換する元の色を選択を解除	78
置換後のインク情報の作成	79
置換後のインク情報の削除	83
表示の切り替え	84
置換情報一覧	84
プレビュー	85
スウォッチライブラリを作成する	85
グラデーション置換をするには	86
色置換できるグラデーションの制約	86
グラデーション置換の設定	87
単色の置換	88
原稿の色を取得する（色取得）	89
色取得の流れ	89
色取得	90
カラーコレクション	93
DIC カラーガイドに近似させて印刷する	93
特色調整（GP-604S のみ）	98
ハイライト部を特色で強調する	98
特色版を自動的に作成する（自動特色版合成）	100
自動特色版合成例	101
合成順例	101
インクリミットを編集する	102
特色調整セットを作成する	102
特色調整セットを削除する	103
特色調整セットを更新する	103
インクカーブを調整する	104
特色版補正機能	105
印刷条件の編集	107
プロファイルの絞込み表示	110
[印刷モード] サブメニュー	111
[プロファイル情報] サブメニュー	113
[デバイス調整] サブメニュー	114
[キャリブレーション] サブメニュー	116

作図領域の編集	117
[作図領域] メニュー.....	117
プリントエリアビュー.....	119
[有効作図範囲] サブメニュー	121
GP-604、GP-604D.....	121
GP-604S、GP-1810 シリーズ、DM シリーズ.....	123
[原点] サブメニュー (GP-604S、GP-1810 シリーズ、DM シリーズ).....	125
キーボードによる原点の移動.....	126
[配置方法] サブメニュー (GP-604S、GP-1810 シリーズ、DM シリーズ).....	127
作図領域定義ファイルの登録.....	129
作図領域定義ファイルを作成する.....	129
作図領域定義ファイルの更新.....	129
作図領域定義ファイルの選択.....	130
作図領域定義ファイルの削除.....	130
複数ページのジョブ	131
メインウィンドウについて.....	131
“ジョブエディタ”について.....	131
ジョブの編集 (画像編集)	132
出力ページの決定.....	132
移動.....	132
トリミング.....	133
整列.....	133
コピー.....	134
条件管理について	135
[ホットフォルダ] サブメニュー	137
[画像編集] サブメニュー	138
[カラー編集] サブメニュー	139
[印刷条件] サブメニュー	140
[作図領域] サブメニュー	141
条件管理ウィンドウを表示する.....	142
条件セットの新規作成.....	142
条件の設定値を変更する.....	143
条件をジョブに適用する.....	145
[ホットフォルダ] サブメニュー	147
ホットフォルダとプリンタドライバの作成.....	147
PC MACLAN の自動設定について.....	149
ホットフォルダとプリンタドライバの削除.....	149
PC MACLAN の設定解除について.....	150

プリンタステータス表示機能	151
出力ポートが IEEE1394 の場合	151
“一般” 情報	151
“インク” 情報	152
“ヒータ” 情報 (GP-604 シリーズ)	153
“バージョン” 情報	153
出力ポートが IEEE1394 以外の場合	154
“インク” 情報	154
付録	155
色取得機能と対応スキャナについて	155
対応スキャナ	155
スキャナドライバの設定内容	156
抜染方法について	159
抜染方法の種類	159
抜染液のみでプリント	160
Photoshop での加工方法	161
Illustrator での加工方法	164
RasterLinkPro5 TA の設定	169
カラー画像と同時に出力する	170
索引	171

ジョブの編集

ジョブの編集方法を説明します。

ジョブを編集するには、“ジョブエディタ”を開きます。“ジョブエディタ”の開き方は、リファレンスガイドプリンタ共通編をご覧ください。

画像編集

画像の大きさ、出力位置などを指定します。

画像編集画面

The screenshot shows the 'GP-604D : ジョブエディタ (フルカラー)' window. The interface is divided into several sections:

- サムネイルリスト:** Located on the left, it shows a small thumbnail of the image being edited.
- 基本操作 (Basic Operations):** This section includes:
 - スケール (Scale):** A '有効' (Effective) checkbox and input fields for width and height in mm (currently 152.40 mm).
 - 回転 (Rotation):** A dropdown menu set to 'OFF' and a 'ミラー' (Mirror) checkbox.
 - 移動 (Move):** Input fields for width and height offsets in mm (currently 0.00 mm).
 - コピー (Copy):** A '間隔' (Interval) dropdown set to '1部' (1 part) and radio buttons for '余白指定' (Margin) and 'ピッチ指定' (Pitch).
 - 画像操作 (Image Operation):** A 'トリミング' (Trimming) section with a preview of the image.
- 入力幅 (Input Width):** A table showing input and output dimensions in mm.

入力 幅	152.40 mm	作図領域 幅	610.00 mm
送り	152.40 mm	送り	420.00 mm
出力 幅	152.40 mm		
送り	152.40 mm		
- 作図領域表示 (Drawing Area Display):** A large central area with a grid and a red bounding box around the image, indicating the printable area.
- カーソルキー移動量 (Cursor Key Move Amount):** A dropdown menu set to '1 mm'.
- レイアウトプレビュー (Layout Preview):** A section at the bottom right showing the final printed image.

Callout boxes provide further details:

- [画像サイズ表示]:** 選択ジョブの画像サイズと、画像編集後の出力サイズを表示します。
- [作図領域表示]:** プリントできる最大領域を表示します。
- [カーソルキー移動量]:** キーボードを使用して画像を移動する場合の移動量を指定します。(P. 19)
- [サムネイルリスト]:** ジョブの元画像をプレビューします。(P. 11)
- [設定画面]:** ジョブの大きさや位置などを設定します。機種により設定できる項目が異なります。
- [レイアウトプレビュー]:** 実際にメディアに印刷する画像をプレビューします。(P. 13)

サムネイルリスト

編集対象のジョブをサムネイル画像で一覧表示します。

画像編集を行っても、サムネイルの画像は更新しません。

画像をクリックすることで、選択ジョブを切り替えることができます。

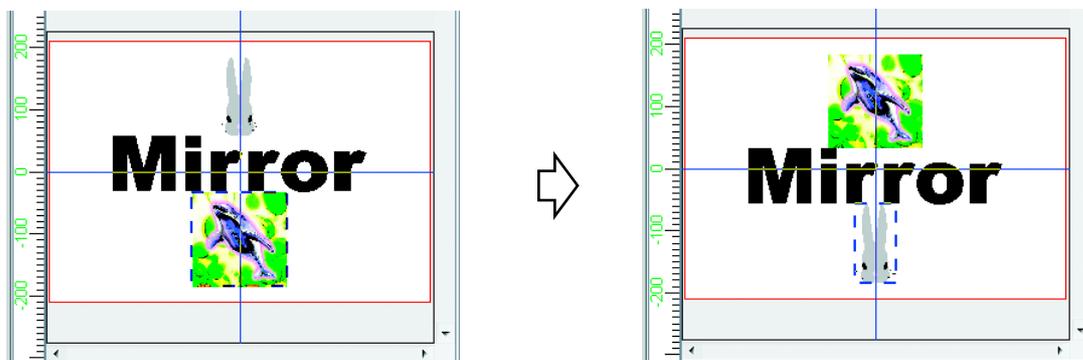
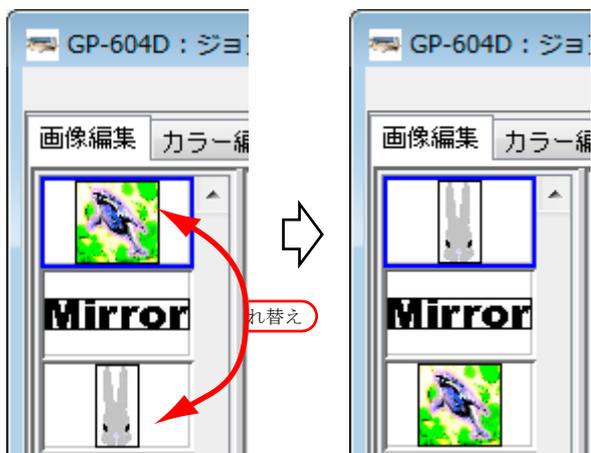
Ctrl キーを押しながらジョブをクリックすると、複数ジョブを選択できます。

サムネイル以外の場所をクリックすると、全ジョブの選択を解除します。



複数ジョブの入れ替え

順番を変更するには、変更したいジョブのサムネイルを選択し、ドラッグアンドドロップして順番を入れ替えます。



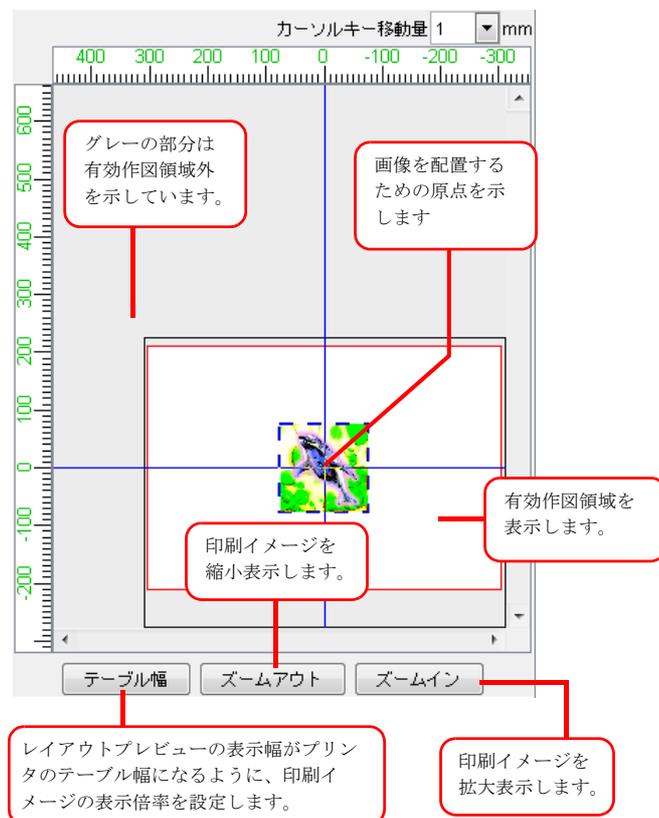
再配置した際のレイアウトプレビュー

レイアウトプレビュー

編集した画像の印刷イメージを表示します。

画像をクリックするとジョブを選択できます。

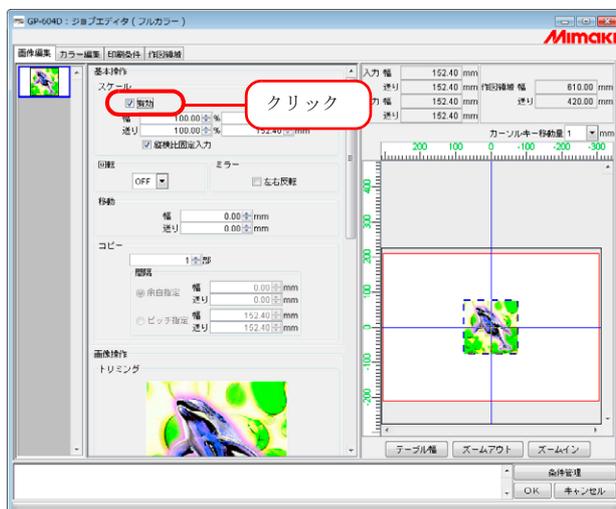
Ctrl キーを押しながらジョブをクリックすると、複数のジョブを選択できます。
画像が配置されていない場所をクリックすると、全ジョブの選択を解除します。



画像を拡大 / 縮小する(スケール)

画像の拡大 / 縮小を行う機能です。

“有効”をチェックしていない場合、アプリケーションソフトウェアで作成したデータの大きさに印刷します。

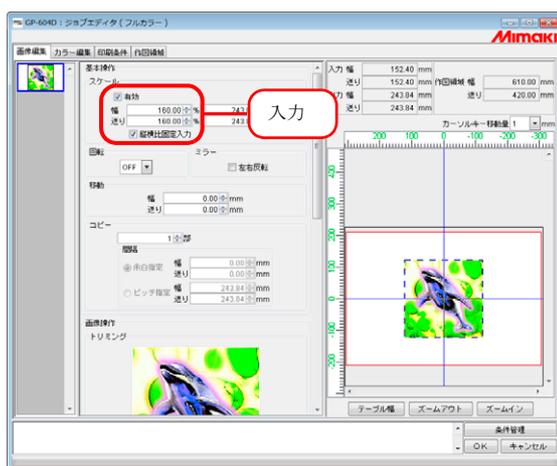


倍率を指定して拡大 / 縮小して印刷

“幅”と“送り”に倍率を入力します。



- 数値入力ボックス上で右クリックすると、上下矢印ボタンの増減量を設定できます。またキーボードの↑ ↓キーで、入力値の増減ができます。
- “縦横比固定入力”を有効にしておくと、どちらか一方の数値を入力したとき、他方を同じ比率で自動調整します。
- 100% に設定すると、アプリケーションソフトウェアで作成した画像の大きさに印刷します。

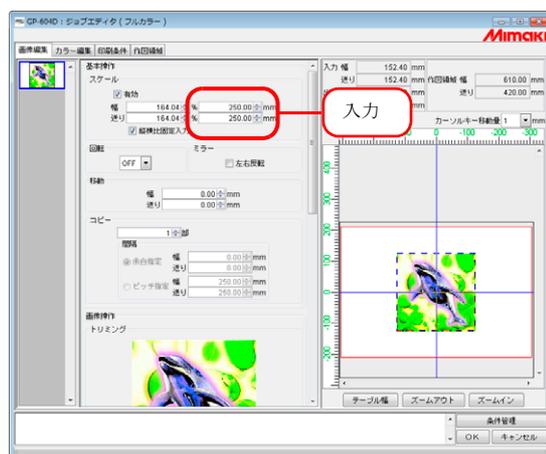


画像のサイズを指定して拡大／縮小して印刷

“幅”と“送り”に画像のサイズを入力します。

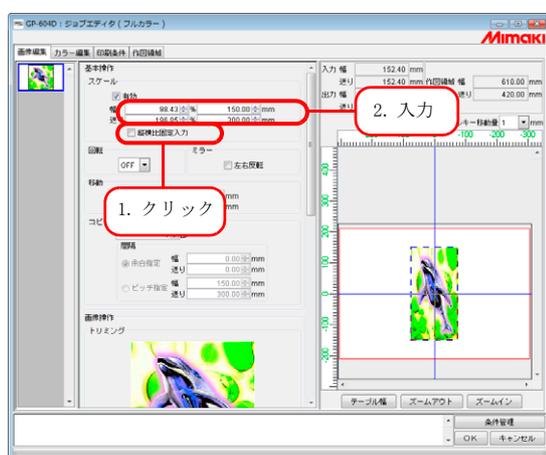


- “縦横比固定入力” を有効にしておく と、どちらか一方の数値を入力したとき、他方を同じ比率で自動調整します。
- サイズの単位はオプション設定で変更することができます。(リファレンスガイド プリント共通編 P.98)



画像の幅方向と送り方向の比率を変えて印刷

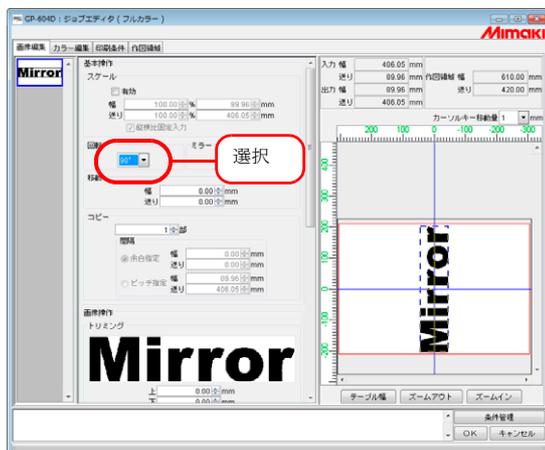
“縦横比固定入力” をクリックしてチェックを外します。
幅方向と送り方向の倍率または数値を設定します。



印刷データの向きを変えて印刷(回転)

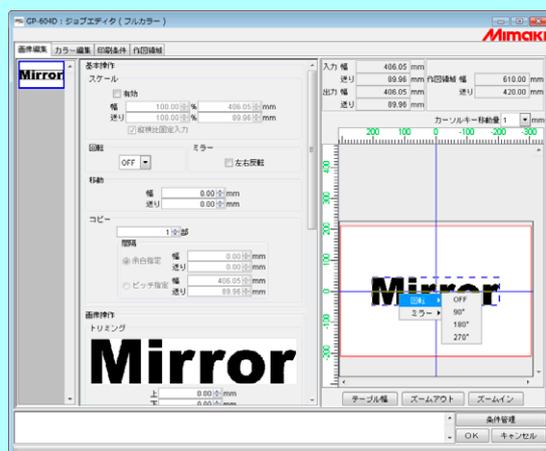
画像を回転させる角度を設定します。

回転角度を選択します。



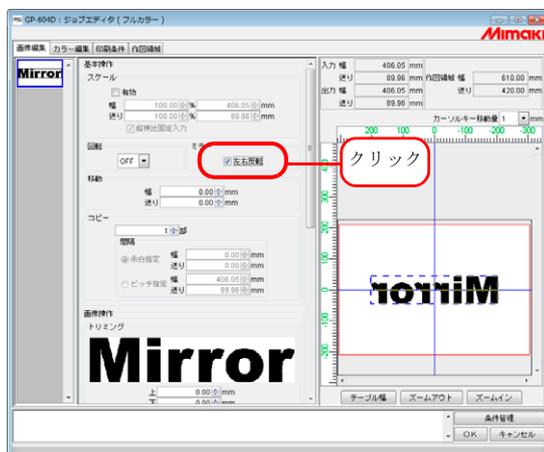
回転は次の方法でもできます。

回転処理するジョブを選択し、レイアウトプレビュー上で右クリックします。
ポップアップメニューから回転角度を選択します。

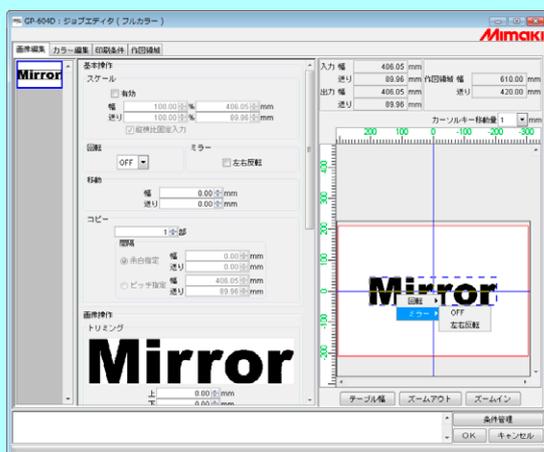


ミラー印刷(ミラー)

画像を鏡に映したように印刷します。
ミラー処理は、作成した画像の幅方向にかかります。
“左右反転”をチェックします。



ミラーは次の方法でもできます。
ミラー処理するジョブを選択し、レイアウトプレビュー上で右クリックします。
ポップアップメニューから“左右反転”を選択します。



メディア上の任意の位置に印刷(移動)

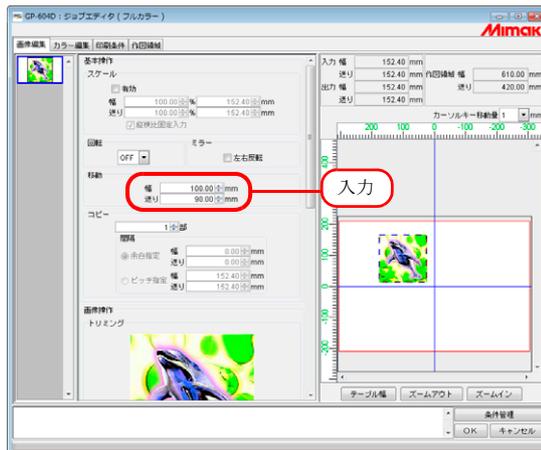
画像をメディア上の任意の位置に移動して印刷します。

重要!

有効作図エリアから画像の一部がはみ出している場合、はみ出している部分は印刷されません。
有効作図エリアから画像が完全にはみ出している場合、設定を保存できません。

数値を指定して移動する

“幅”、“送り”に移動量を入力します。



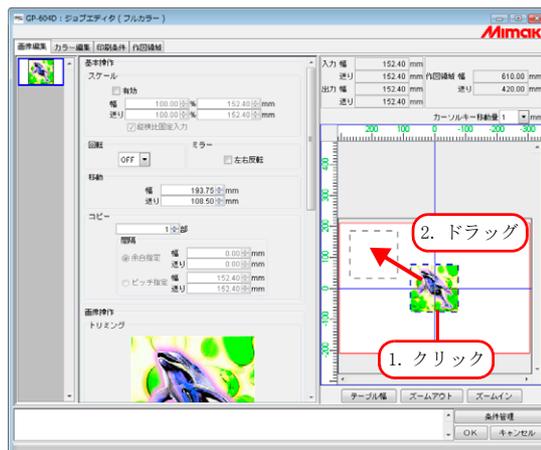
マウスで自由な位置に配置

レイアウトプレビューの画像をマウスでドラッグすると、自由な位置に配置することができます。

レイアウトプレビューの画像をクリックし、ジョブを選択します。

選択された画像は、青い点線で囲われます。

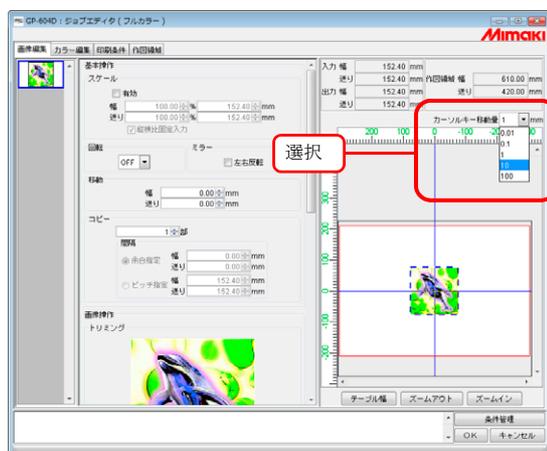
移動する位置までドラッグします。



キーボードによる画像の移動

キーボードの矢印キーを押すことで、画像を移動することができます。

- 1 “カーソルキー移動量”でキーボードの矢印キーを押したときの移動量を選択します。

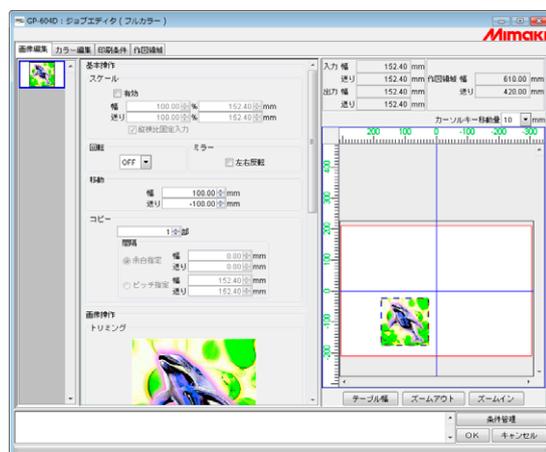


- 2 レイアウトプレビューの画像をクリックし、ジョブを選択します。

レイアウトプレビューが青い矩形で囲まれます。

キーボードの **Tab** キーを数回押してもレイアウトプレビューを選択できます。

レイアウトプレビューが選択された状態でキーボードの矢印キーを押し、画像を移動します。



印刷データを複数印刷(コピー)

同一画像を複数印刷します。

コピーは、画像をメディアの送り方向にコピーします。

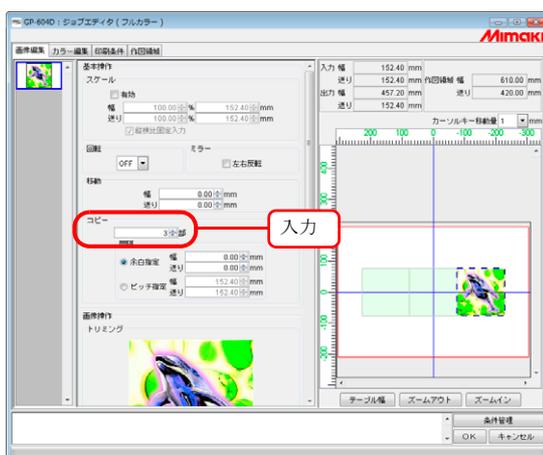
幅方向に画像の印刷が可能なスペースがある場合、幅方向にも画像をコピー（ネスティング）します。

間隔を設定すると、画像と画像の間に空白を設けます。

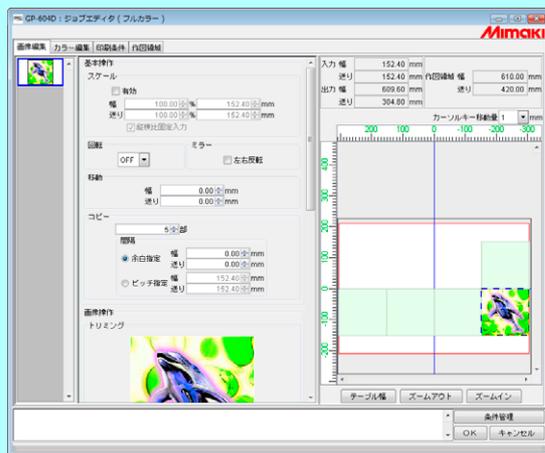
重要!

複数のジョブを同時に編集している場合、コピーの設定はできません。

コピー数を入力します。



コピーした画像は、自動的にネスティングします。



重要!

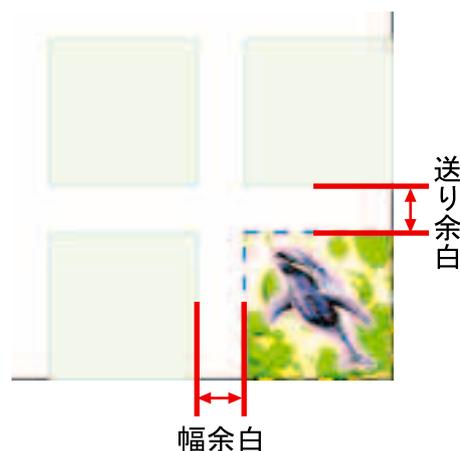
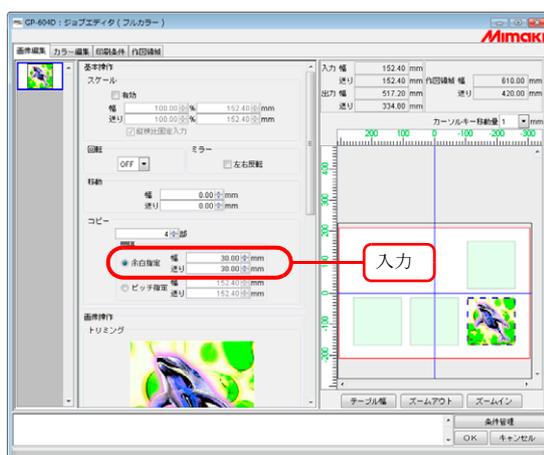
ネストする枚数は、現在のコピー間隔設定値、移動設定値および作図領域設定によって決まります。

コピー間隔

コピーを設定して印刷すると、隣り合う画像の境界が判りづらくなります。
隣り合う画像の境界が判るように間隔を設けます。

余白指定

“余白指定”を選択し、幅方向と送り方向の間隔量を入力します。

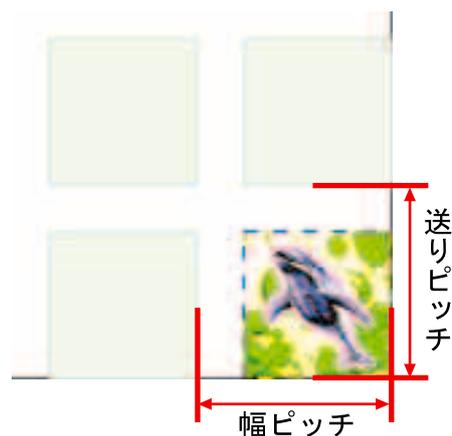
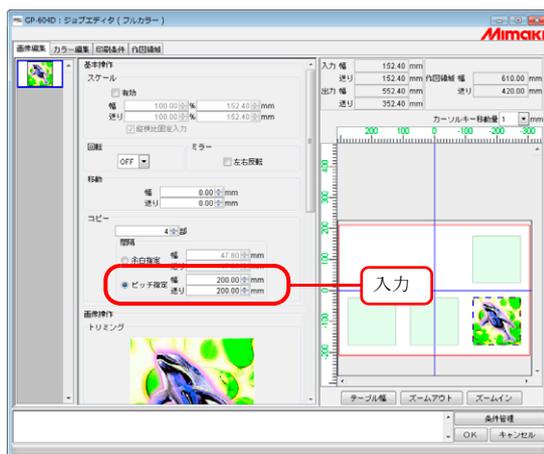


重要!

画像によってはRIP 処理の際、画像の境界に空白部分が挿入される場合があります。
このような画像の場合、余白を“0”に設定しても、RIP 処理で挿入された空白が画像と画像の間に入ります。

ピッチ指定

“ピッチ指定”を選択し、幅方向と送り方向のピッチ量を入力します。



配置方法とネストの関係について

ネストの枚数と配置方法は、配置方法（☞ P.127）の設定によって異なります。

詳細は、下の表を参照してください。

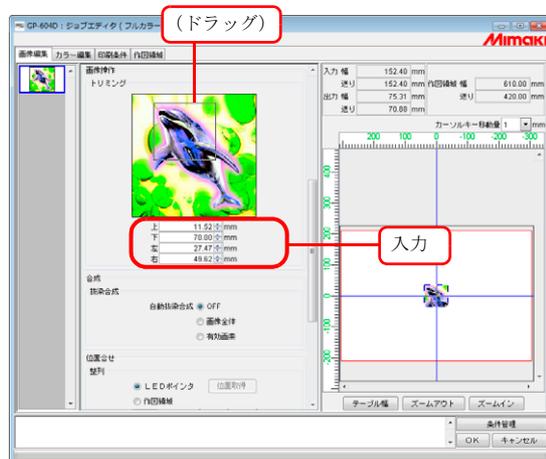
幅方向 送り方向	先端合せ	中央合せ	後端合せ
先端合せ			
中央合せ			
後端合せ			

トリミング印刷(トリミング)

画像を印刷する範囲を調整します。

“上”“下”“左”“右”にトリミング量を入力します。

表示画像の中をドラッグしても、トリミングの範囲を設定できます。



各トリミング量に“0”を入力するか、設定画像をクリックするとトリミングを解除します。

重要!

スケール、回転はトリミングされた後の画像に適用されます。このため、スケール、回転を変更しても、トリミングの位置は変わりません。また、トリミングの値は、スケール適用前の原寸で表示します。

印刷情報ラベル印刷

ジョブの左上に印刷情報ラベルを付加して印刷します。

重要!

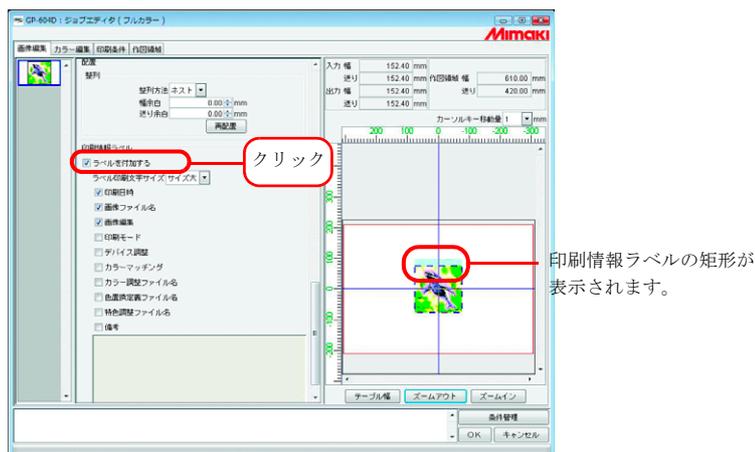
画像の幅方向の長さが 25.4mm 以下の場合、印刷情報ラベルを付加して印刷することはできません。

画像の幅方向の長さが短い場合、印刷情報のラベルが切れて印刷されることがあります。

“ラベルを付加する” をチェックします。

ラベルとして印刷したい項目をチェックします。

“備考” には、64 文字まで任意の文字を入力できます。



“ラベルを付加する” をチェックすると、出力サイズには印刷情報ラベルを含めたサイズを表示します。

トンボを印刷する

重要!

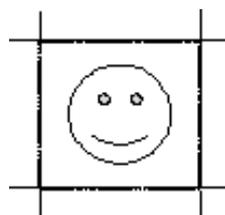
- “ラベルを付加する”を設定している場合、“トンボ”の設定はできません。“トンボ”をチェックした状態または“ラベルを付加する”の設定をすると、“トンボ”の設定がOFFになります。
- “トンボ”の“形状”でOFF以外を設定した状態で“カットライン印刷”をチェックすると、“トンボ”の“形状”がOFFになります。

画像の外側にカッティング用のトンボを印刷します。

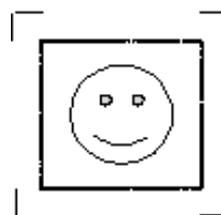
本システムで印刷した画像を、カッティングプロッタなどでカットする場合に使用します。カッティングプロッタはトンボを読み取ることによって、画像の正確な位置とサイズを検出することができます。

画像の外側に付加するトンボの印刷仕様は次の通りです。

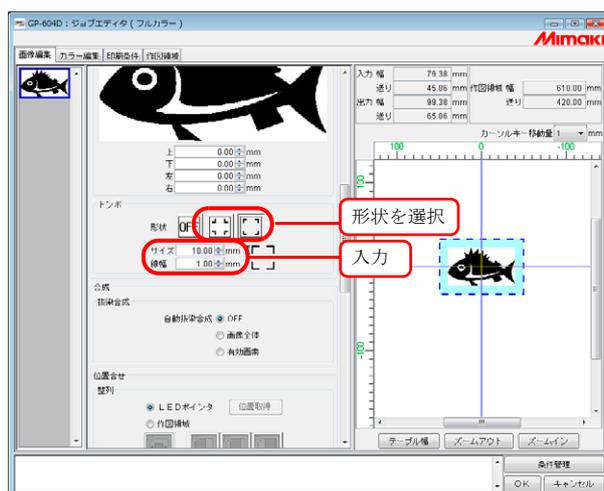
線幅 : 0.3 ~ 1.0 mm
 トンボ長さ : 4.0 ~ 40.0 mm



外トンボ



内トンボ



カラーインクと同時に抜染液を使用する (抜染合成 - GP-604D, GP-1810D)

カラーインクと同時に抜染液を出力します。

抜染液を使用するプリントの設定については、「抜染方法について」(P.159)を参照してください。

重要!

次の条件の場合のみ設定できます。

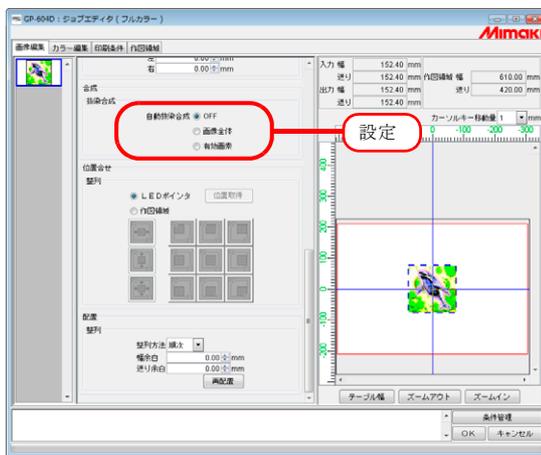
印刷条件 (P.107) で、インクセットが“抜染”以外を指定している。

1 抜染液の出力方法を設定します。

[自動抜染合成]

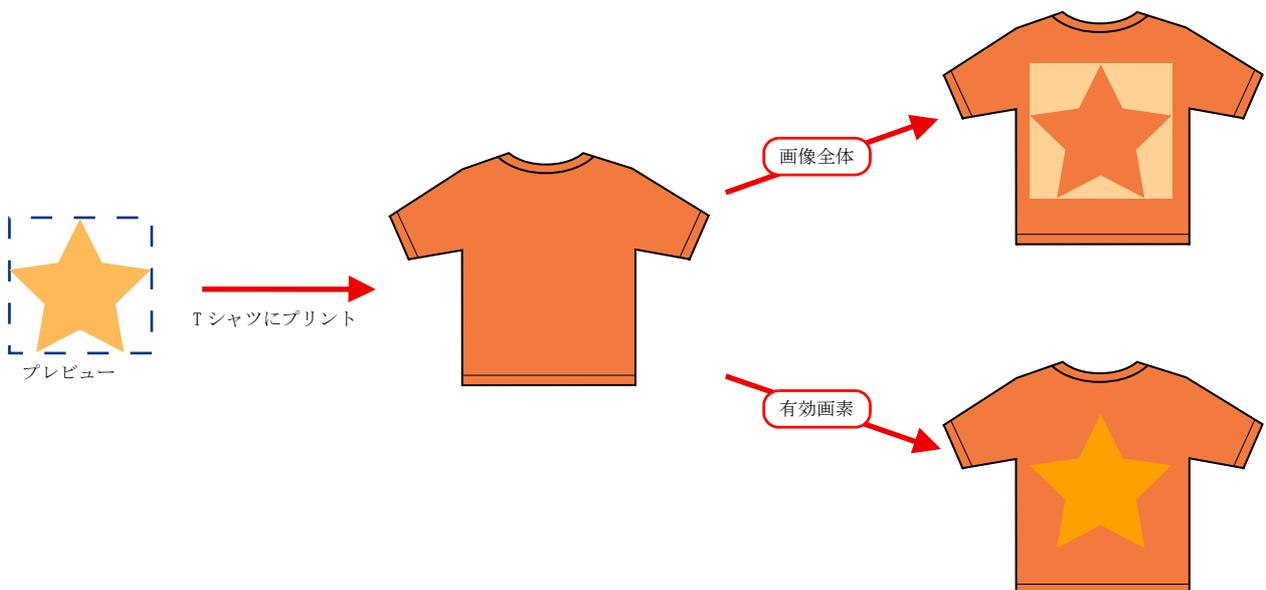
OFF 抜染液を出力しません

画像全体 . . . レイアウトプレビューの画像を囲む点線と、同じ大きさ・形で抜染液を出力します
有効画素 . . . 画像内の色がある部分のみの抜染液を出力します



抜染合成例

レイアウトプレビューで以下のように表示している画像を、それぞれの設定で出力し、処理を行った際の例です。



LED ポインタを取得してジョブの位置合わせを行う (GP-604 シリーズ)

プリンタから LED ポインタの設定位置を取得し、ジョブの配置位置を正確に指定できます。
LED ポインタは、プリンタであらかじめ設定しておきます。

重要!

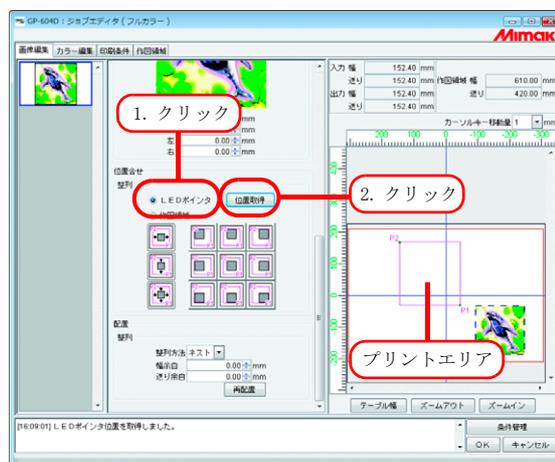
- ジョブを選択していない場合、**位置取得** ボタンをクリックできません。
- 出力ポートに IEEE1394 を選択していない場合、**位置取得** ボタンをクリックできません。
- 複数のジョブを選択している場合や、コピーを 2 部以上設定している場合、LED ポインタの位置を取得できません。
- プリンタで印刷原点・プリントエリアの設定をしていない場合、初期値として最大作図エリア [P1 (0, 0), P2 (610, 420)] を設定します。
- LED ポインタの各設定は、LED ポインタの位置を取得したときのみ有効です。
- LED ポインタの位置を取得できない場合、以下のことを確認してください。
 - ① プリンタの電源が入っている
 - ② PC とプリンタが IEEE1394 で接続してある

LED ポインタの位置を取得する

“LED ポインタ” をクリックします。

位置取得 ボタンをクリックします。

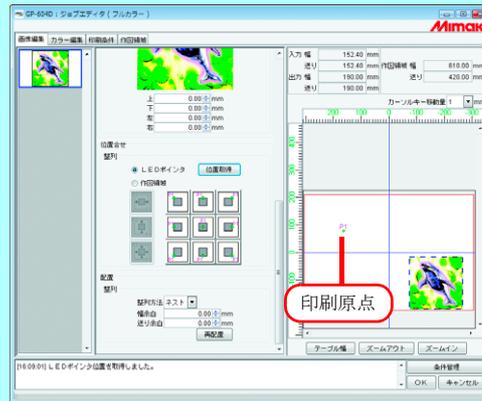
LED ポインタの位置を取得し、プリントエリアビューに表示します。



プリントエリアを取得した場合、P1 (印刷原点) と P2 (原点からの座標値) の座標位置を表示します。

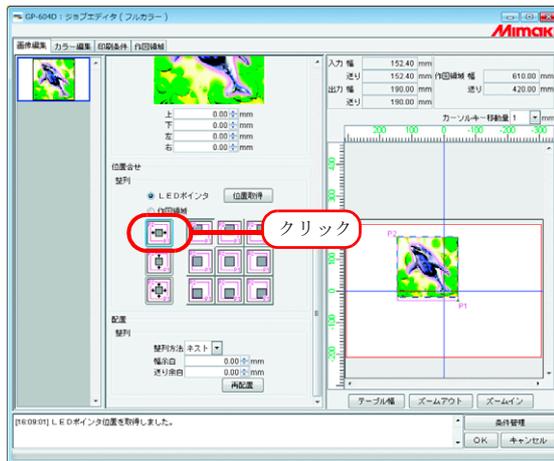


印刷原点を取得した場合、P1の座標位置のみを表示します。



画像の幅をプリントエリアの幅に合わせる

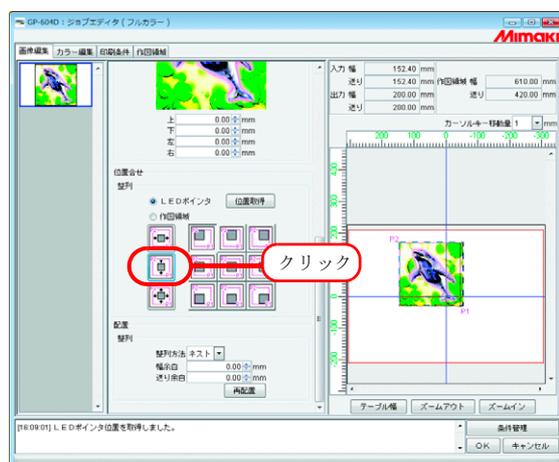
幅方向フィット ボタンをクリックします。
プリントエリアの幅にプリントデータの幅を合わせます。



縦横比固定で拡大縮小します。
“スケール”の“縦横比固定入力”に自動的にチェックが付きます。

画像の長さをプリントエリアの送り長に合わせる

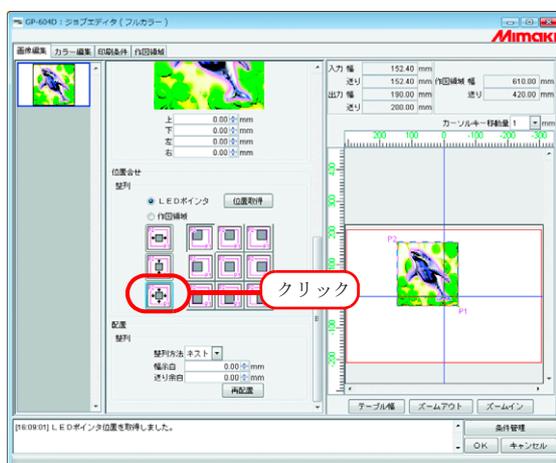
送り方向フィットボタンをクリックします。
 プリントエリアの長さにプリントデータの長さを合わせます。



縦横比固定で拡大縮小します。
 “スケール”の“縦横比固定入力”に自動的にチェックが付きます。

画像の大きさをプリントエリアに合わせる

両方向フィットボタンをクリックします。
 プリントエリアの幅・長さに、プリントデータの幅・長さを合わせます。



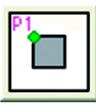
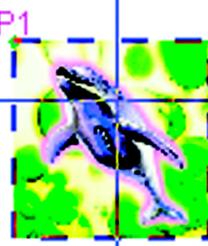
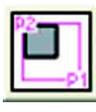
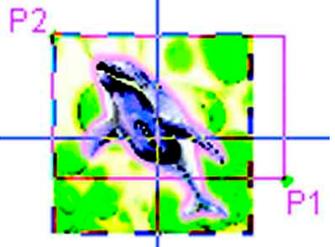
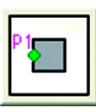
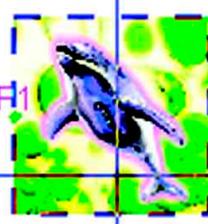
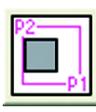
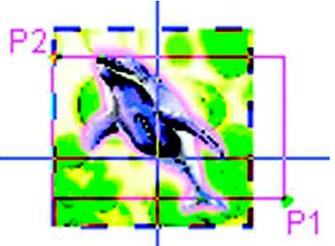
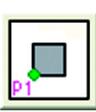
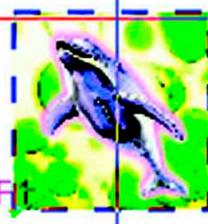
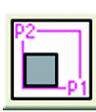
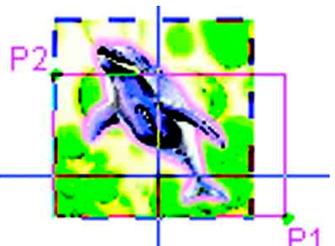
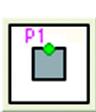
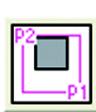
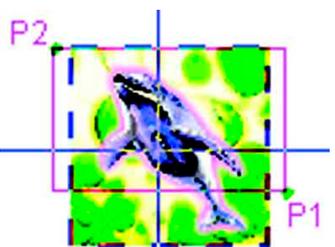
縦横の比率を変えて拡大縮小します。
 “スケール”の“縦横比固定入力”のチェックは、自動的に外れます。

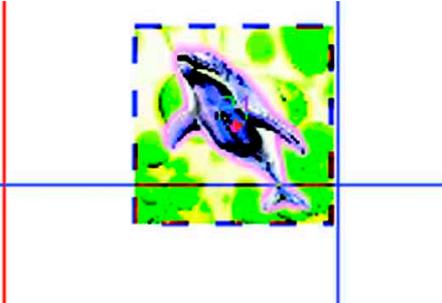
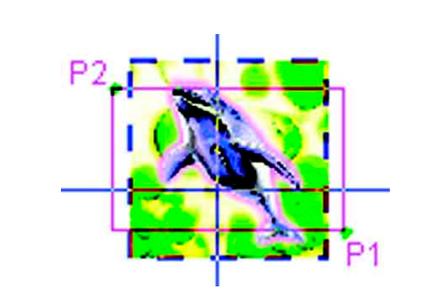
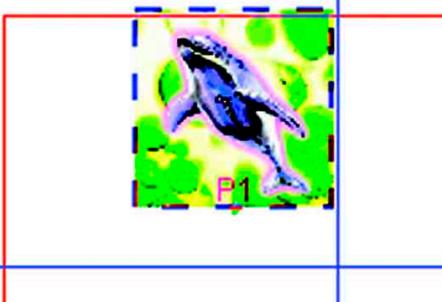
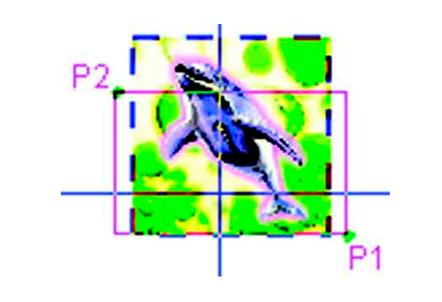
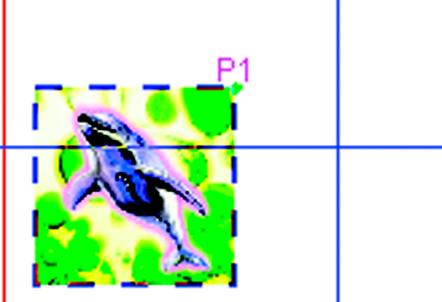
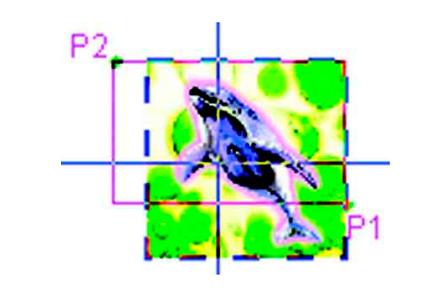
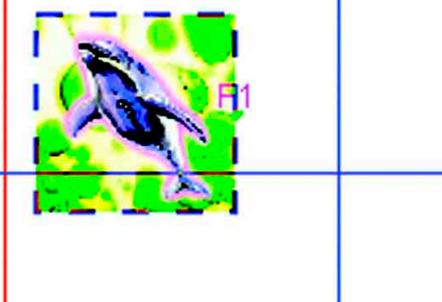
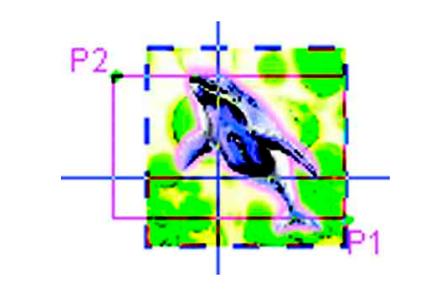
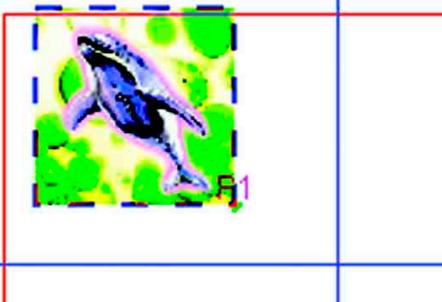
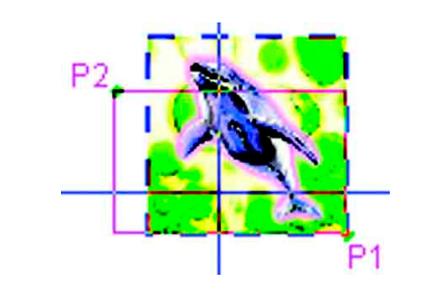
重要!

- 画像をプリントエリア内にフィットさせることは、プリントエリアを取得した場合のみ設定できます。
- LEDポインタの設定を元に戻すには、**再配置** ボタンをクリックし、“スケール”が“有効”になっている場合はチェックを外します。

ジョブの配置位置を指定する

ジョブは、印刷原点またはプリントエリアに合わせて9通りの配置ができます。

LED ポインタ 指定 マーク	印刷原点	LED ポインタ 指定 マーク	プリントエリア
			
			
			
			

LED ポイ ンタ 指定 マーク	印刷原点	LED ポイ ンタ 指定 マーク	プリントエリア
			
			
			
			
			

画像基準点を指定してジョブの位置合わせを行う (GP-1810 シリーズ)

プリンタ原点からの画像基準点を指定し、ジョブの配置位置を正確に指定できます。

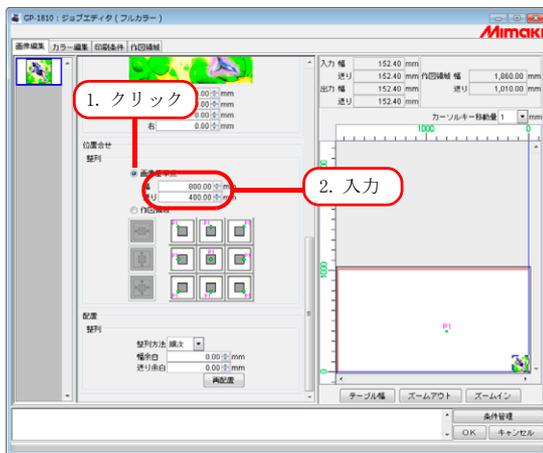
重要!

コピーを2部以上設定しているジョブの位置合わせはできません。

画像基準点を指定する

“画像基準点”をクリックします。

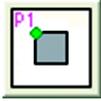
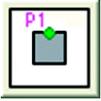
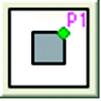
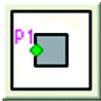
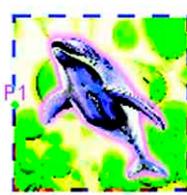
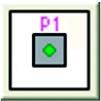
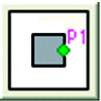
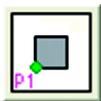
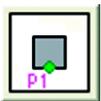
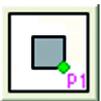
“幅”と“送り”に画像基準点とする座標値を入力します。



- 画像基準点は、プリンタ原点からの座標位置を設定します。
- 画像基準点は、レイアウトプレビュー上でP1と表示します。

ジョブの配置位置を指定する

ジョブは、画像基準点に合わせて9通りの配置ができます。

指定 マーク	画像基準点	指定 マーク	画像基準点	指定 マーク	画像基準点
					
					
					

作図領域内でジョブの位置合わせを行う (GP-604シリーズ, GP-1810シリーズ)

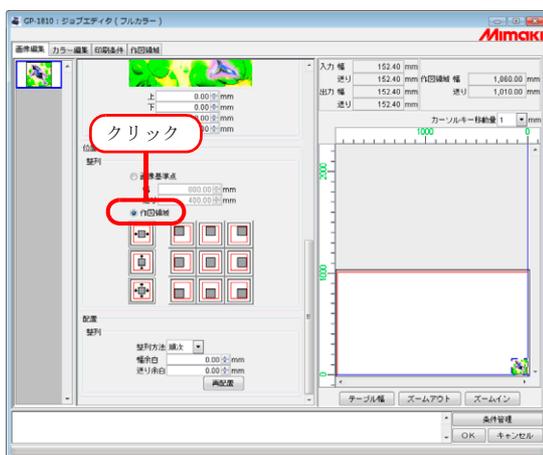
作図領域内で、ジョブを指定した位置に正確に配置できます。
また、作図領域の大きさに合わせて画像を拡大・縮小できます。

重要!

コピーを2部以上設定しているジョブの位置合わせはできません。

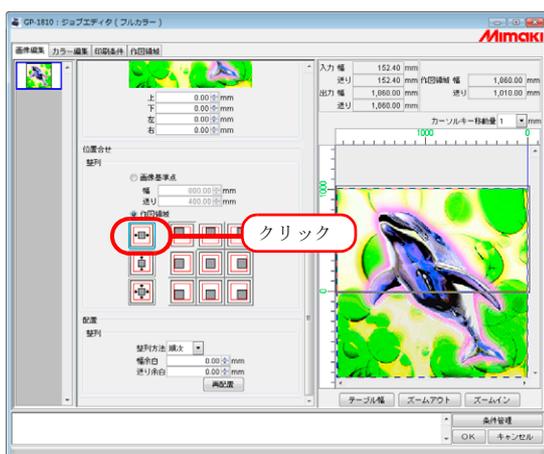
作図領域位置合わせを有効にする

“作図領域”をクリックします。
各ボタンが有効になります。



画像の幅を作図領域の幅に合わせる

幅方向フィットボタンをクリックします。
有効作図範囲の幅にプリントデータの幅を合わせます。

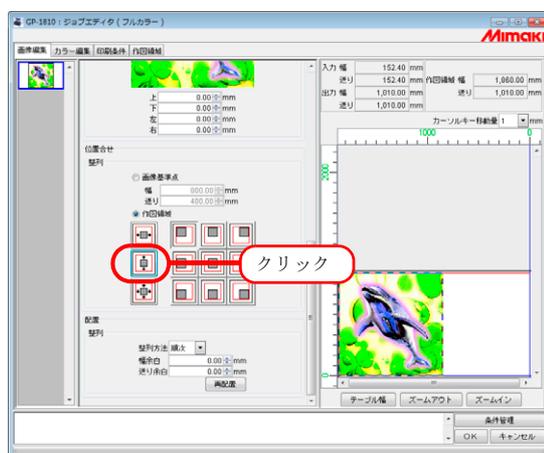


縦横比固定で拡大縮小します。

“スケール”の“縦横比固定入力”に自動的にチェックが付きます。

画像の幅を作図領域の送り長に合わせる

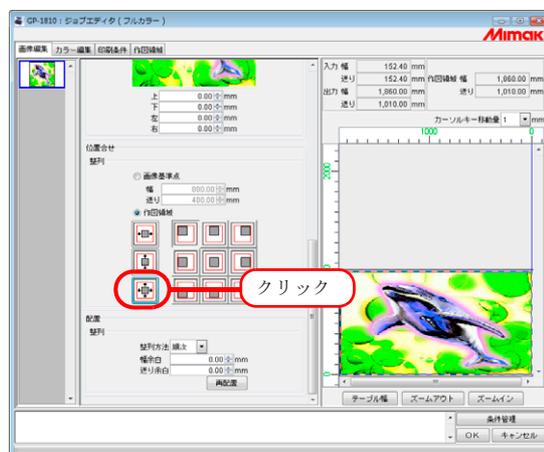
送り方向フィットボタンをクリックします。
有効作図範囲の長さにプリントデータの長さを合わせます。



縦横比固定で拡大縮小します。
“スケール”の“縦横比固定入力”に自動的にチェックが付きます。

画像の幅を作図領域に合わせる

両方向フィットボタンをクリックします。
有効作図範囲の幅・長さに、プリントデータの幅・長さを合わせます。



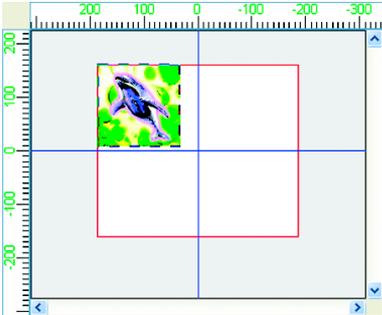
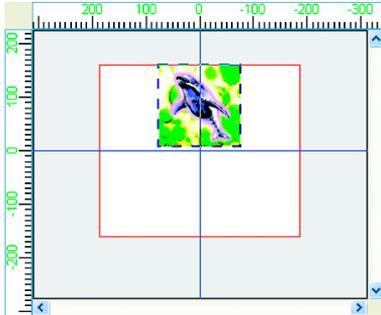
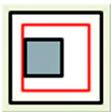
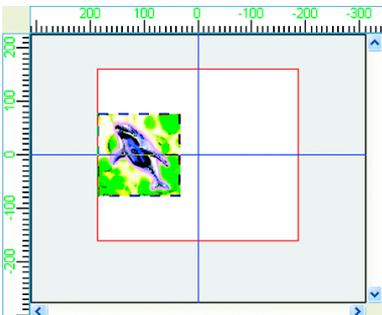
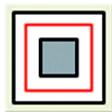
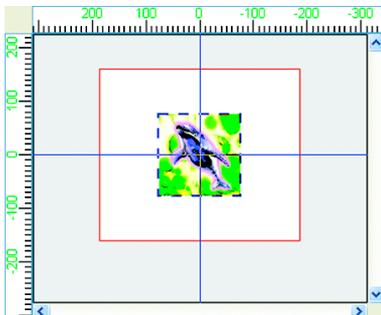
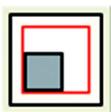
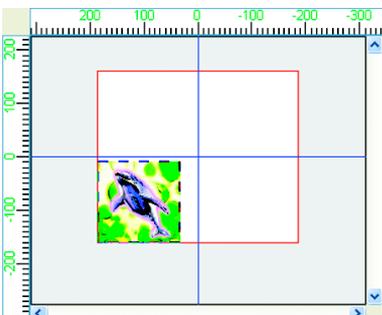
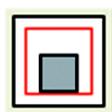
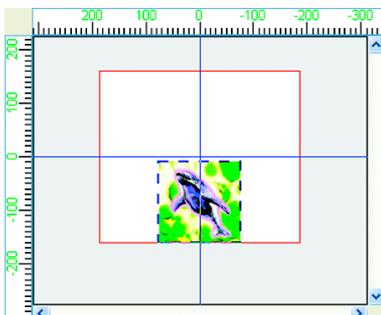
縦横の比率を変えて拡大縮小します。
“スケール”の“縦横比固定入力”のチェックは、自動的に外れます。

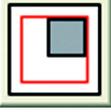
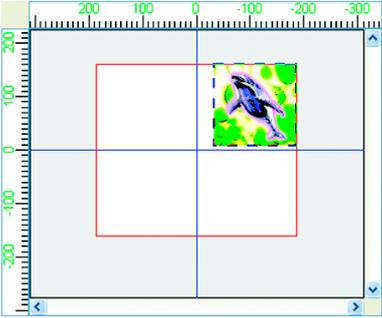
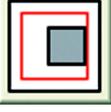
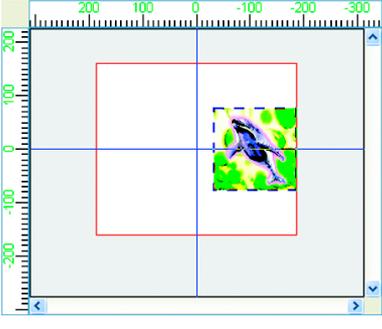
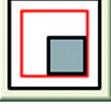
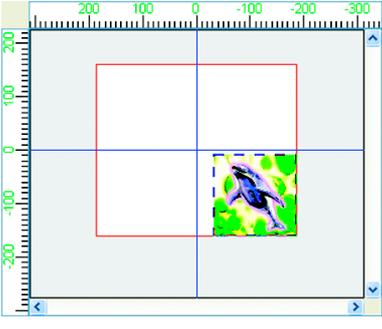
重要!

設定を元に戻すには、**再配置** ボタンをクリックし、“スケール”が“有効”になっている場合はチェックを外します。

作図領域内の配置位置を指定する

ジョブは、有効作図範囲に合わせて9通りの配置ができます。

指定 マーク	配置位置	指定 マーク	配置位置
			
			
			

指定 マーク	配置位置
	
	
	

複数のジョブを一度に印刷する (グループ化)

ジョブをグループ化することで、複数のジョブを同時に出力することができます。

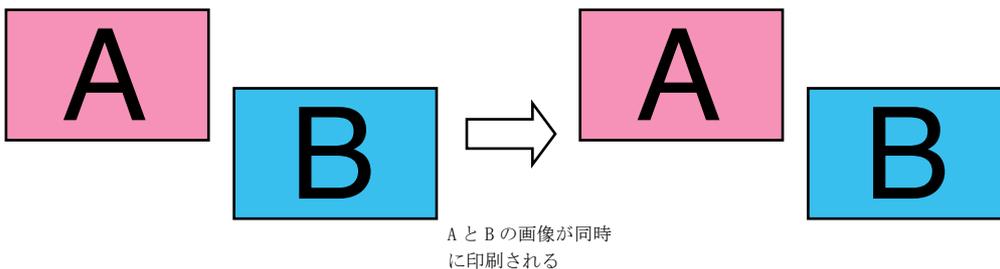
重要!

印刷条件が異なるジョブをグループ化する場合、印刷条件は、先頭ジョブの条件に合わせられます。

グループ化には2種類あります。

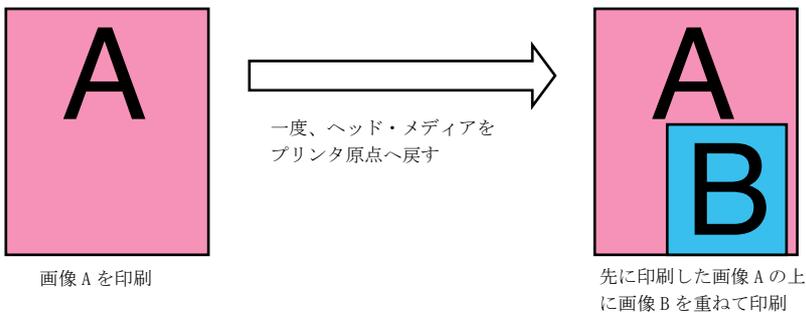
面付け(GP/DM シリーズ全機種)

すべての画像は1回でまとめて印刷します。



合成(GP-604S)

1画像を出力後、ヘッド、メディアをプリンタ原点へ戻し、違う画像を印刷します。そのため、先に印刷した画像に、重ねて印刷することが可能です。



面付けの指定方法

重要! 画像によっては、隙間なく配置しても画像と画像の間に空白部分が挿入される場合があります。

“ジョブ一覧” 上で面付けする

重要!

- コピーを2部以上設定しているジョブを面付けすることはできません。
- “状態” が“待機中”、“印刷済”、“中断”、“エラー”以外のジョブを面付けすることはできません。

1 “ジョブ一覧” より複数のジョブを選択します。

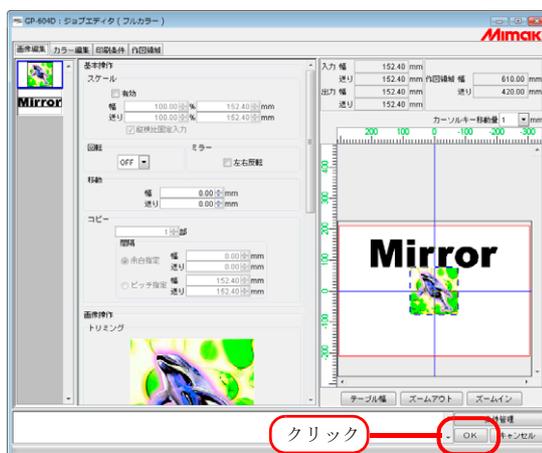


- **Ctrl** キーを押しながらジョブをクリックすると、クリックしたジョブだけ選択できます。
- **Shift** キーを押しながらジョブをクリックすると、最初に選択したジョブから次にクリックしたジョブまで全て選択します。

2 “ジョブエディタ”を開きます。

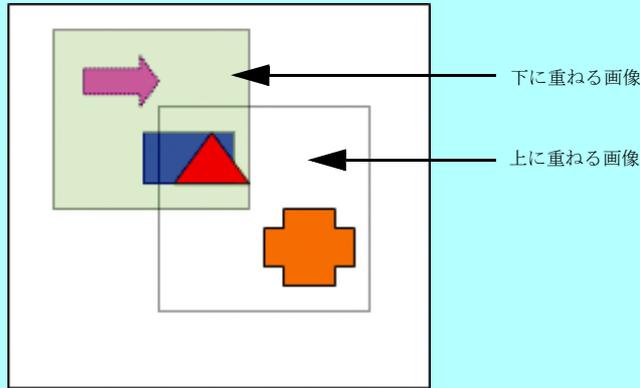
“ジョブエディタ”の開き方は、「リファレンスガイドプリンタ共通編」(P.75)をご覧ください。

ジョブの編集を行い、**OK** ボタンをクリックします。



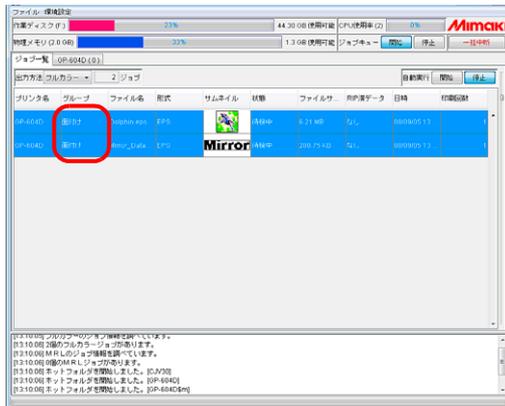
重要!

- 画像を重ねて配置する場合、サムネールリストに表示されている一番上の画像から順番に、重ねて印刷します。
- 画像が重なっている部分は、上に配置する画像の有効画素が優先的に印刷されます。



重ねて印刷する例

3 “ジョブ一覧”の“グループ”に“面付け”と表示します。



面付けしたジョブを“ジョブエディタ”で開くと、面付け中のジョブ全てを“ジョブエディタ”に表示します。

ジョブの編集集中に面付けするジョブを追加する

“ジョブエディタ”でジョブの編集集中にも、面付けするジョブを追加できます。

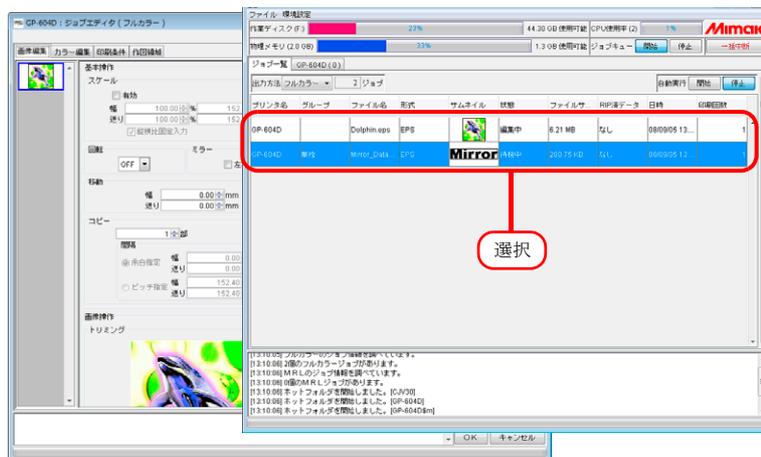
“ジョブ一覧”のジョブを“ジョブエディタ”に追加します。

重要!

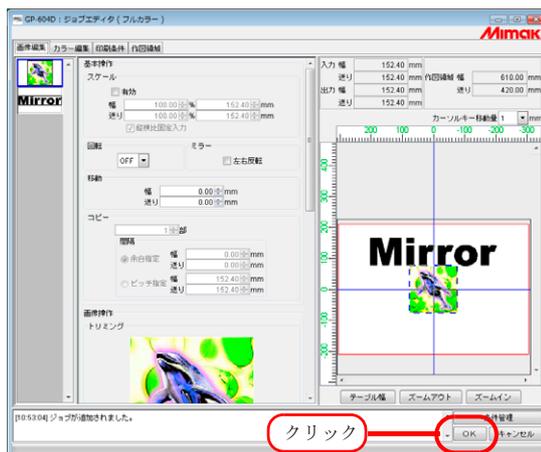
- 追加するジョブが“合成”の場合、ジョブの追加はできません。
- 現在編集集中または追加するジョブにコピーを2部以上設定している場合、ジョブの追加はできません。
- “状態”が“待機中”、“印刷済”、“中断”、“エラー”以外のジョブを追加することはできません。

1 “ジョブエディタ”を開いたまま追加するジョブを選択し、ダブルクリックします。
次の方法でもジョブを追加できます。

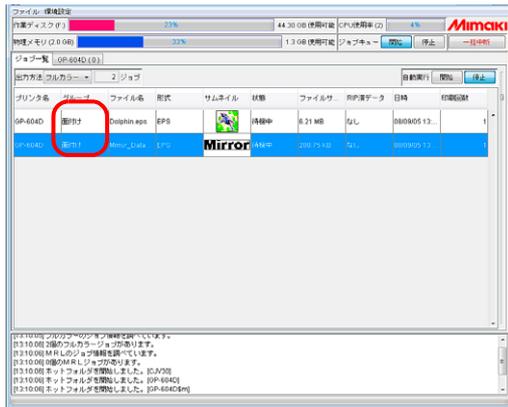
- 右クリックをして“編集”を選択する
- **Ctrl** キーを押しながら **E** キーを押す



2 “ジョブエディタ”にジョブを追加しました。
ジョブの編集を行い、**OK** ボタンをクリックします。



3 “ジョブ一覧”の“グループ”に“面付け”と表示します。



面付けしたジョブを“ジョブエディタ”で開くと、面付け中のジョブ全てを“ジョブエディタ”に表示します。

面付けの解除

面付けしたジョブは、面付けを解除することができます。

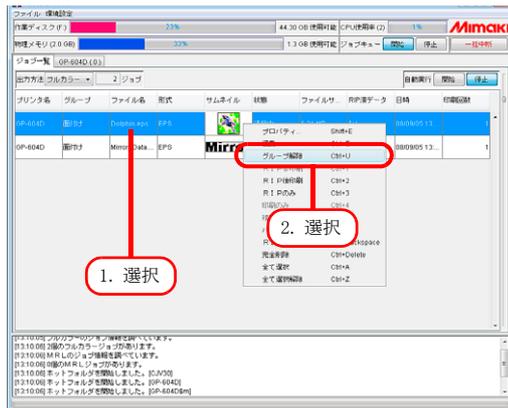
重要!

“状態”が“待機中”、“印刷済”、“中断”、“エラー”以外のジョブは、面付け解除できません。

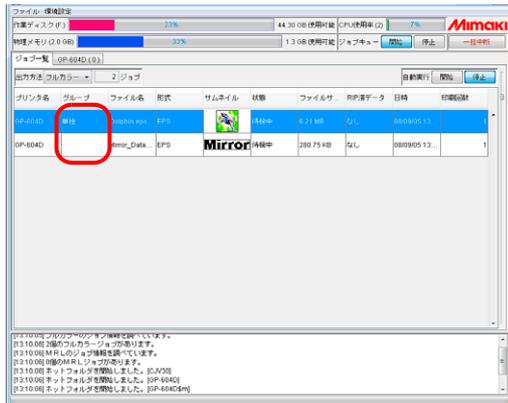
1 面付けしているジョブを一つ選択します。

右クリックをして“グループ解除”を選択します。

または **Ctrl** キーを押しながら **U** キーを押します。



2 “ジョブ一覧”の“グループ”の“面付け”が解除されます。

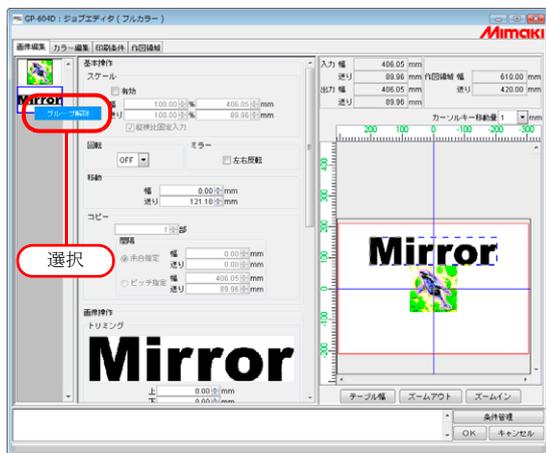


面付けジョブ編集集中の面付け解除

面付けしたジョブを編集集中に、“ジョブエディタ”からジョブの面付けを解除することができます。

面付け解除したいジョブのサムネイルを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューの“グループ解除”を選択すると面付けが解除されます。



面付けに固有の機能(配置 - 整列)

画像を整列させます。

画像を整列する(画像が複数ある場合)



- 整列および余白の設定は、“ジョブエディタ” 共通の設定です。
- “ジョブエディタ” を起動すると前回の設定値を適用します。
- サムネイルリストで画像を整列する順番を設定できます。(P. 11)

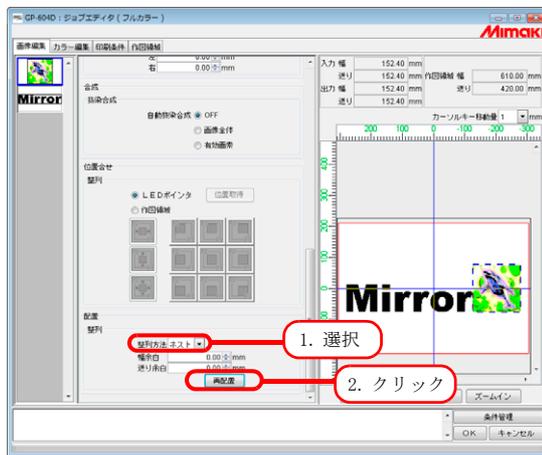
幅方向に整列(ネスト)

“ネスト” を選択します。

必要に応じて幅方向と送り方向の余白量を入力します。

この例では幅方向に 30mm の余白を設定しています。

再配置 ボタンをクリックします。



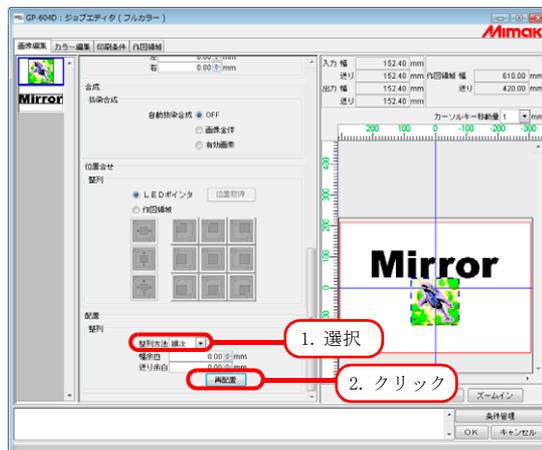
送り方向に整列(順次)

“順次” を選択します。

必要に応じて送り方向の余白量を入力します。

この例では送り方向に 50mm の余白を設定しています。

再配置 ボタンをクリックします。



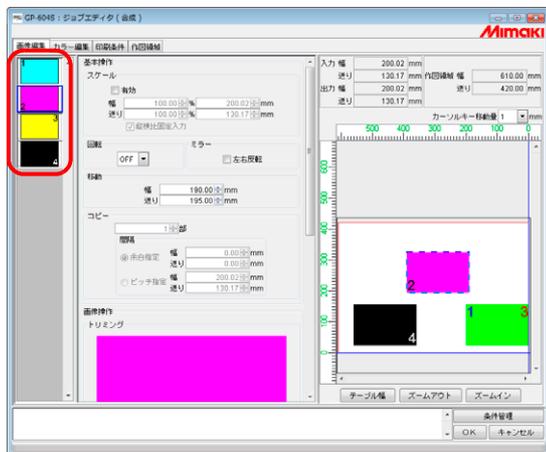
画像を整列する(画像が1つの場合)

再配置 ボタンをクリックすると、“整列方法”にかかわらず原点に合わせて配置します。
コピー部数が設定されているジョブでは、再配置できません。

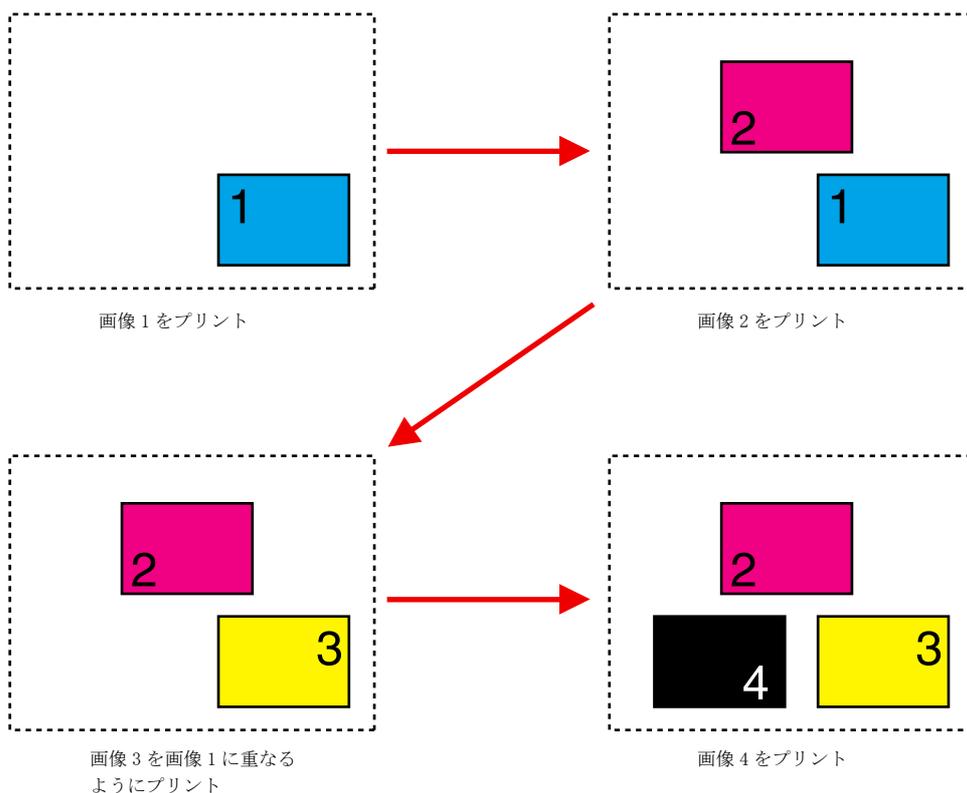
合成した複数ジョブの出力順設定(GP-604Sのみ)

合成したジョブは、サムネイルリストの上から順に印刷していきます。

印刷順を変更する場合、変更したいジョブのサムネイルを選択し、ドラッグアンドドロップして順番を入れ替えます。



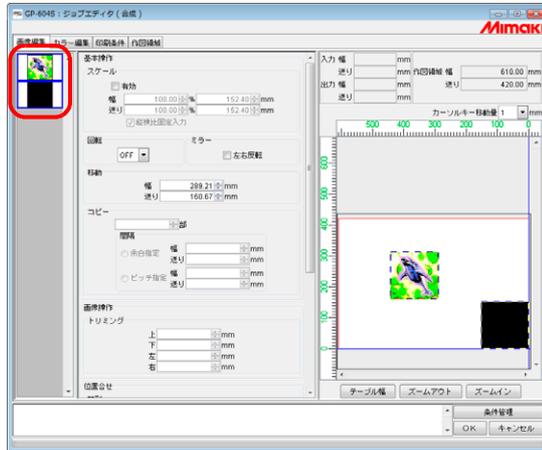
“ジョブエディタ”で上記のような設定をした場合、次の順で印刷します。(→の間に、ヘッドとメディアを一度プリンタ原点に戻します。)



合成に固有の機能(GP-604Sのみ)

画像を重ね合わせる（整列）

- 1 重ね合わせたいジョブを、サムネイルリストから選択します。
またはレイアウトプレビュー上で選択します。



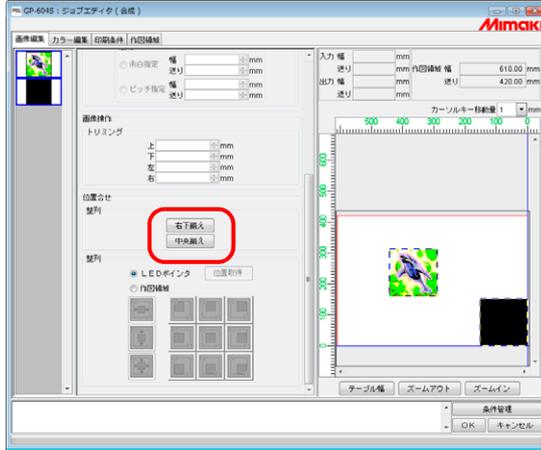
2 “位置合わせ”“整列”の **右下揃え** または **中央揃え** をクリックし、複数のジョブの位置合わせをします。

右下揃え

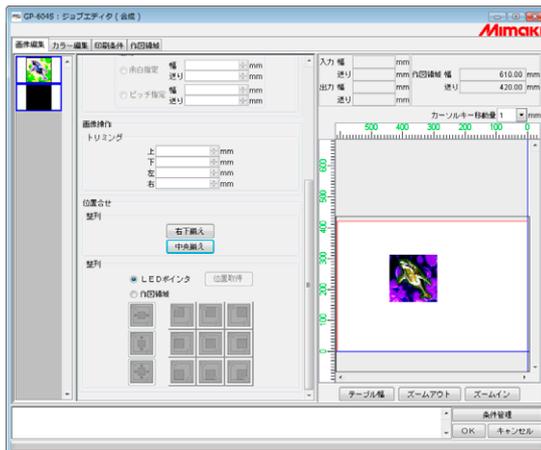
一番最初に選択した画像の右下に、他の画像の右下を合わせて移動します。

中央揃え

一番最初に選択した画像の中央に、他の画像の中央を合わせて移動します。



中央揃え を実行



カラー編集

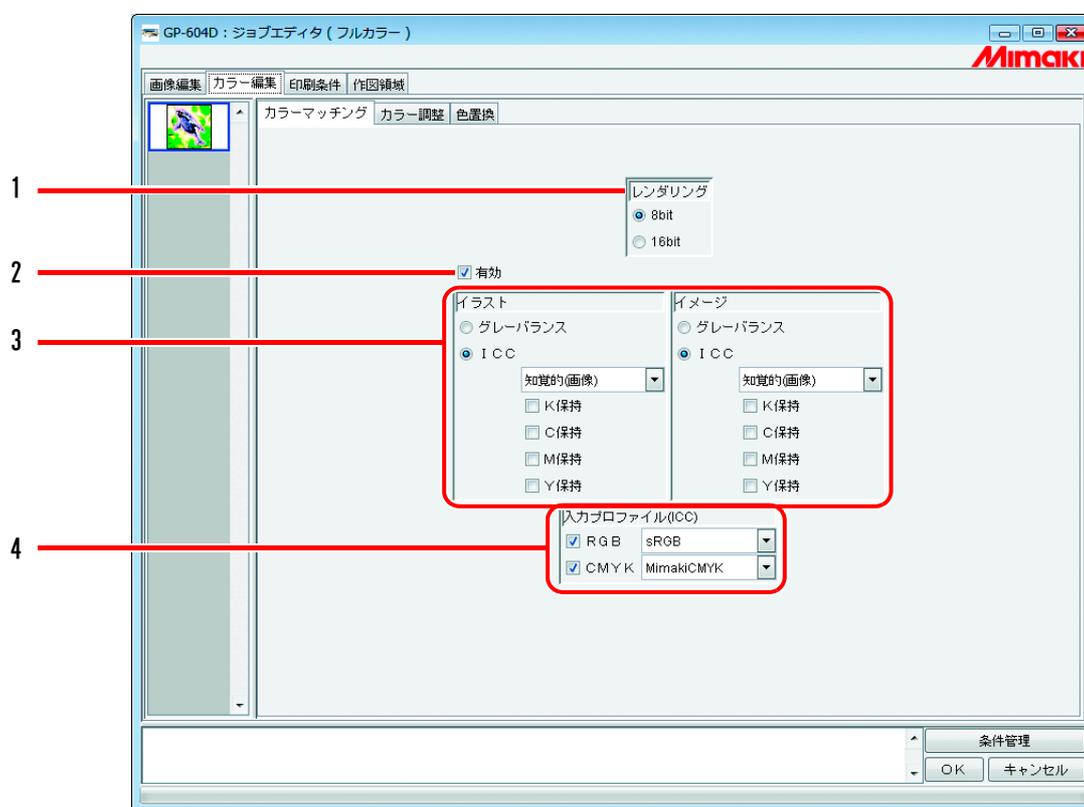
“ジョブエディタ”ウィンドウの“カラー編集”で、カラーマッチング方法等を指定します。
 カラー編集を行うジョブを、左のサムネール一覧から選択します。

重要!

● **ダイアログについて**

- このマニュアルは GP-604D の画面を元に作成していますが、この章では説明に他機種画面を使用している場合があります。
 ご使用のプリンタ名に置き換えてご覧ください。
- カラー編集はジョブごとに行います。複数のジョブを編集中の場合、サムネールリストからカラー編集を行うジョブを選択して設定します。
- インクセットが“抜染”のデバイスプロファイルを選択している場合、カラー編集の設定は出力に一切反映しません。

カラーマッチングの設定を行う



1. レンダリング

印刷条件でバージョン 3.0 のデバイスプロファイルを選択するとレンダリング画面を表示します。

8bit: 従来と同様の画質で印刷します。

16bit: グラデーションを滑らかに印刷します。

バージョン 2.0 のデバイスプロファイルを選択すると、レンダリング画面を表示しません。従来と同じ 8bit で印刷します (P.107)。

2. 有効

カラーマッチング機能を有効にします。

“カラーマッチング” ページで設定した条件で作図します。

3. イラスト / イメージ

1 ファイル内にあるイラスト部分とイメージ部分に対して別々にカラーマッチングを設定します。

- グレーバランス： CMYK データの場合有効です。
データで指定されたインク色に、指定以外のインクが混じらないようにして全体の色を合わせます。
カラーマッチングの精度は ICM より劣ります。
バージョン 2.0 のデバイスプロファイルから変換したバージョン 3.0 のデバイスプロファイルを印刷条件で選択している場合、グレーバランスは選択できません。
- ICM： ICC プロファイルによるカラーマッチングを行います。
通常は、こちらを選択してください。
- | | |
|-------------|---|
| 知覚的 (画像) | ジョブが写真の場合に適しています。画像全体の明るさが、入力画像により近くなるようにカラーマッチングします。 |
| 彩度 (グラフィック) | ジョブがイラストの場合に適しています。なるべく濃い色が出るようにカラーマッチングします。 |
| 相対的な色域を維持 | 白色に対する印刷色の関係を、入力画像に近づけるようにカラーマッチングします。入力画像が基準としている白とメディアの色が異なる場合、印刷色はメディアの色で変わります。例えば、黄色味かかったメディアに印刷する場合は、入力画像より全体的に黄色味を帯びて印刷します。 |
| 絶対的な色域を維持 | メディアの色に影響されずに、入力画像に色を近づけるようにカラーマッチングします。入力画像の白とメディアの色が異なる場合、メディアの色を入力画像の白に近づけようとします。このため画像がない場所にもインクを吐出する場合があります。 |
- K 保持、C 保持： 一次色のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックで作成されたデータはカラーマッチングを行わずに作図し、他のインクが混ざって印刷されるのを防ぎます。
M 保持、Y 保持

4. 入力プロファイル (ICM)

データを作成したときのプロファイルを選択します。
チェックを外すと、グレーバランスモードになります。

重要!

入力画像がスキャナーなどの特別なプロファイルを持っている場合、そのプロファイルを入力プロファイルに指定することで色の再現性がよくなる場合があります。
プロファイルは Profile Manager で登録する必要があります。

カラー調整を編集する

重要! インクセットが“抜染”のデバイスプロファイルを選択している場合、[カラー調整]メニューは表示しません。

画像の色味を調整します。調整した値は、カラー調整セットとして登録できます。
 “カラー調整”で、各プロファイル毎にカラー調整セットを登録します。

The screenshot shows the 'GP-604D : ジョブエディタ (フルカラー)' window. The 'カラー編集' tab is active. A list of color adjustment sets is shown, with '標準' selected. A '濃度' (Density) adjustment dialog is open, showing a color calibration chart. Callout boxes provide the following information:

- Top Left:** カラー調整セットリストです。“標準”を選択した場合、カラー調整の編集はできません。カラー編集を行う場合は、新規にカラー調整セットを作成します。(P. 54)
- Top Right:** 調整を行うタブをクリックします。濃度 (P. 56) / インクカーブ (P. 58) / K-CMY 比率 (P. 65)
- Bottom Left:** 設定内容にカラー調整セット名を付けて登録したり、削除する際に使用します。(P. 54)
- Bottom Right:** 設定内容を選択中のカラー調整セットに適用します。

カラー調整セットを作成する

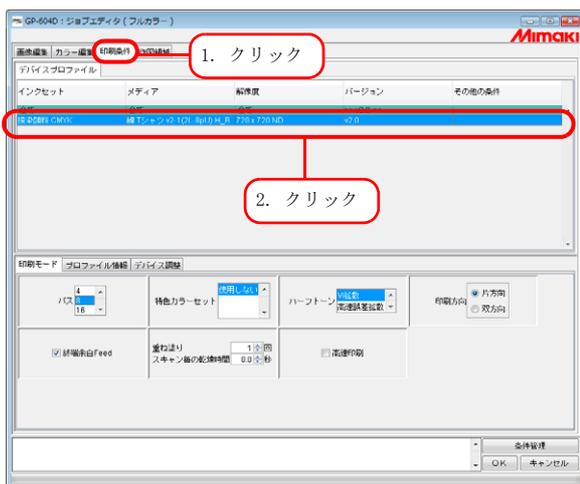
カラー調整セットは、プロファイル毎に作成します。

1 [印刷条件]メニューをクリックします。

カラー調整セットを作成するプロファイルをクリックします。

重要!

- カラー調整セットは、プロファイル毎に作成します。
- カラー調整セットを使用して印刷する場合、カラー調整セットを作成した時のプロファイルを選択してください。



2 [カラー編集]メニューをクリックします。

[カラー調整]メニューをクリックします。

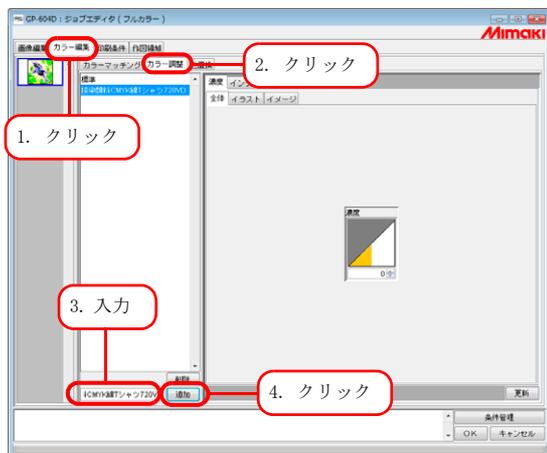
カラー調整セット名を入力します。

重要!

カラー調整セット名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > |

追加 ボタンをクリックします。

すでに同じ名前のカラー調整セットがある場合は、上書きの確認メッセージを表示します。



- 新規にカラー調整セットを作成する場合は、“標準”を選択します。その後、セット名を入力して **追加** ボタンをクリックします。
- 登録済みのカラー調整セットを複製する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に **追加** ボタンをクリックします。

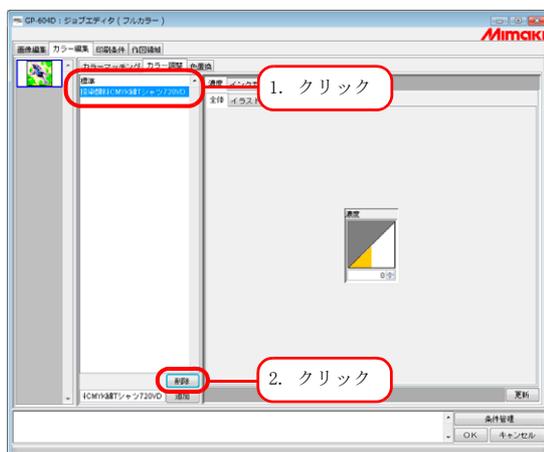
カラー調整セットを削除する

登録したカラー調整セットをクリックします。

削除 ボタンをクリックすると、選択したカラー調整セットを削除できます。

重要!

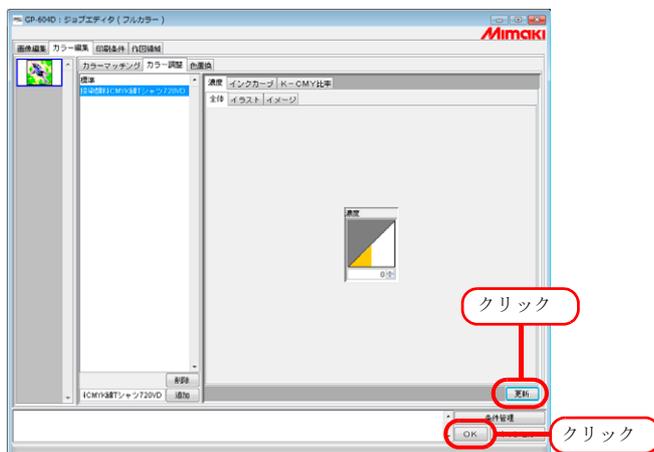
“標準”セットは、削除することはできません。



カラー調整セットを更新する

設定したカラー調整情報を更新するには、

更新 ボタンをクリックするか、**OK** ボタンをクリックし、“ジョブエディタ”を終了させます。

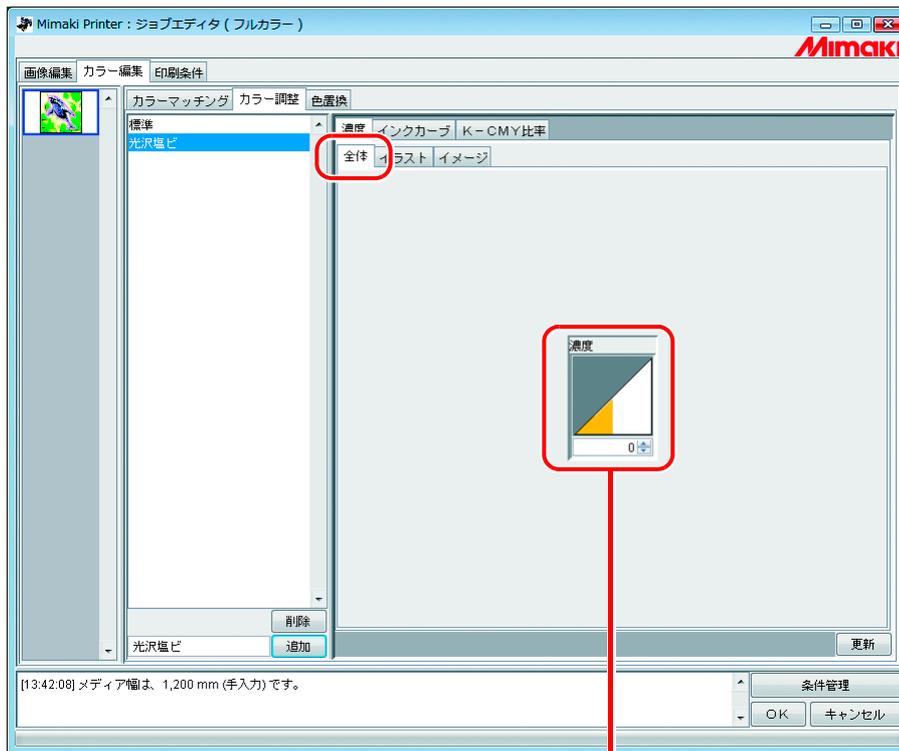


インク濃度の調整

全てのインク濃度を調整する

全てのインクの最大使用量を調整します。

▲、または ▼ をクリックすると、5単位で数値が変わります。また、数値ボックスに直接数字を1単位で入力することができます。値は -50% から +50% までの範囲で設定できます。



全てのインクの最大使用量を調整します。
この調整は、イラストとイメージの区別なく反映します。
全体の濃度をプラス値に設定すると、各色のインクリミット値を超えて印刷できます。

イラスト部分、イメージ部分のインク濃度を調整する

1 ファイル中の、イラスト部分とイメージ部分の各インク量の調整を行います

画像のコントラストを調整します。値を大きくするとコントラストが強くなり、小さくすると弱くなります。

ブラックインク濃度調整
 ブラックインクの使用量を調整します。
 1 ~ +50 :シアン、マゼンタ、イエローの量を減らして、ブラックインクの量を増やします。
 より詳細な設定を行うには、K-CMY 調整を行ってください。
 0 :機能が無効となり、K-CMY 調整が有効になります。
 -50 ~ -1 :ブラックインクの量を減らします。
 0%以外を設定すると K-CMY 調整が無効になります。

主に調整したい部分（ハイライト、中間、シャドウ）のインク量を調整します。より詳細に調整するには、インクカーブ調整を行ってください。（P. 58）

[13:53:18] メディア幅は、300 mm (手入力) です。

より詳細にカラー調整するには(インクカーブ)

インク濃度を変更しても思い通りの色で出力できない場合は、各インクのインクカーブを調整します。

インクカーブの調整方法はデバイスプロファイルのバージョンによって異なります。

バージョン 1.0、2.0 のデバイスプロファイル

インクリミット：全色のインクに対してインク濃度を調整します。

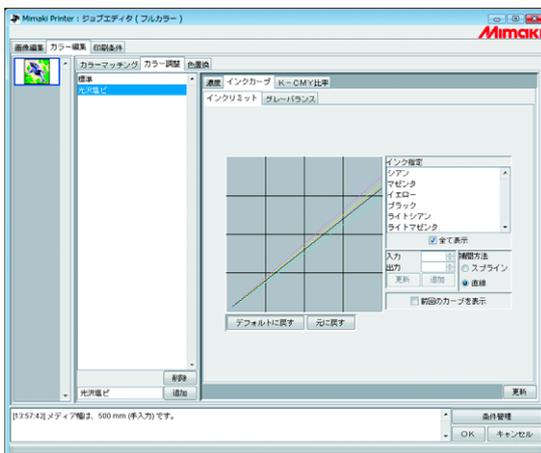
グレーバランス：ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの4色のみを使用してインク濃度を調整します。

グレーバランスはバージョン 2.0 のみ有効です。

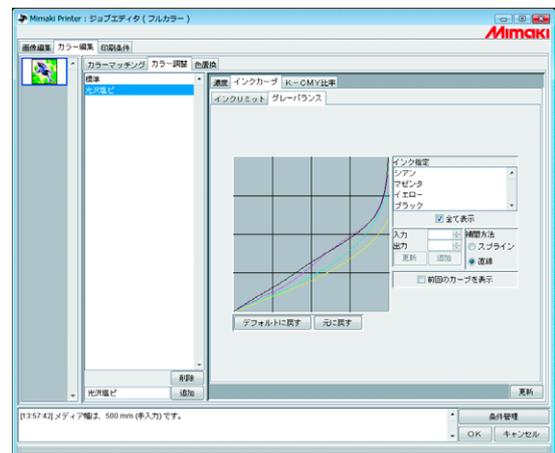
重要!

- “グレーバランス”は、“カラーマッチング”メニュー (P.51) で、グレーバランスを選択した場合のみ有効になります。
- インクカーブは、イメージとイラストの区別なく画像全体に反映します。

“インクリミット”カーブ



“グレーバランス”カーブ



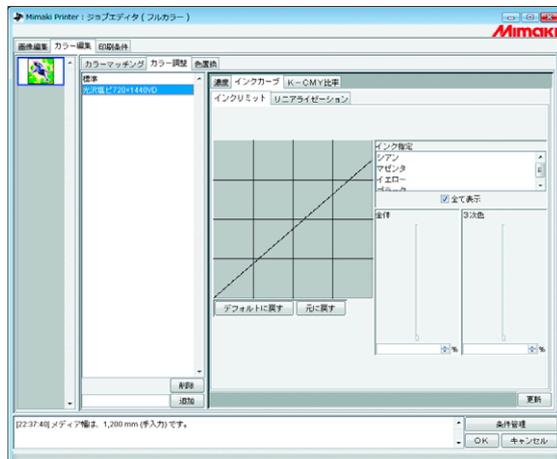
インクカーブの調整方法は、「インクカーブを調整する」(P.60)を参照してください。

バージョン 3.0 のデバイスプロファイル

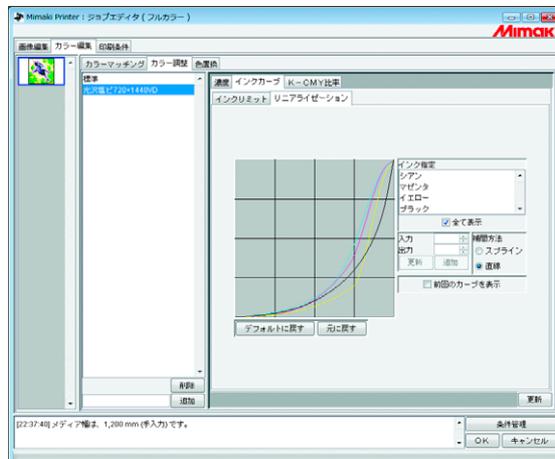
インクリミット： インクの最高濃度を決めます。

リニアライゼーション： インクの全範囲での濃度を調整します。

“インクリミット” カーブ



“リニアライゼーション” カーブ



“インクリミット” カーブはスライダーで調整します。

“全体” は全色のインクに対してインク濃度を調整します。

“3 次色” は3色以上のインクが混じったときの各インクの濃度を調整します。

“全体” の濃度が“3 次色” の上限値になります。

“全体” のインクリミットに連動して、“3 次色” のインクリミットの上限値も変わります。

“リニアライゼーション” カーブの調整方法は、「インクカーブを調整する」(P.60) を参照してください。

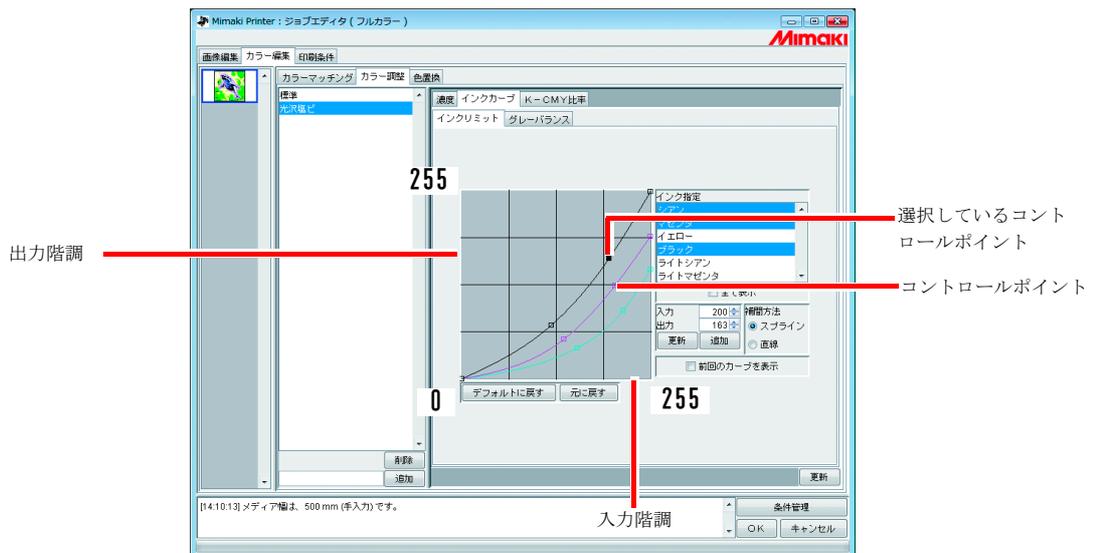
インクカーブを調整する

“インク指定”リストで選択したインクのインクカーブを表示します。

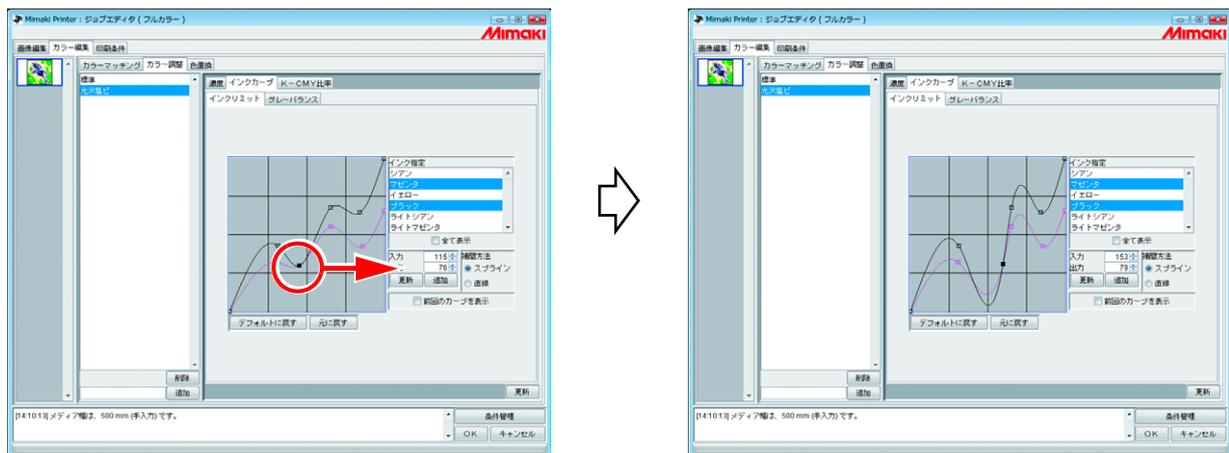
横軸に調整前のインク濃度（入力階調）、縦軸に調整後のインク濃度（出力階調）を示します。縦軸、横軸とも 0 から 255 の範囲を表示します。

出力階調が 0 より下回る場合は、0 に設定されます。また、255 より上回る場合は、255 に設定されます。

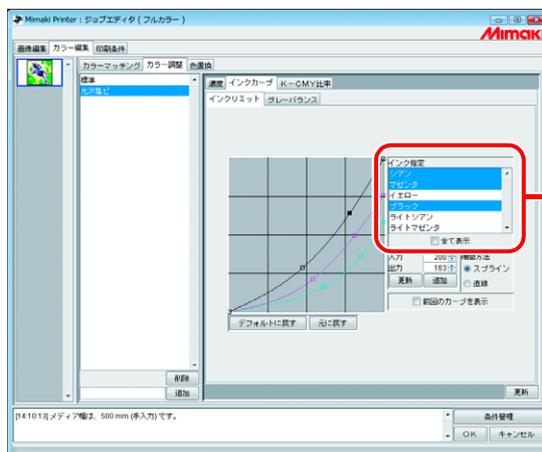
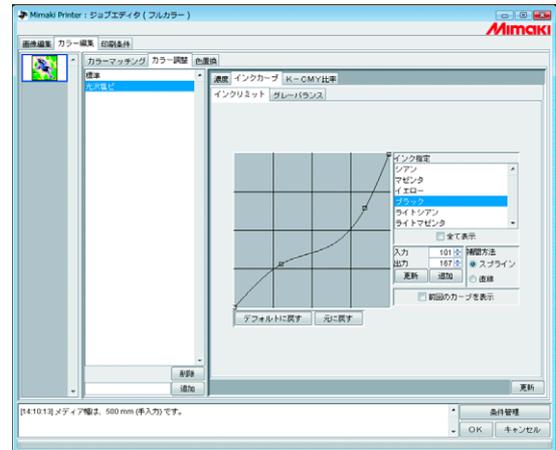
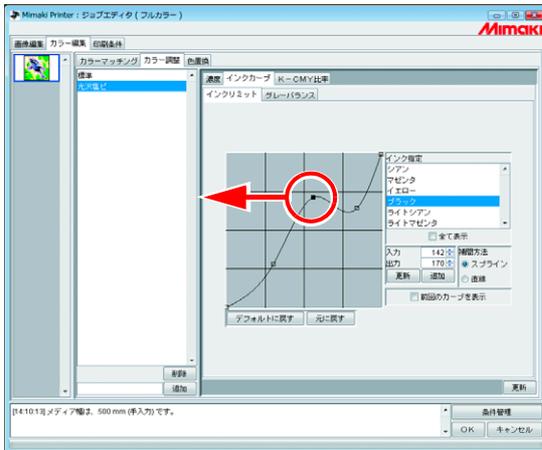
インクカーブ上の調整したいポイントをクリックすると、コントロールポイントができます。最高 30 個まで追加できます。なお、選択しているコントロールポイントは、白抜きで塗りつぶされた矩形からインクの色で塗られた矩形に変わります。



複数のインクカーブを一度に変更する場合は、各色のインクカーブが重なり合っている部分、または接近している部分をマウスでドラッグします。または、キーボードの矢印キーを押してコントロールポイントを移動します。



コントロールポイントの削除は、削除したいコントロールポイントを隣合うコントロールポイントの外側にドラッグすると削除できます。または、キーボードの **Delete** キー（ **Back Space** キー）を押します。



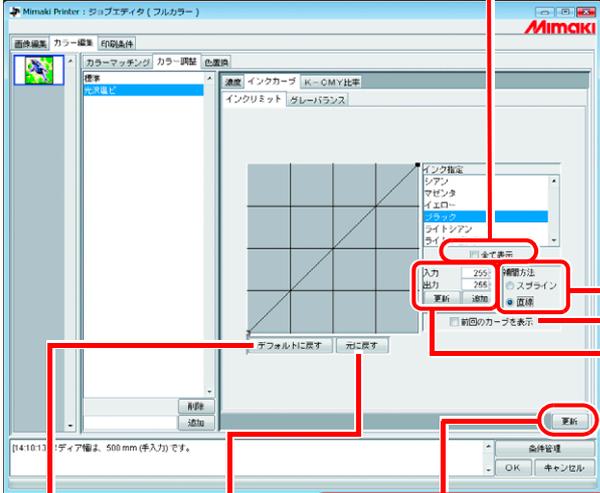
インク指定リスト：
印刷条件設定ウィンドウで選択したインクセットのインクを表示します。
複数のインクを選択する場合は、**Ctrl** キーを押しながらインク名をクリックします。
選択を解除するには、もう一度インク名をクリックします。

全て表示：
全てのインクカーブを表示します。
チェックを外すと“インク指定”リスト
で選択したインクカーブのみ表示します。

補間方法：
補間方法をスプラインにするか直線にする
か選択します。
“インク指定”リストのインク名をク
リックすると、現在の補間方法を表示しま
す。
複数のインクを選択し、各インクで補間方
法が異なる場合は、選択しているインク指
定リストの先頭のインクの補間方法を表示

前回のカーブを表示：
変更する前のインクカーブを破線で表示し
ます。**更新** ボタンをクリックすると
変更前のインクカーブは消えます。

入力階調と出力階調の数値を入力してコン
トロールポイントを調整します。コン
トロールポイントを追加する場合は、数値を
入力して **追加** ボタンをクリックし
ます。
コントロールポイントの位置を変更する場
合は、変更するコントロールポイントを選
択し、数値を入力した後に **更新** ボ
タンをクリックします。
ただし、変更する入力コントロールポイン
トは、隣り合うコントロールポイントを超
えて設定することはできません。



更新 ボタン：
変更したインクカーブを登録します。

元に戻す ボタン：
“インク指定”リストで選択中のインク
カーブを更新する前のカーブに戻します。

デフォルトに戻す ボタン：
“インク指定”リストで選択したインクのリミット値を読み込みます。
リミット値より低い値を設定すると色が薄く印刷されます。
高い値を設定すると色が濃くなり、乾きにくくなります。

キーボードによるインクカーブの設定

インクカーブの調整は、コントロールポイントをマウスでドラッグする他に、キーボードで調整することができます。

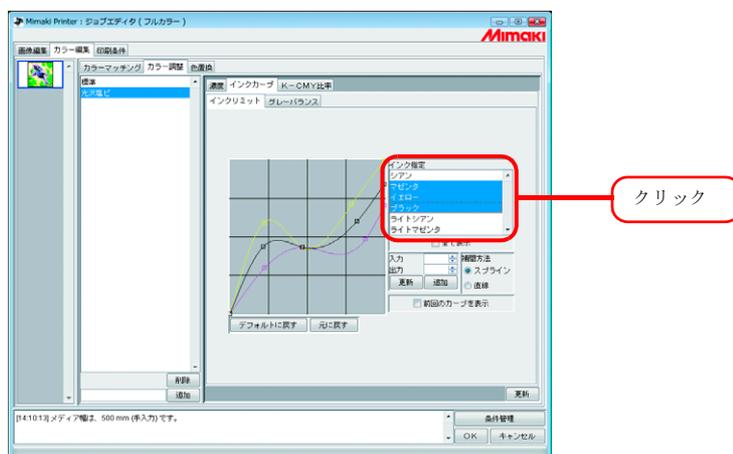
以下のキーを使用します。

- **Z** キー：左方向へコントロールポイントを選択していきます。
- **X** キー：右方向へコントロールポイントを選択していきます。
- **Delete** キー / **Back Space** キー：コントロールポイントを削除します。
- **←**、**→**、**↑**、**↓**：矢印方向へコントロールポイントを移動します。

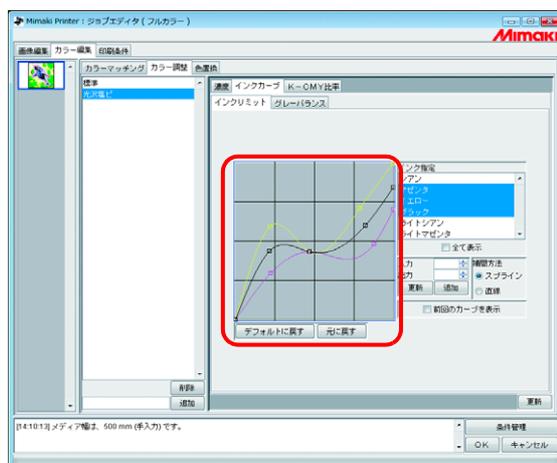
複数のインクカーブが重なっている（または接近している）コントロールポイントをまとめて調整する場合、キーボードで調整すると便利です。

ここでは、複数のインクカーブを調整する方法を説明します。

1 “インク指定” リストで調整するインクを選択します。



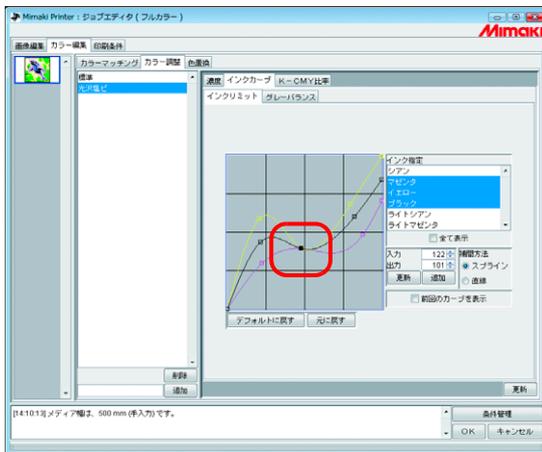
2 インクカーブエリアをマウスでクリックします。 インクカーブエリアが青い枠で囲まれているとインクカーブエリアが選択されています。



3 [Z] キーまたは [X] キーでコントロールポイントを選択します。

重要!

キーを押してもコントロールポイントが選択できない場合は、次の点を確認してください。
● インクカーブエリアが選択されていますか？

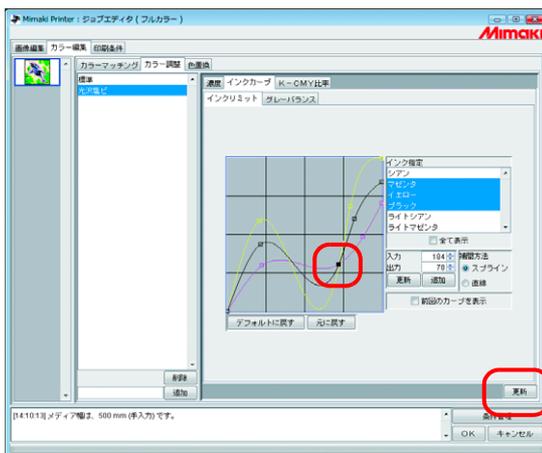


4 矢印キーでコントロールポイントを調整します。

更新

ボタンをクリックします。

インクカーブを更新します。

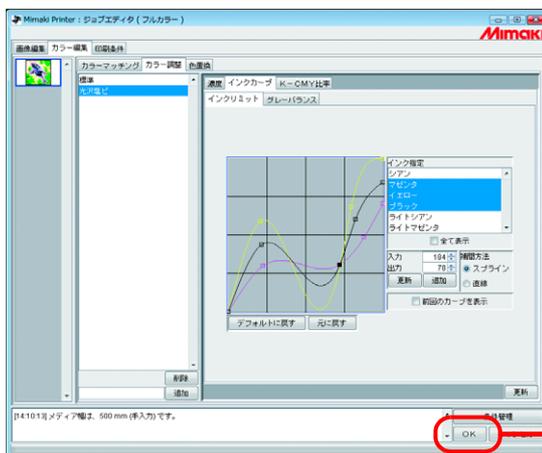


5

OK

ボタンをクリックします。

カラー調整セットを更新して“ジョブエディタ”を終了します。



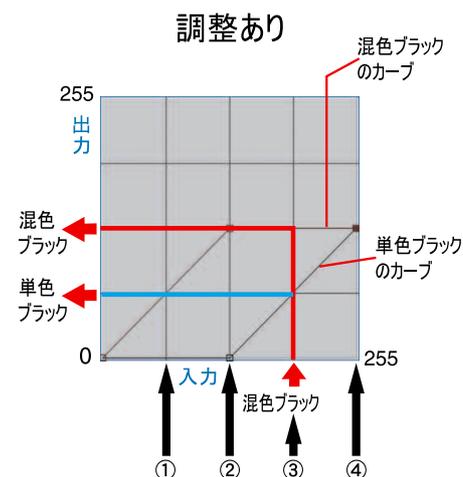
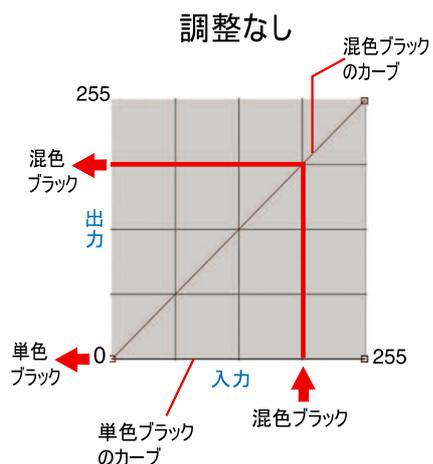
K-CMY 比率調整

シアン、マゼンダ、イエローでブラック（混色ブラック）を表現している部分を、単色ブラックに置き換えます。

イラスト・イメージ別に調整可能です。

次の場合に効果があります。

- ① RGB 画像のインク濃度を低減させる
- ② RGB 画像で、黒にしまりのある印刷をする



調整方法はインクカーブと同様です。

例)

調整したカーブの値

	入力色				混色ブラック		単色ブラック		出力色				説明
	A			B	入力	出力	入力	出力	C	M	Y	K	
	C	M	Y	K									
①	64	85	64	5	64	64	64	0	64	85	64	5	変わらない
②	128	150	160	5	128	128	128	0	128	150	160	5	変わらない
③	200	192	200	5	192	128	192	64	136	128	136	69	CMYの一部がKに変わる
④	255	255	255	5	255	128	255	128	128	128	128	133	CMYの一部がKに変わる

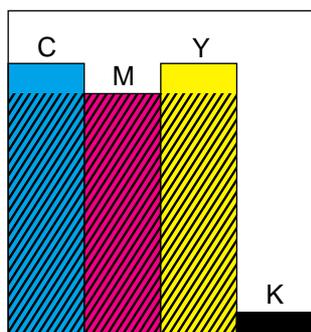
③の計算

$$C \quad 200 - 192 + 128 = 136$$

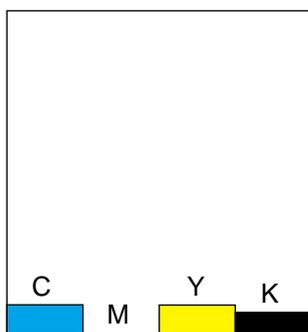
$$M \quad 192 - 192 + 128 = 128$$

$$Y \quad 200 - 192 + 128 = 136$$

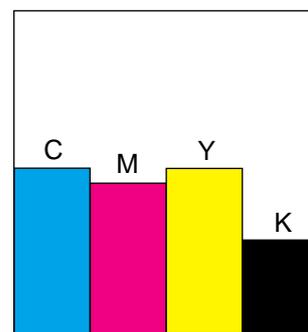
$$K \quad 5 + 64 = 69$$



斜線部がCMYの混色ブラック



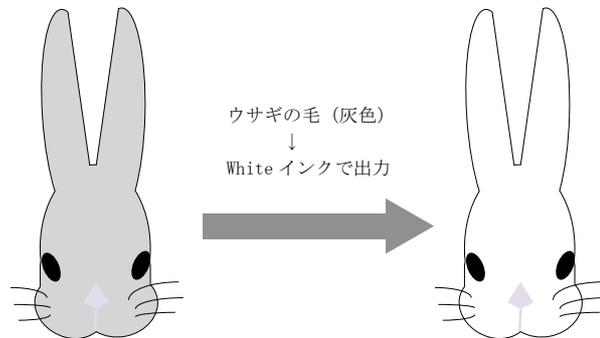
CMYから混色ブラックの入力を取り除く



CMYに混色ブラックの出力を加える。
Kに単色ブラックの出力を加える。

色置換

元画像の特定の色に対して、使用するインク色とインク濃度を設定し出力する機能（色置換）について説明します。



重要!

ダイアログについて

このマニュアルは GP-604D の画面を元に作成していますが、この章では説明に他機種画面を使用している場合があります。

ご使用のプリンタ名に置き換えてご覧ください。

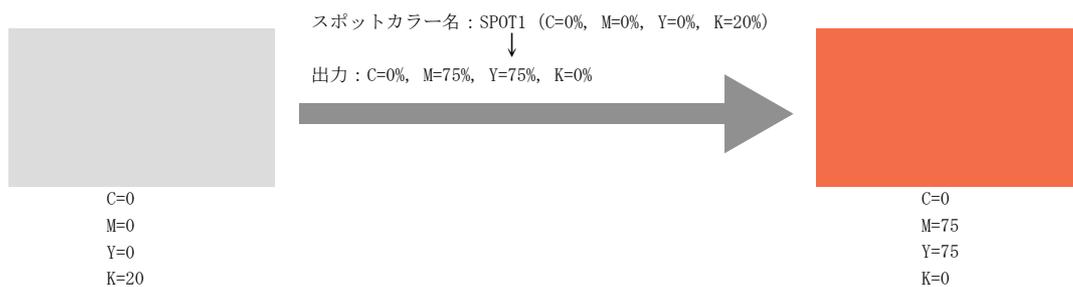
色置換の方法

色置換の方法は 4 種類あります。

スポットカラー名に対して色置換する

Adobe Illustrator などでは、“スポットカラー”または“特色”と呼ぶ特別な色を作成することができます。

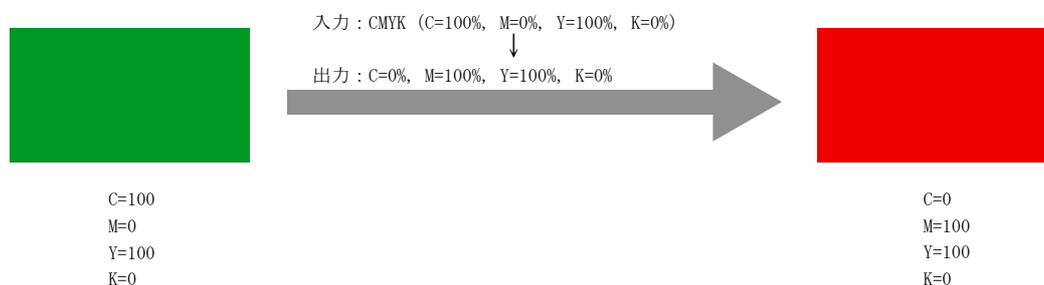
スポットカラーには、必ず名前を付けます。RasterLinkPro5 TA では、この名前に対してインク色と濃度を指定します。



CMYK に対して色置換する

ベクタオブジェクトの CMYK 色を他のインク色に置換できます。

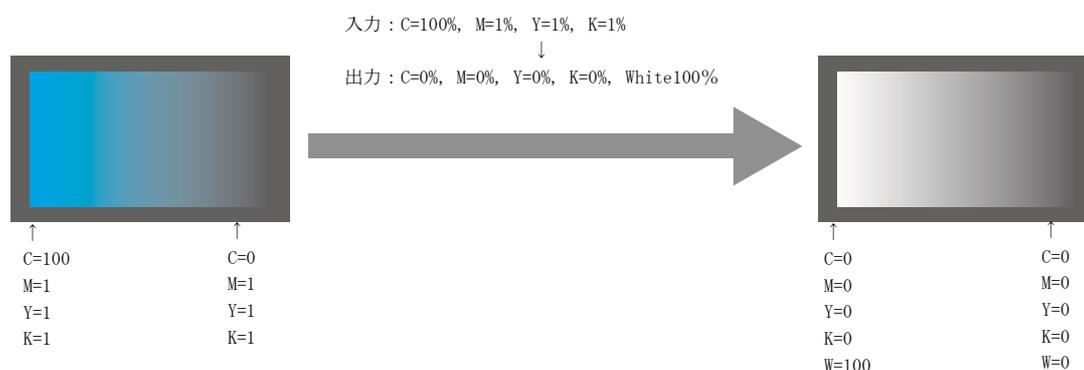
画像の他のベクタオブジェクトで同じ色が使用されている場合、その色も変更されるので、注意が必要です。



グラデーションに対して色置換する

グラデーションに対してインク色と濃度を指定します。

例えば、シアングラデーションをホワイトグラデーションに色置換する濃度を指定します。



CMYK どれか 1 色を複数のインクへ色置換する

CMYK カラーモードの画像で、CMYK のどれか 1 色だけを指定したインクで印刷します。

指定インクは複数選択できます。ただし、ライトインクは指定できません。

このモードでは、ラスタ画像も色置換可能です。

画像全体を特定のインクだけで印刷する場合に使用します。

例えば、モノトーン画像を白インクで印刷する場合に便利です。



色置換画像の作成方法

色置換可能な画像の条件

色置換可能な画像には条件があります。

画像のカラーモードは CMYK のみ対応しています。

	画像フォーマット	置換できる部分
スポットカラーに対して色置換	EPS, PS, PDF	ベクタオブジェクトのみ
CMYK カラーに対して色置換	EPS, PS, PDF	ベクタオブジェクトのみ
グラデーションに対して色置換	EPS, PS, PDF	ベクタオブジェクトのみ
CMYK 内の 1 色を複数のインクへ置換	EPS, PS, PDF, TIFF	ベクタ、ラスタ

スポットカラーの作成

Adobe Illustrator 10 でスポットカラーを作成する方法と使用方法について説明します。

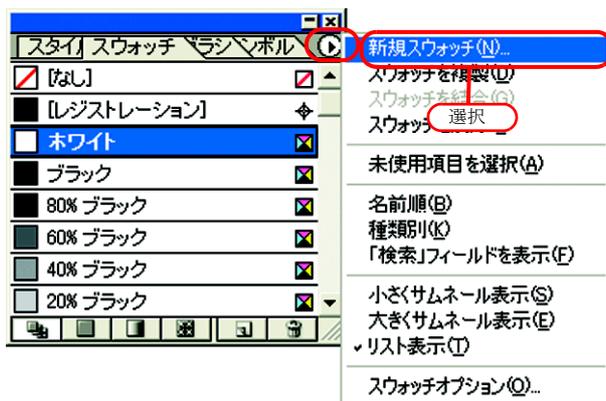
詳細は、Adobe Illustrator のマニュアルをご覧ください。

1 編集する画像を Adobe Illustrator で開きます。

スウォッチウィンドウを表示していない場合、[ウィンドウ]-[スウォッチ]メニューを選択するとスウォッチウィンドウを表示します。



- 2  をクリックし、メニューから“新規スウォッチ”を選択します。
新規スウォッチウィンドウを表示します。



- 3 “名前”を入力します。
“カラータイプ”に“スポットカラー”を選択します。
Adobe Illustrator CS では“特色”を選択します。

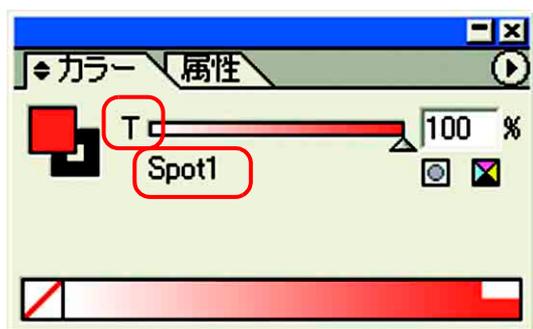
“カラーモード”に“CMYK”を選択し、表示色を指定します。
 をクリックします。



- 4 新規スウォッチが作成されました。
使用する際は、スウォッチウィンドウから作成したスウォッチを選択します。



カラーウィンドウでは、スウォッチは[色名]と[T]で表示されます。

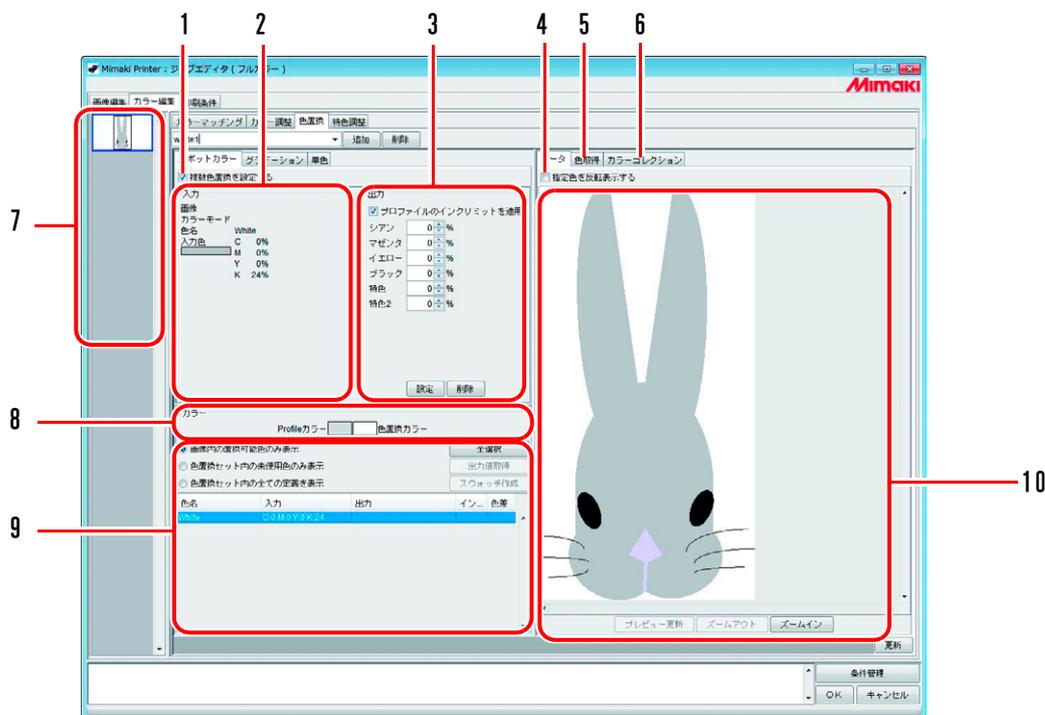


色置換画面

色置換画面には[スポットカラー]、[グラデーション]、[単色]の3種類あります。

スポットカラー

スポットカラーおよびCMYKカラーの色置換を設定します。



1. 複数色置換を設定する

複数色置換をできるように設定します。スポットカラーとグラデーションの色置換が可能になります。

2. 入力情報

プレビュー画面上にマウスカursorを置いた際、カーソル位置の色情報を表示します。または、置換情報一覧から選択された情報を表示します。

3. 出力情報

現在“入力”情報に表示されている色に対する、置換後のインク濃度を入力設定します。また、[プロファイルのインクリミットを適用]をチェックをしておくと、印刷時のインクあふれを緩和させるために、自動的に設定値よりも低い値に変換して印刷を行います。チェックを外すと、指定した色成分値どおりに印刷を行います。インクあふれによるにじみなどの印刷不良が出やすくなります。できるだけ[プロファイルのインクリミットを適用]をチェックした状態でお使いください。

4. 指定色を反転表示する

チェックすると現在編集可能状態になっている色を、プレビュー上で点滅表示します。

5. 色取得

カンパなどの原稿の一部分の色をスキャナで読み取り、色を近づけます。

6. カラーコレクション

DICのカラー情報を表示します。

7. サムネイル

編集対象のジョブをサムネイル画像で一覧表示します。複数のジョブを同時に編集している場合や、複数ページのジョブの場合、サムネイルリストから選択された画像がプレビュー画面に表示されます。置換情報一覧の情報も、選択画像の情報を表示します。

8. カラー

現在“入力”情報に表示されている色のプロファイルカラー（色置換しないで出力した場合の色）と、色置換カラー（色置換した場合の色）を表示します。

9. 置換情報一覧

置換元（入力）の色と置換後（出力）のインク情報を表示します。

表示する情報は、リスト上部にあるラジオボタンで選択します。

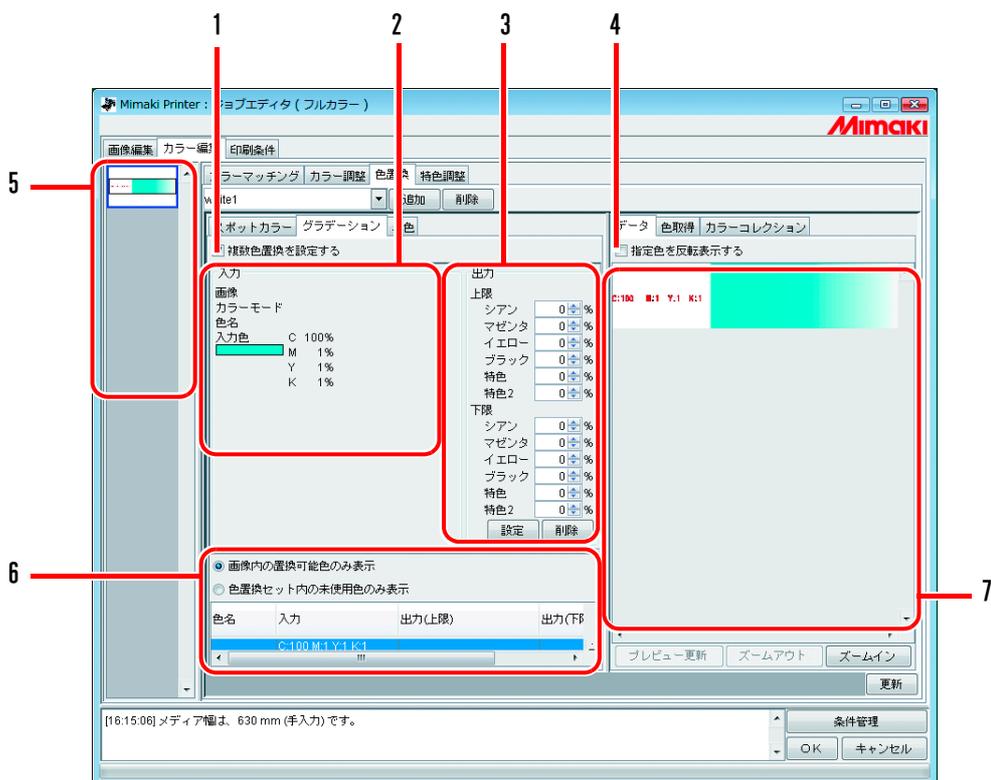
また、置換後（出力）のインク情報を、カラーコレクションから取得します。

10. プレビュー画面

画像のプレビューを表示します。マウスカーソルでプレビュー上をなぞると、“入力情報”にピクセル情報を表示します。マウスでクリックすると、そのピクセルの色が編集可能になります。

グラデーション

グラデーションの色置換を設定します。



1. 複数色置換を設定する

複数色置換をできるように設定します。スポットカラーとグラデーションの色置換が可能になります。

2. 入力情報

プレビュー画面上にマウスカーソルを置いた際、カーソル位置の色情報を表示します。

または、置換情報一覧から選択された情報を表示します。

3. 出力情報

現在“入力”情報に表示されている色に対する、置換後のインク濃度を入力設定します。

グラデーションの最も色の濃い箇所の色と最も色の薄い箇所の色をそれぞれ指定できます。

4. 指定色を反転表示する

チェックすると現在編集可能状態になっている色の最高濃度部分を、プレビュー上で点滅表示します。

5. サムネイル

編集対象のジョブをサムネイル画像で一覧表示します。複数のジョブを同時に編集している場合や、複数ページのジョブの場合、サムネイルリストから選択された画像がプレビュー画面に表示されます。置換情報一覧の情報も、選択画像の情報を表示します。

6. 置換情報一覧

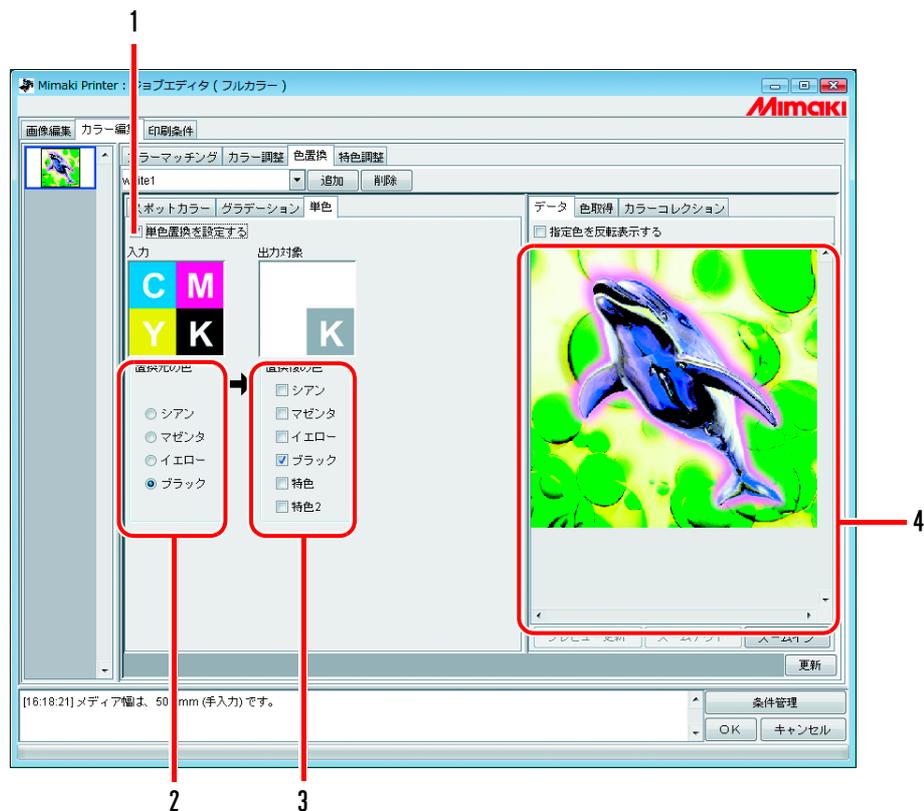
置換元（入力）の色と置換後（出力）のインク情報を表示します。表示する情報はリスト上部にあるラジオボタンで選択します。

7. プレビュー画面

画像のプレビューを表示します。マウスカーソルでプレビュー上をなぞると、“入力”情報にピクセル情報を表示します。

単色

単色の色置換を設定します。



1. 単色置換を設定する

単色置換を設定できるようにします。

チェックすると、入力 CMYK のいずれか 1 色を、指定されたインクに割り当てます。
ライトインクは指定できません。

2. 置換元の色

画像内で置換する色を指定します。

3. 置換後の色

置換後に使用するインク色を指定します。

4. プレビュー画面

画像のプレビューを表示します。

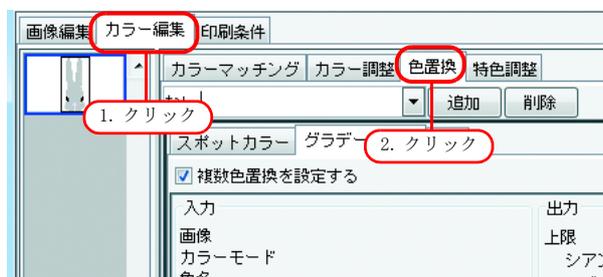
色置換セットの作成

- 1 [印刷条件]メニューをクリックします。
色置換セットを作成するプロファイルを選択します。
選択機種が特色スロットを持っている場合、[特色カラーセット]を選択します。
特色カラーセットについては、P.111をご覧ください。



色置換セットはプロファイルと、特色カラーセットの組み合わせごとに作成します。

- 2 [カラー編集]メニューをクリックします。
[色置換]メニューをクリックします。



3 色置換名入力欄に色置換セット名を入力します。

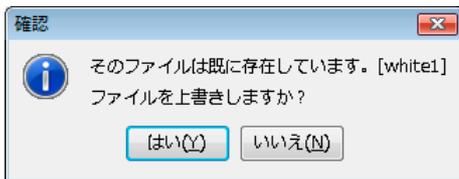
重要!

色置換セット名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > |

追加 をクリックします。

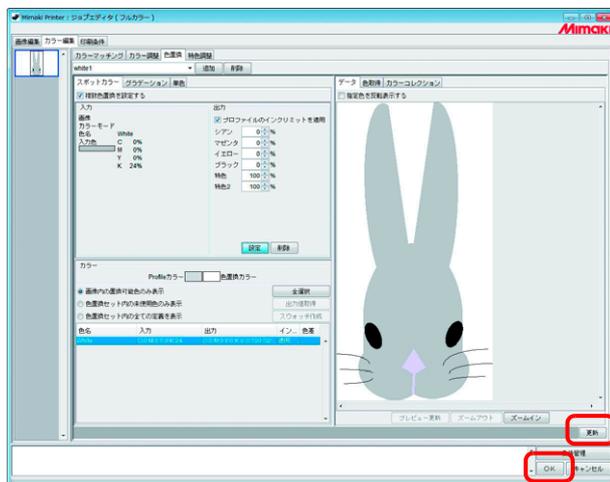


既に同じ名前の色置換セットがある場合、上書き確認メッセージを表示します。



色置換セットの更新

設定した置換情報を更新するには、**更新** をクリックするか、**OK** をクリックし、“ジョブエディタ”を終了させます。



色置換セットの選択

[色置換]メニュー上部の色置換名入力ボックスの  をクリックし、リストを表示・選択します。

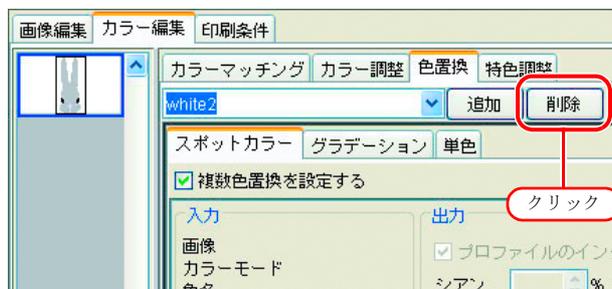


色置換セットの削除

- 1 ジョブの“ジョブエディタ”を開き、[色置換]メニューを開きます。
削除する色置換セットを選択します。



- 2 **削除** をクリックします。



- 3 削除されます。



スポットカラー・CMYK カラーの置換

スポットカラー・CMYK カラーの置換方法を説明します。

重要!

- CMYK カラーを色置換する場合、同じ色が他のベクタオブジェクトに使用されていると、その色も変わります。
- Adobe Illustrator のドロップシャドウ / 透明 / ボカシのようなフィルタ効果をかけた色は、正しく色置換できません。

置換する元の色を指定

指定方法は2種類あります。

置換する元の色を指定すると、置換情報設定画面が編集可能になります。

複数色を置換する場合は、“複数色置換を設定する”をチェックします。

① 置換情報リストから選択する

色置換したい色の色名をリストから見て選択します。

スポットカラーまたは登録済みの CMYK カラーが表示されます。

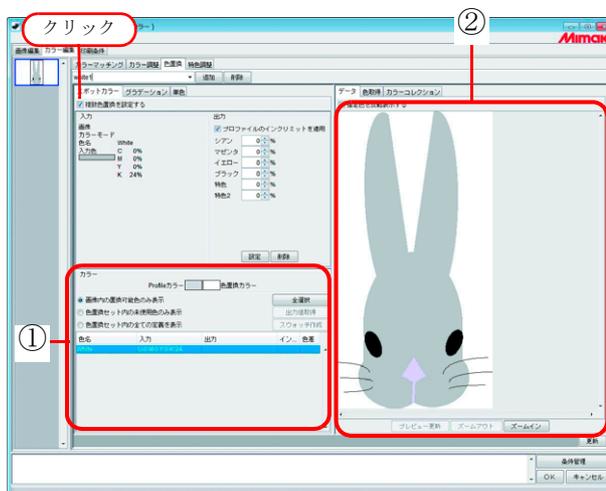
② プレビュー画面上から選択する

マウスポインタをプレビュー画面上に置き、色置換したい場所をクリックします。

CMYK カラーは最初、置換情報リストに表示されないため、この方法を選択します。

重要!

一度色を選択すると、解除するまでプレビュー上のマウスで指定した色情報を入力画面に表示することができません。



置換する元の色を選択を解除

選択解除の方法は2種類あります。

① 置換情報リストが選択状態になっているとき、**Esc** キーを押します。

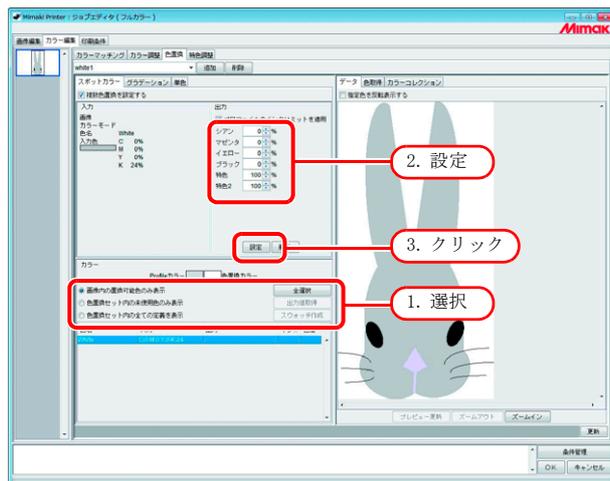
② プレビュー上にマウスポインタを置き、右クリックします。

置換後のインク情報の作成

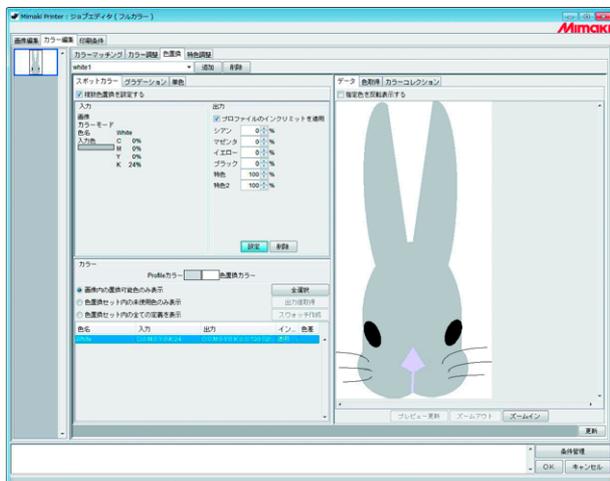
置換後のインク情報の作成方法は、インク濃度を手入力する方法とカラーコレクションから取得する方法があります。

インク濃度を手入力する

- 1 置換元の色を選択します。
出力情報画面で、使用するインク色のインク濃度を入力します。
設定 をクリックします。



- 2 色置換情報が設定されます。



重要!

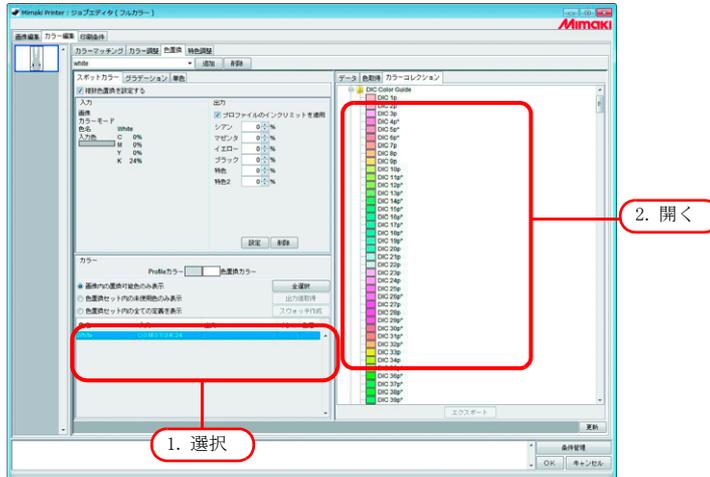
カラーコレクションのDICのカラー（出力値）は、現在選択しているデバイスプロファイルによって、色の再現性に差があります。

- 高精度色置換情報を含むバージョン3.0のデバイスプロファイルの場合：
DICカラーに近似した色が再現可能です。
- 上記以外のデバイスプロファイルの場合：
色の再現が正確でない可能性があります。

カラーコレクションから取得する 1

1 置換元の色を選択します。

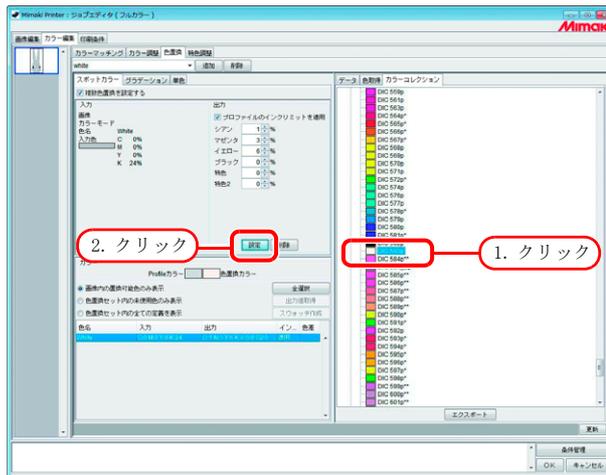
カラーコレクション画面で、色置換したいカラーコレクションのフォルダを開きます。



2 カラーパッチを選択します。

設定 をクリックします。

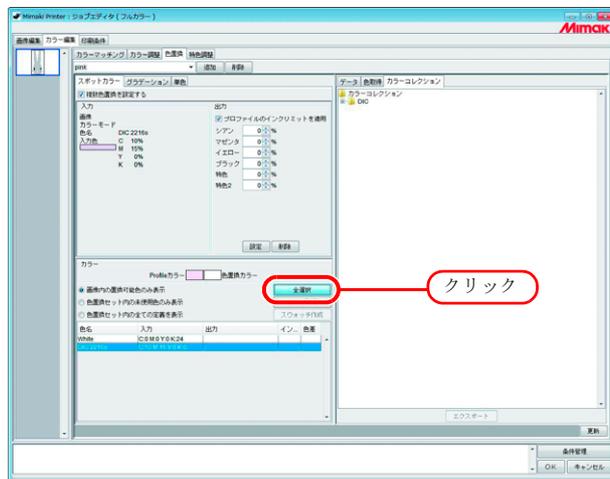
色置換情報が設定されます。



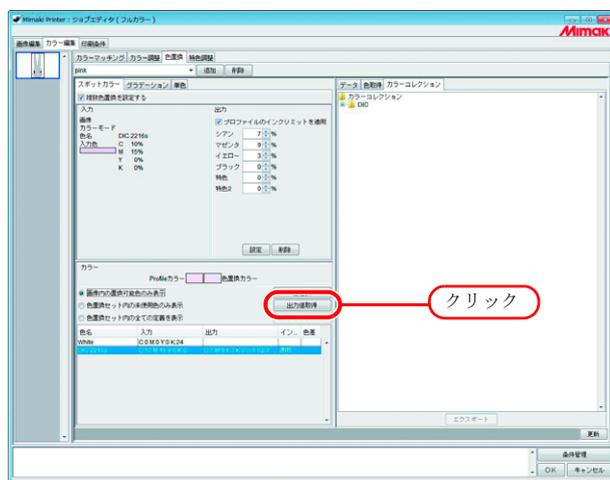
カラーコレクションから取得する 2

置換する元の色が、カラーコレクションに登録されている DIC カラーのスポットカラーの場合、出力値を個別設定することなく、カラーコレクションから自動で出力値を取得できます。

- 1 **全選択** ボタンをクリックします。
リストから置換したい任意の色を個別に選択することも可能です。



- 2 **出力値取得** ボタンをクリックします。
置換する元の色が DIC カラーで、置換後の色がプリンタの色再現範囲外のカラーの場合、置換する元の色と置換後の色との色差を表示します。
→ DIC カラーが再現できないことを示しています。



色置換情報が設定されます。

カラーコレクションから取得する 3

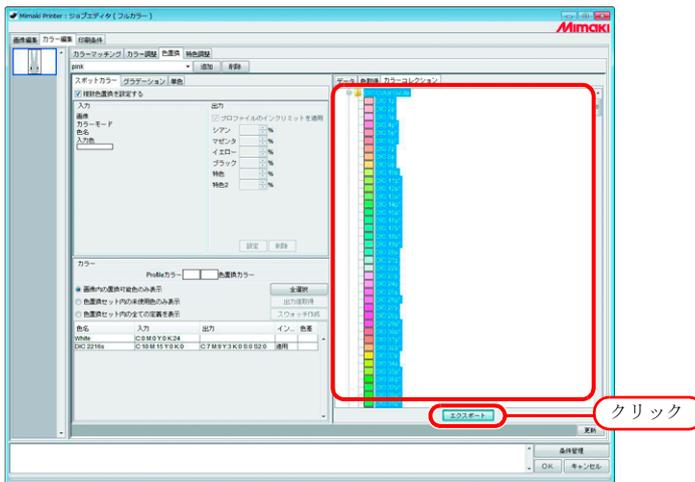
現在の色置換定義ファイルに、画像内の DIC カラー以外の色もカラーコレクションから取得して登録できます。

この作業は、画像内の DIC カラーが色置換定義ファイルに登録されたスポットカラーと一致した場合、この色置換定義ファイルを使用すると、個別に色置換の設定をする手間を省力します。

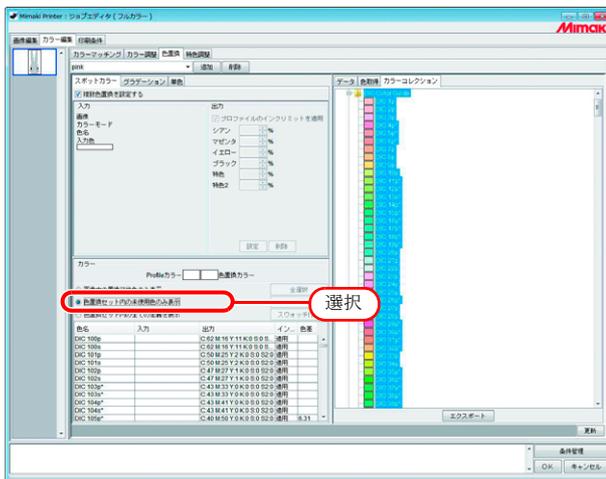
- 1 カラーコレクション画面で色置換したいカラーコレクションのフォルダを開きます。任意のカラーパッチを選択します。

キーボードで **Ctrl** キー + **A** キーを押します。(**Ctrl** キーを押しながら任意のパッチを複数選択することも可能です。)

エクスポート ボタンをクリックします。



- 2 色置換セット内の未使用色のみ表示を選択します。画像内にはないスポットカラーの出力値が設定されています。



重要!

画像内で、スポットカラーの濃度を変えて使用しているときの注意点は以下のとおりです。

- RasterLinkPro5 では、スポットカラーの濃度は 100% に対してインク濃度を設定します。スポットカラーの濃度にしたがって、インク濃度が自動的に計算されます。

例)

Illustrator で Spot (表示色 C=100, M=0, Y=0, K=0) という特色が 100% で塗られているところと、50% で塗られているところがあったとき、RasterLinkPro5 で Spot をインク濃度 C=0, M=80, Y=20, K=0 とした場合、Spot の 100% で塗られている部分のインク濃度は C=0, M=80, Y=20, K=0、Spot の 50% で塗られている部分のインク濃度は C=0, M=40, Y=10, K=0 となります。

- 置換情報一覧に表示されるスポットカラーの色が Illustrator で指定した表示色と異なる場合があります。

これは、置換情報一覧に表示されるスポットカラーの入力色は RasterLinkPro5 が画像上で最初に発見したスポットカラーの濃度に合わせた表示色を表示するためです。

例)

Illustrator で Spot (表示色 C=100, M=0, Y=0, K=0) という特色が 100% で塗られているところと、50% で塗られているところがあったとき、RasterLinkPro5 が先に Spot が 50% で塗られているところを発見した場合、色置換情報一覧の Spot の表示色は C=50, M=0, Y=0, K=0 となります。

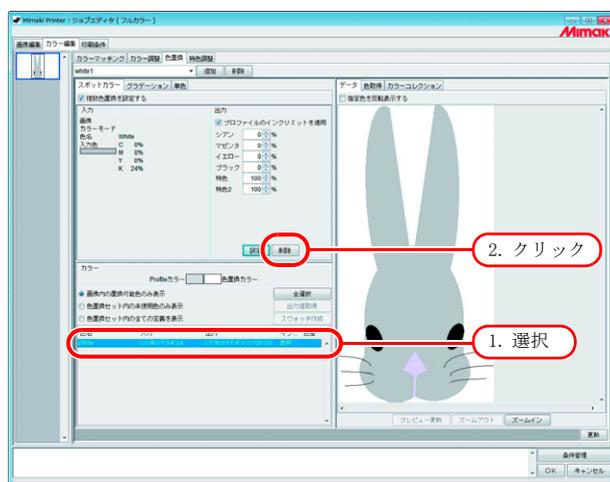
- プレビュー画面でスポットカラーをマウスカーソルでなぞった場合、「入力情報」にはマウスカーソル下のスポットカラーの濃度に合わせた表示色が表示されますが、クリックした場合、「入力情報」にはクリックした場所のスポットカラーの濃度に関係なく、置換情報一覧に表示されている内容が表示されます。

置換後のインク情報の削除

置換する色置換情報を持つ色を選択します。

出力情報画面の **削除** をクリックします。

色置換情報が削除されます。



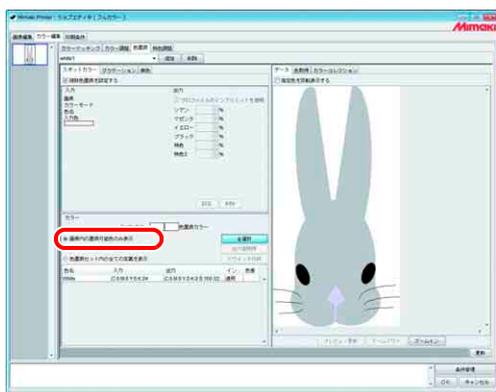
表示の切り替え

置換情報一覧

置換情報一覧は次のように表示を変更することができます。

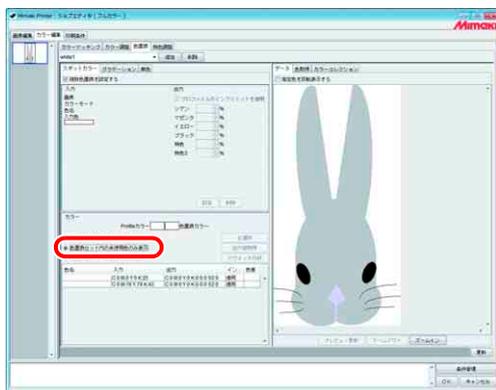
画像内の置換可能色のみ表示

色置換セット内で色置換指定可能な色置換定義を表示します。



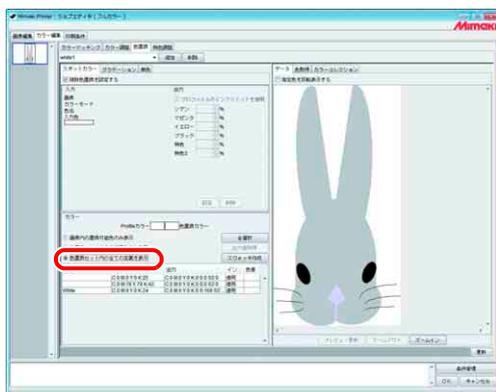
色置換セット内の未使用色のみ表示

色置換セット内で色置換指定不可能な色置換定義を表示します。



色置換セット内の全ての定義を表示

色置換セット内の色置換定義情報を全て表示します。

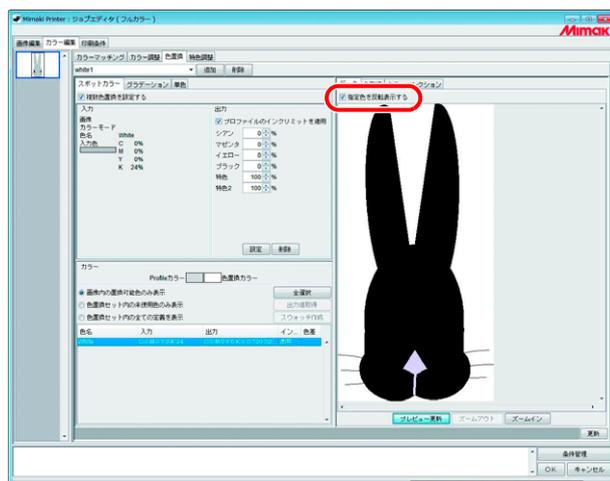


プレビュー

[指定色を反転表示する] をチェックすると、現在編集可能状態の色がプレビュー上で点滅します。

重要!

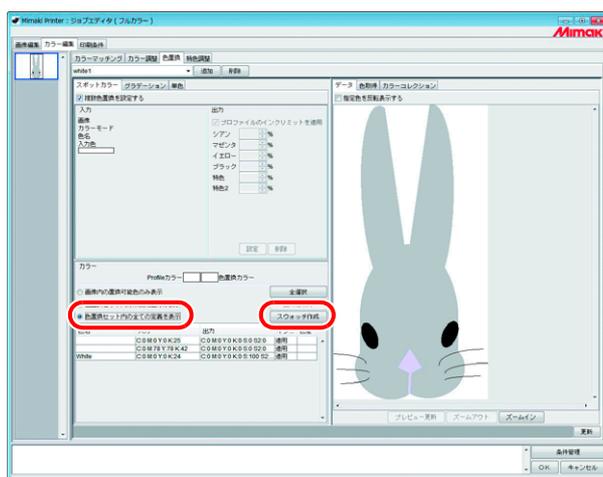
- [指定色を反転表示する] がチェックされた状態で編集対象の色を変更しても、以前に選択された色を点滅表示します。
点滅表示箇所を変更するには、**プレビュー更新** をクリックします。または [指定色を反転表示する] をチェックしなおします。
- グラデーション置換に対して反転表示させた場合、高濃度部分のみ反転表示します。



スウォッチライブラリを作成する

スウォッチ作成 ボタンをクリックすると、「色置換セット」に登録されている内容を使って、スウォッチライブラリを作成できます。

作成方法は、リファレンスガイド プリンタ共通編「スウォッチライブラリを作成する」(P.114)をご覧ください。



グラデーション置換をするには

色置換できるグラデーションの制約

色置換できるグラデーションには、以下の制約があります。

- Illustrator で作成したベクタオブジェクトのみ
- Illustrator で作成したグラデーションに、次の操作をしたものは色置換できません
 - 「分割・拡張」操作したもの
 - ラスタライズしたもの
- PhotoShop で作成したグラデーションや、ラスタライズしたグラデーションは色置換できません

指定可能なグラデーションの色は以下のとおりです。

グラデーションの最高濃度と最低濃度の組み合わせは以下の通りです。

最高濃度 (%)

C	M	Y	K
100	1	1	1
1	100	1	1
1	1	100	1
1	1	1	100

最低濃度 (%)

C	M	Y	K
0	1	1	1
1	0	1	1
1	1	0	1
1	1	1	0



最高濃度



最低濃度

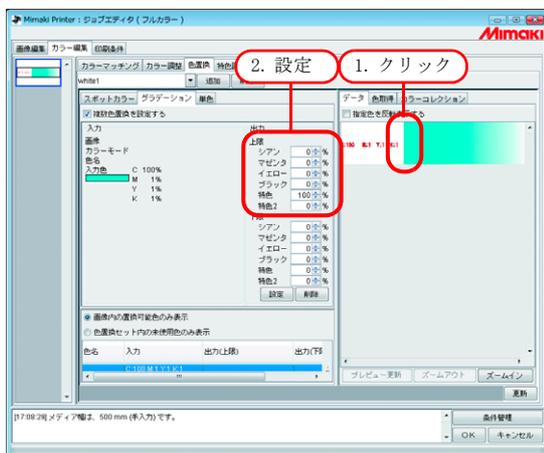
重要!

- グラデーションの、最高濃度と最低濃度の間に中間点を挿入して色を変更した場合、色置換はできません。
- クリッピングパスを数多く含むグラデーションは、正しく色置換できない場合があります。
- イラストレータのドロップシャドウ/透明のようなフィルタ効果を用いたグラデーションは正しく色置換できません。
- グラデーションに含まれる色と同じ色を持つイラストも置換されます。
例)
最高濃度 C=100, M=1, Y=1, K=1
最低濃度 C=0, M=1, Y=1, K=1
C=50, M=1, Y=1, K=1 のイラストがデータ中にあった場合、このイラストも色置換されます。
- 画面上でグラデーション置換の設定を行うことができて、データによって置換されない場合があります。必ず、事前に縮小印刷して置換されるか確認してください。
- Illustrator の設定で「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュ」にチェックが入っていると、グラデーション置換の設定ができません。

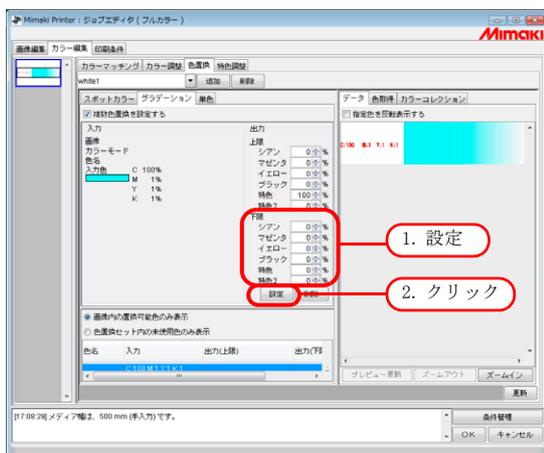
グラデーション置換の設定

グラデーションの色置換は、スポットカラーと同様の設定を行います。

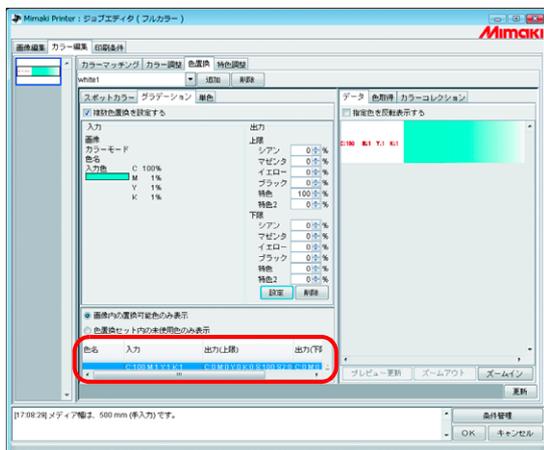
- 1 グラデーションの最高濃度部分をクリックします。
置換情報一覧の選択色を反転表示します。
置換後の最高濃度部のインク色のインク濃度を入力します。



- 2 続いて、置換後の最低濃度部のインク色のインク濃度を入力します。
設定 をクリックします。

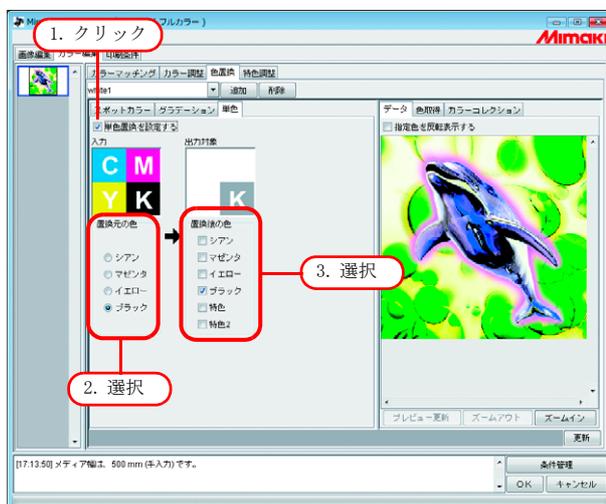


- 3 色置換情報が設定されます。



単色の置換

- “ジョブエディタ”を開き、[カラー編集]-[色置換]-[単色]メニューを表示します。
- “単色置換を設定する”をチェックします。
- “置換元の色”から、置換する色を選択します。
- “置換後の色”から、出力で使用するインク色を選択します。



原稿の色を取得する(色取得)

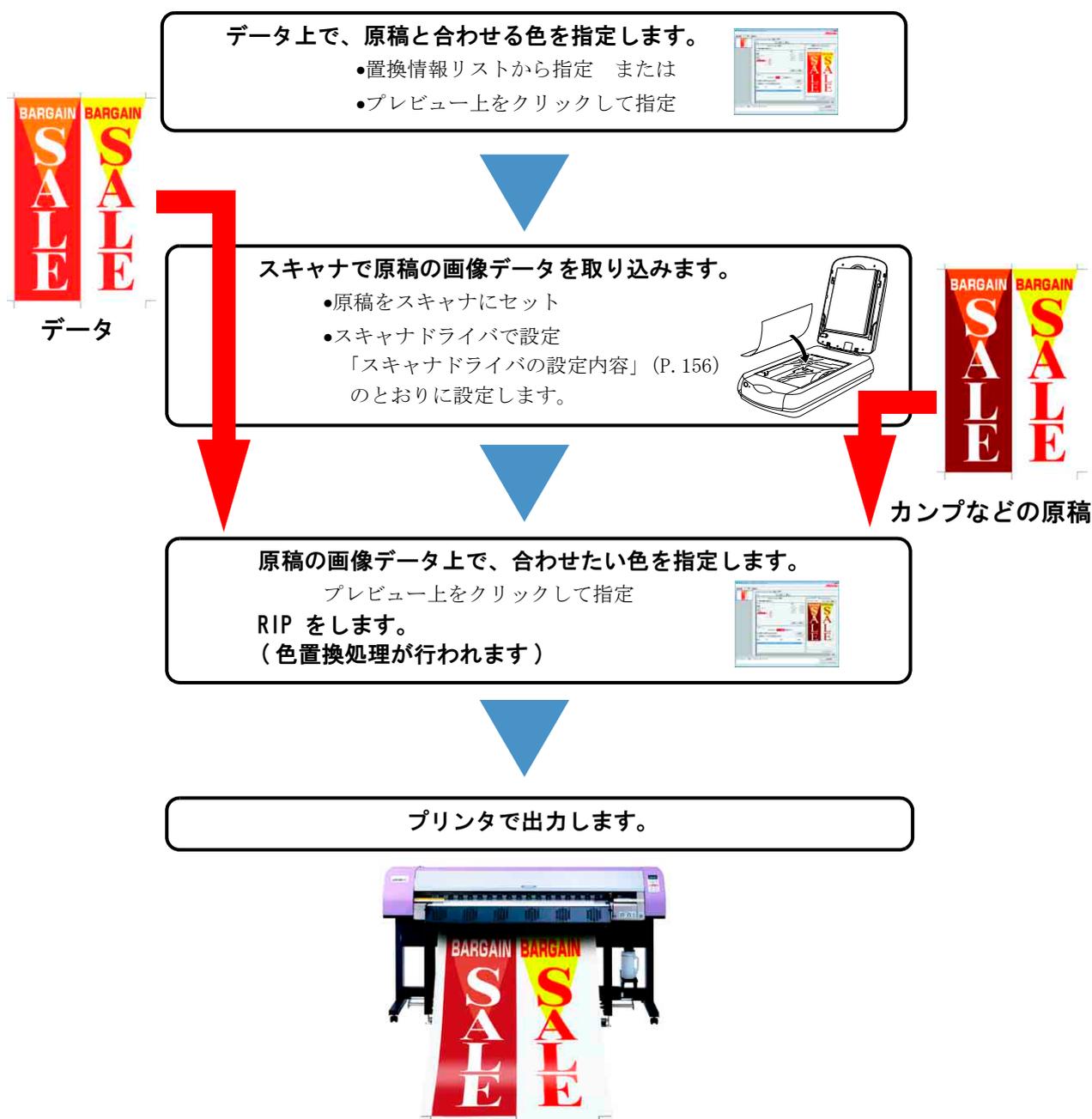
色置換の置換後の色指定にスキャナーを使用できます。使用可能なスキャナは「色取得機能と対応スキャナについて」(P.155)を参照してください。

重要!

- 本機能ではスキャナーで読み取った色に色味が近付くことを保証することはできません。必ず小さなサンプル等で色味を確認してください。
- 原稿により、スキャナで正しく色が読み取れない場合があります。
- 近付ける色味の範囲は、印刷条件(プロファイル)により異なります。
- スポットカラー・CMYKカラーに対してのみ色置換可能です。

色取得の流れ

色取得の手順は以下のようになります。



色取得

色取得はスポットカラー置換の1つの機能として動作します。スポットカラー置換では、置換元の色に対して置換後のインク濃度を数値指定しますが、本機能では、置換後のインク濃度の設定の代わりにスキャナから取り込んだ色情報を設定します。

1 [スポットカラー]メニューをクリックします。

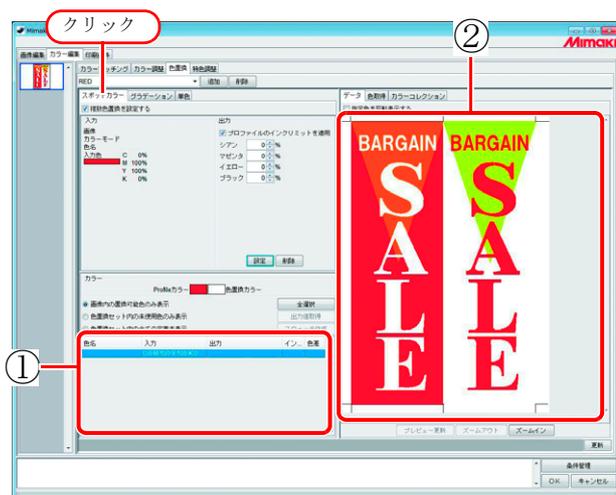
色置換を行う色を選択します。

① 置換情報リストから選択する

色置換したい色の色名・CMYK値をリストから見て選択します。

② プレビュー画面上から選択する

マウスカursorをプレビュー画面上に置き、色置換したい場所をクリックします。



2 [色取得]メニューをクリックします。

使用するスキャナの機種を選択します。

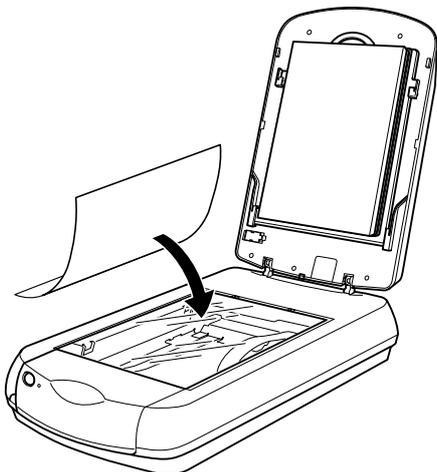
スキャナの電源がオンになっていることを確認し、**スキャン開始**をクリックします。スキャナドライバ画面 (TWAIN 画面) が表示されます。



- 3 スキャナに原稿をセットして、画像データを取り込みます。
「スキャナドライバの設定内容」(P.156)を参照し、スキャナドライバの設定をして、原稿の画像データを取り込みます。

重要!

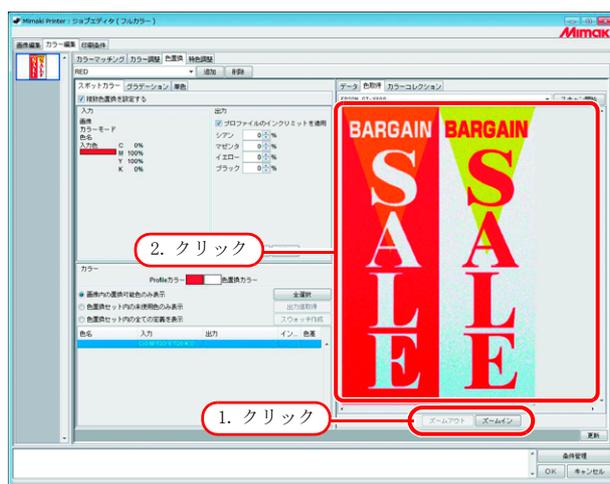
- 画像データを取り込むときには、スキャナドライバ画面 (TWAIN 画面) で色取得のために決まった設定を行って取り込む必要があります。設定の内容は、スキャナの機種により異なります。詳しくは、「色取得機能と対応スキャナについて」(P.155)をご覧ください。
- スキャナの操作方法については、スキャナに同梱の取扱説明書を参照してください。



- 4 取り込んだ画像データがプレビュー表示されます。
ズームイン または **ズームアウト** をクリックして色取得を行う色の部分を表示し、クリックします。
値を置換後のインク濃度に設定します。

重要!

色が一定した部分をクリックしてください。



カラーコレクション

DIC カラーガイドに近似させて印刷する

RasterLinkPro5 で DIC カラーガイドに近似させて印刷する場合の、Adobe Illustrator でのデータ作成方法と、RasterLinkPro5 の設定方法を説明します。

設定の流れ

1. Adobe Illustrator でスポットカラーのデータ作成

Adobe Illustrator でスウォッチライブラリから DIC カラーガイドを指定してデータを作成



2. RasterLinkPro5 の設定

Adobe Illustrator で作成した DIC カラーガイドのスポットカラーを RasterLinkPro5 で色置換するための設定

Adobe Illustrator でスポットカラーのデータを作成

重要!

説明は Adobe Illustrator10 を使用していますが、8、9、CS、CS2、CS3、CS4、CS5 も設定方法は同じです。

1 スポットカラー指定するデータを Adobe Illustrator で開きます。

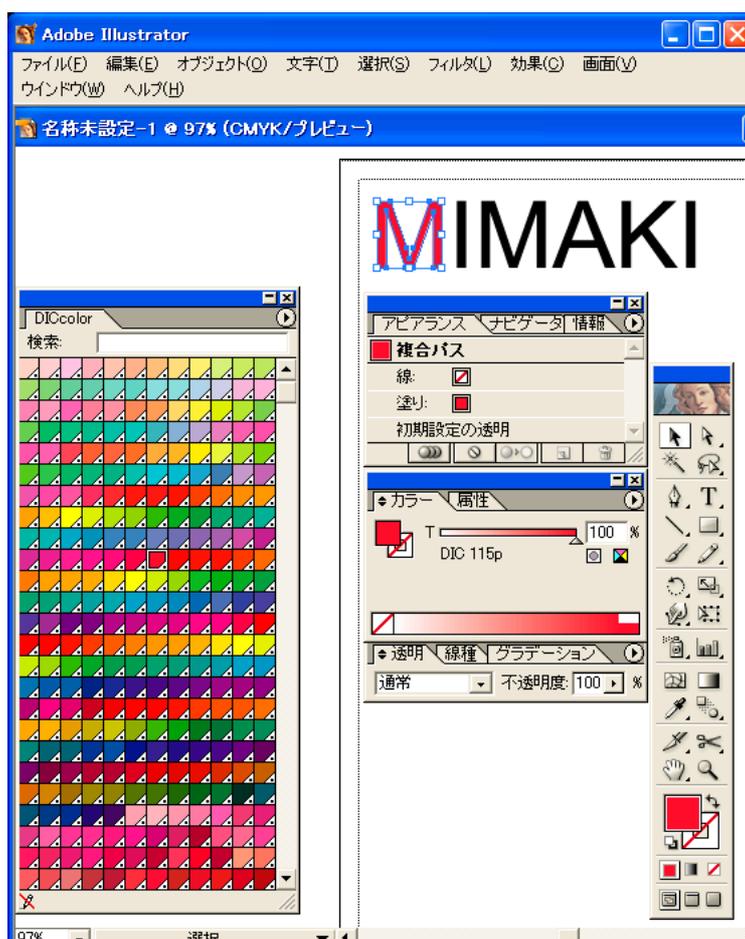
メニューの [ウィンドウ] - [スウォッチライブラリ] - [DICcolor] を選択し、DIC カラーガイドの スウォッチライブラリー一覧を表示します。



- Adobe Illustrator CS2 の場合、メニューから [ウィンドウ] - [スウォッチライブラリ] - [DIC カラーガイド] を選択します。
- Adobe Illustrator CS3 ~ CS5 の場合、メニューから [ウィンドウ] - [スウォッチライブラリ] - [カラーブック] - [DIC カラーガイド] を選択します。



- 2 DIC のカラーを設定するアートワークを選択し、DIC カラーガイドのスウォッチライブラリーから任意の色を選択します。



- 3 プリンタドライバ出力、もしくは EPS で保存し、ホットフォルダにデータをコピーします。

RasterLinkPro5 の設定

Adobe Illustrator で DIC カラーガイドのスポットカラー指定されたデータを、RasterLinkPro5 で色置換して印刷します。

- 1 データを RasterLinkPro5 にスプールし、ジョブエディタを開きます。
- 2 [カラー編集] タブの [色置換] タブを開き、色置換セットを作成します。

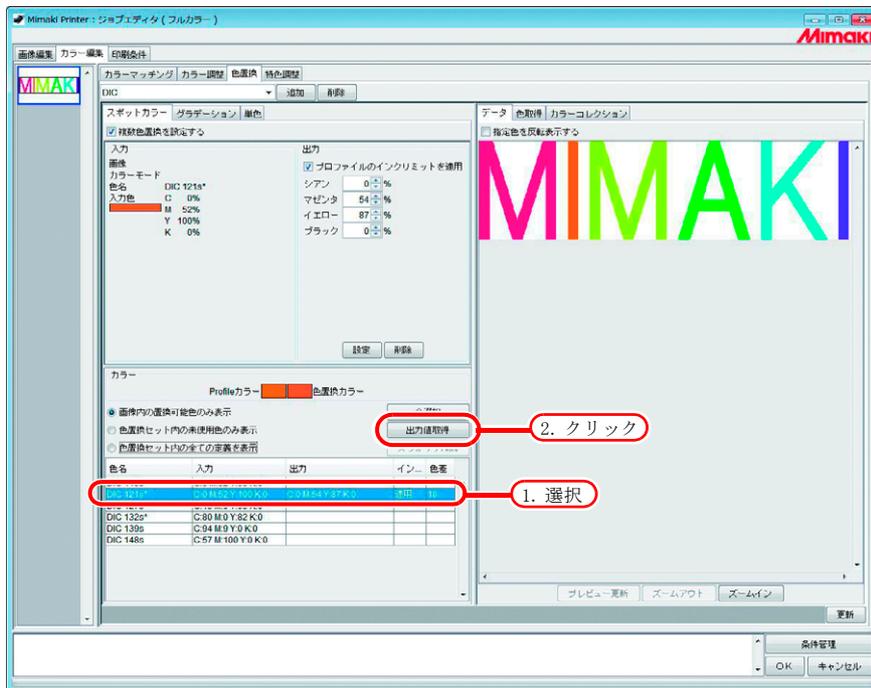


3 色置換情報を設定します。

- 選択した色名を色置換する場合

(☞「カラーコレクションから取得する2」(P.81))

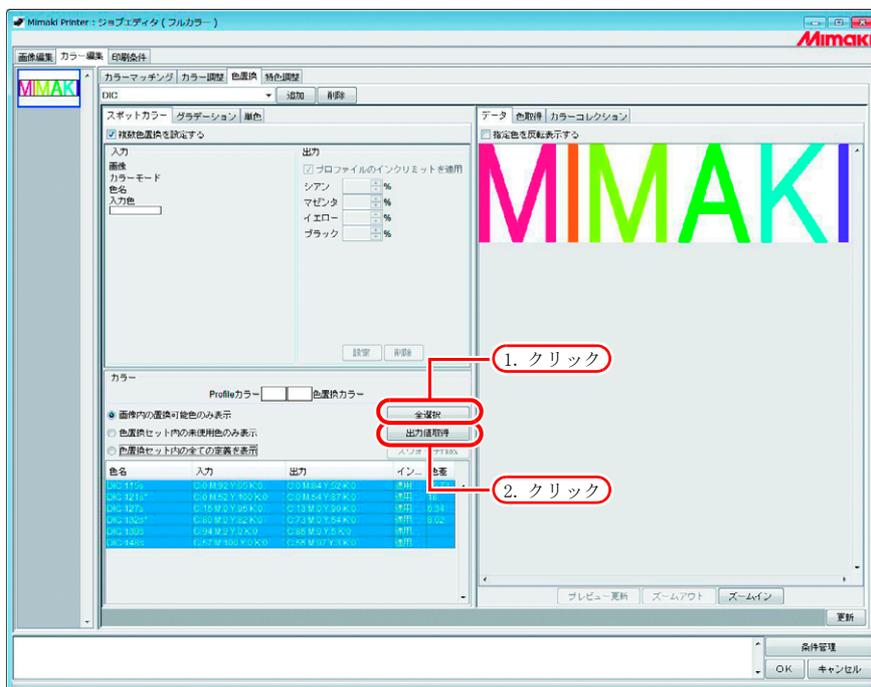
色置換する色名を選択し、**出力値取得** ボタンをクリックします。



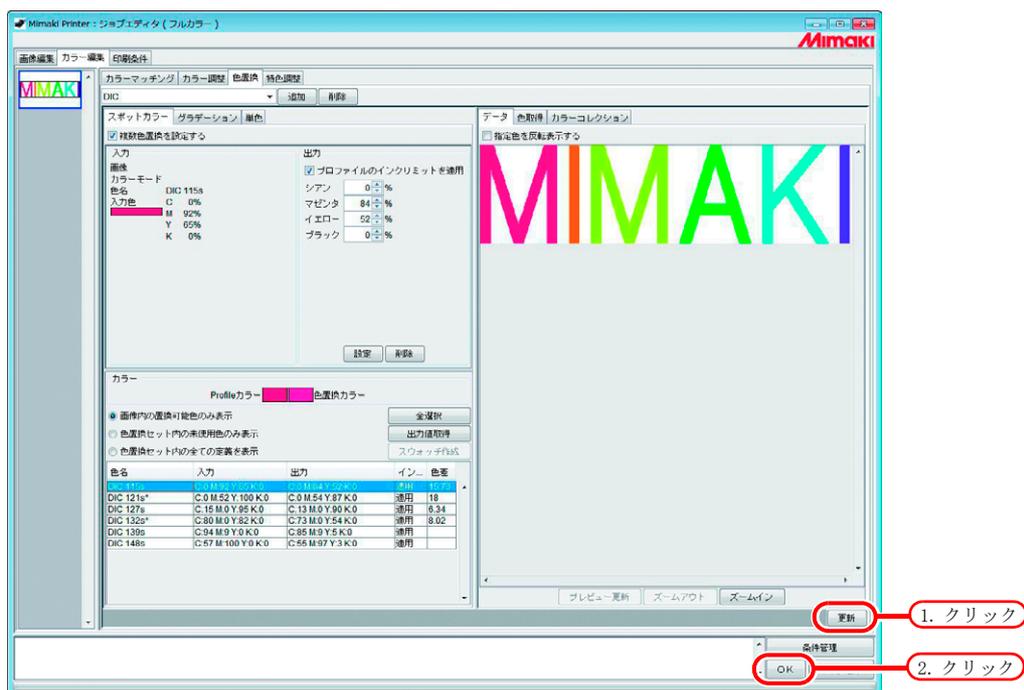
- 表示されている全ての色名を色置換する場合

(☞「カラーコレクションから取得する2」(P.81))

全選択 ボタンをクリックした後、**出力値取得** ボタンをクリックします。



4 **更新** ボタン、**OK** ボタンをクリックしてジョブの設定を保存します。

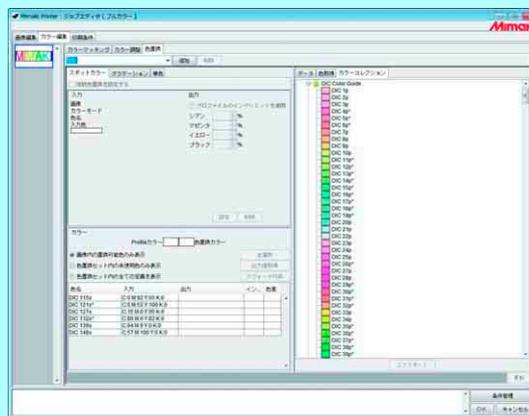


5 印刷を実行します。



RasterLinkPro5 では Adobe Illustrator の DIC カラーガイドに対応して 4 つのカラーコレクションを保有しています。カラーコレクションの詳細は、[カラー編集] - [色置換] - [カラーコレクション] を選択して確認できます。

Adobe Illustrator バージョン	DIC カラーガイド名	カラーコレクション名
8 ~ CS	DIC Color Guide	DIC 1p ~ DIC 654p*
	DIC Color Guide PART2	DIC 2001p ~ DIC 2638p
CS2 ~ CS5	DIC Color Guide CS2	DIC 1s ~ DIC 654s*
	DIC Color Guide PART2 CS2	DIC 2001s ~ DIC 2638s



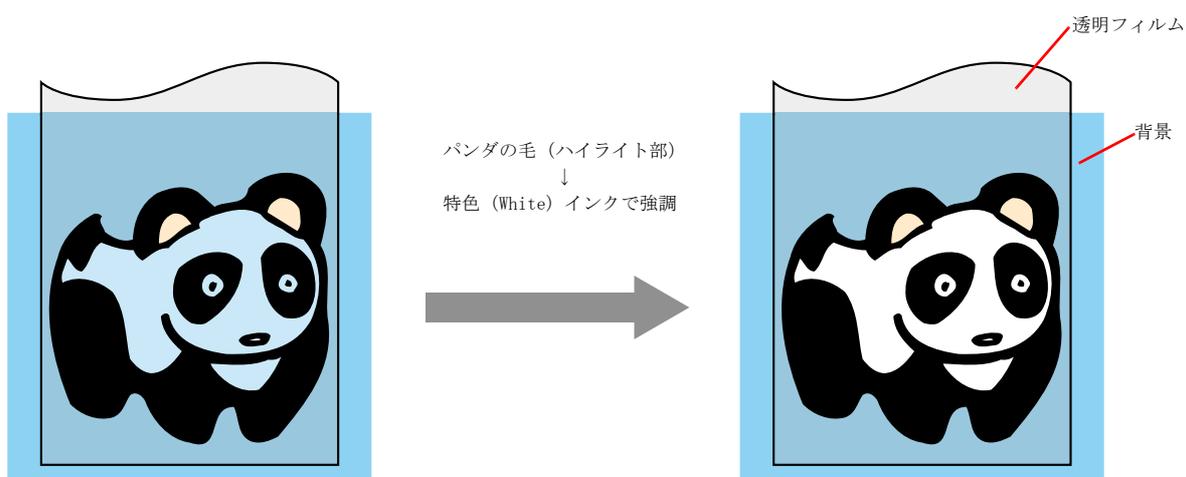
特色調整(GP-604S のみ)

特色調整を行うには、[印刷条件] - [印刷モード] - [特色カラーセット] が選択されている必要があります。

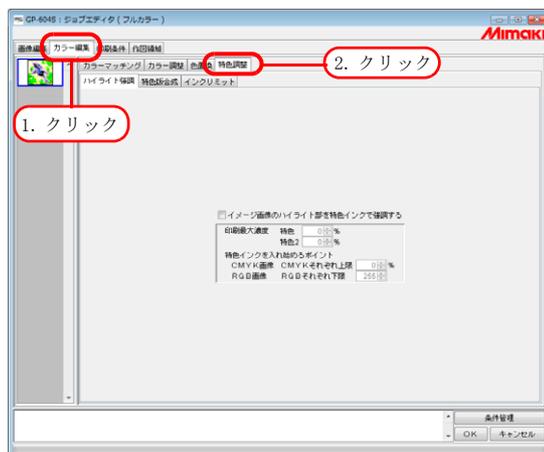
ハイライト部を特色で強調する

画像のハイライト部を、特色インクで強調することができます。透明フィルムなどに印刷するときに、ハイライト部を目立たせたい場合に効果があります。

CMYK 画像、RGB 画像のどちらでも調整可能です。



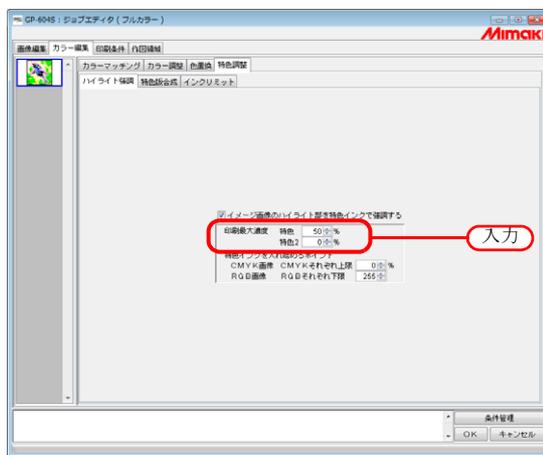
- 1 [カラー編集] メニューをクリックします。
[特色調整] メニューをクリックします。



2 [イメージ画像のハイライト部を特色インクで強調する] をチェックします。



3 ハイライト部に印刷する特色インクの最大濃度を 0 ~ 100% の範囲で指定します。印刷最大濃度は、特色カラーセットで選択された特色インクの数だけ指定できます。

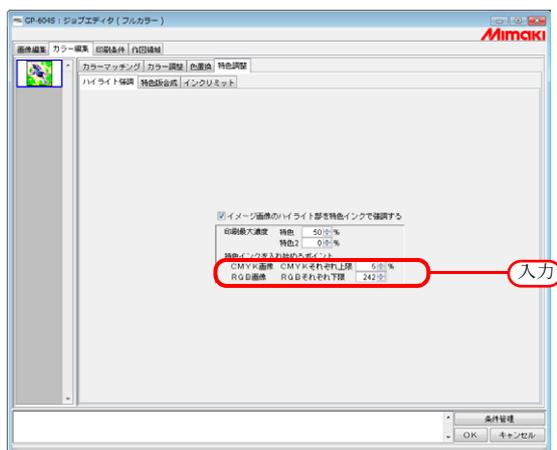


ここで指定した最大濃度は、ハイライト部で最もインク量が少ない箇所の濃度になります。特色インクの濃度は、ハイライト部のインク量にしたがって自動的に計算して調整します。

4 特色インクを印刷し始めるハイライト部のポイントを指定します。

CMYK 画像は、上限として 0 ~ 20% の範囲内で指定します。CMYK 各色がこの値より小さいハイライト部に特色インクが印刷されます。

RGB 画像は、下限として 204 ~ 255 の範囲内で指定します。RGB 各色がこの値より大きいハイライト部に特色インクが印刷されます。



特色版を自動的に作成する(自動特色版合成)

“カラー画像”と“カラー画像を元にして自動作成した特色インク単色画像(特色版)”を重ねるように印刷します。

重要!

次の条件を設定しているジョブは、自動特色版合成の設定ができません。

- パネリング
- グループ化
- 複数ページ

合成方法を設定します。



[合成順]

特色→カラー：

特色版を出力してから、その上にカラー版を出力します。

カラー→特色：

カラー版を出力してから、その上に特色版を出力します。

[特色領域]

画像全体：

レイアウトプレビューの画像を囲む点線と、同じ大きさ・形の特色版を出力します。

有効画素：

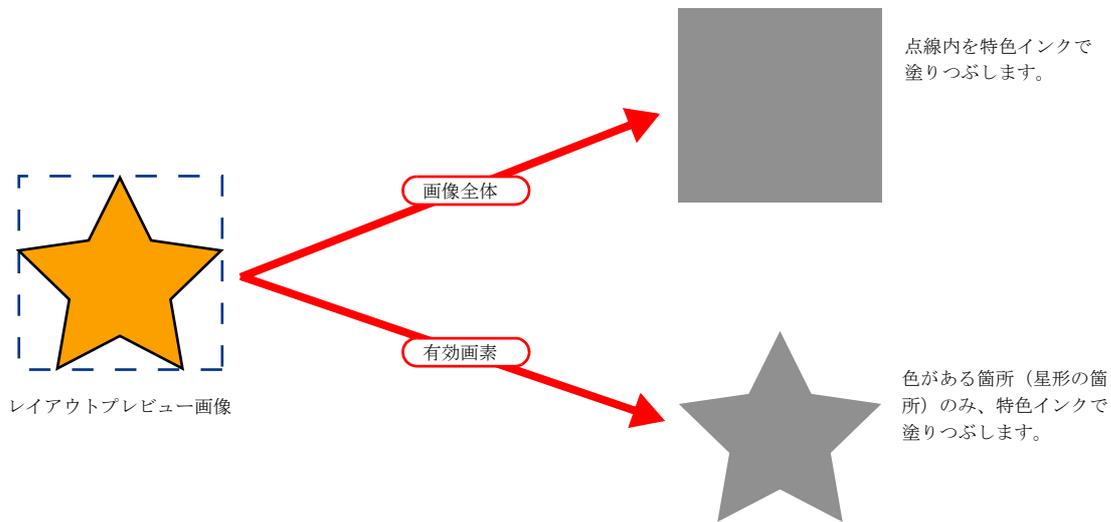
画像内の色がある部分のみの特色版を出力します。

[印刷濃度]

特色版に出力する特色インクの濃度0～100%の範囲で指定します。印刷濃度は、特色カラーセットで選択された特色インクの数だけ指定できます。

自動特色版合成例

レイアウトプレビューで下のように表示している画像を、それぞれ設定し出力した例です。



重要!

“有効画素”を指定して、写真画像の一部に空白（色がないハイライト部分）がある場合、空白部分に特色は印刷されません。
この場合、ハイライト部を特色で強調する機能（ P.98）と併用してください。

合成順例

“レイアウトプレビュー”で下のように表示している画像を、次のように入出力します。

“特色領域”... 画像全体

“合成順”..... 特色→カラー



レイアウトプレビュー画像



[1]
“レイアウトプレビュー”で表示している点線内を特色インクで四角形に塗りつぶしてプリントします。



[2]
特色インク版に重なるように、カラー版をプリントします。

インクリミットを編集する

特色のインク量を調整します。調整した値は、特色調整セットとして登録できます。

特色調整セットを作成する

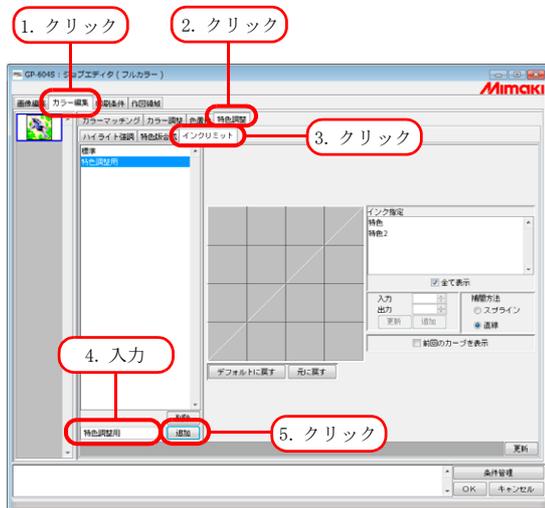
特色調整セットは、特色カラーセットごとに作成します

- 1 [カラー編集] メニューをクリックします。
[特色調整] メニューをクリックします。
[インクリミット] メニューをクリックします。
特色調整セット名を入力します。

重要! 特色調整セット名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : ? " < > |

追加 ボタンをクリックします。

すでに同じ名前前の特色調整セットがある場合は、上書きの確認メッセージを表示します。

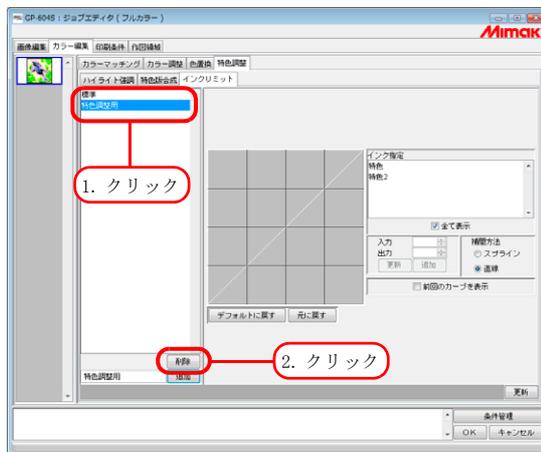


- 新規に特色調整セットを作成する場合は、“標準”を選択します。その後、セット名を入力して **追加** ボタンをクリックします。
- 登録済みの特色調整セットを複製する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に **追加** ボタンをクリックします。

特色調整セットを削除する

登録した特色調整セットをクリックします。

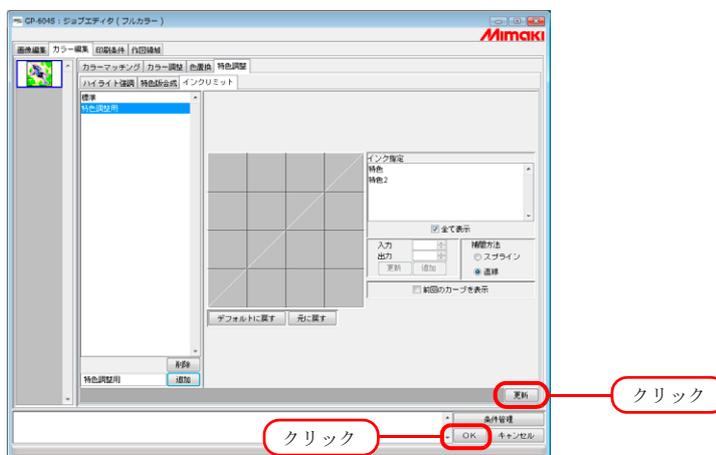
削除 ボタンをクリックすると、選択したカラー調整セットを削除できます。



特色調整セットを更新する

設定した特色調整セットを更新するには、

更新 ボタンをクリックするか、**OK** ボタンをクリックし、ジョブエディタを終了します。



重要!

特色調整セットを更新すると、同じ特色調整セットを使用している別のジョブにも変更内容が適用されます。既に RIP 済みデータがある別のジョブに変更内容が適用された場合、“印刷のみ”を実行すると印刷結果が異なることがあります。もう一度 RIP し直すか、特色調整セットの更新または新規作成を行ってください。

インクカーブを調整する

“特色カラーセット”で選択した特色インクカーブを表示します。横軸に調整前のインク濃度（入力階調）、縦軸に調整後のインク濃度（出力階調）を示します。縦軸、横軸とも0から255の範囲を表示します。

出力階調が0より下回る場合は、0に設定されます。また、255より上回る場合、255に設定されます。

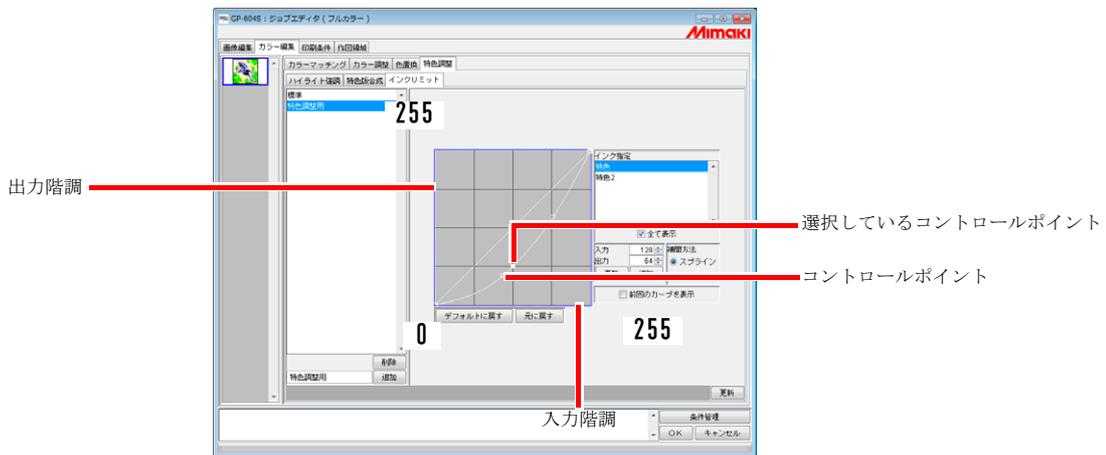
インクカーブ上の調整したいポイントをクリックすると、コントロールポイントができます。最高30個まで追加できます。なお、選択しているコントロールポイントは、白抜き矩形から塗りつぶされた矩形に変わります。



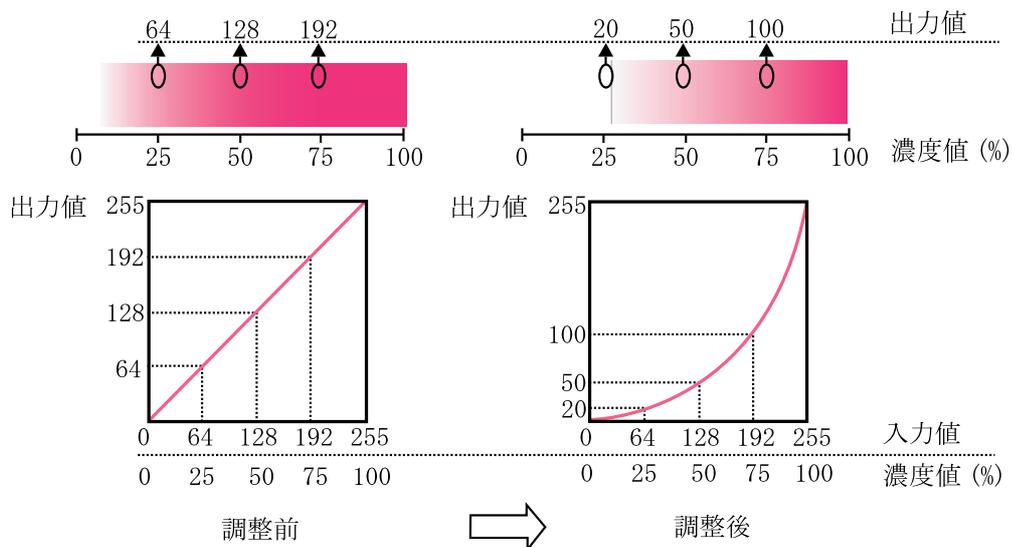
インクカーブの設定に関する操作は、CMYKインクと同様です。(P.60)

重要!

特色のインクカーブは色置換にだけ適用されます。自動特色版合成、自動クリア版合成、ハイライト強調には適用されません。



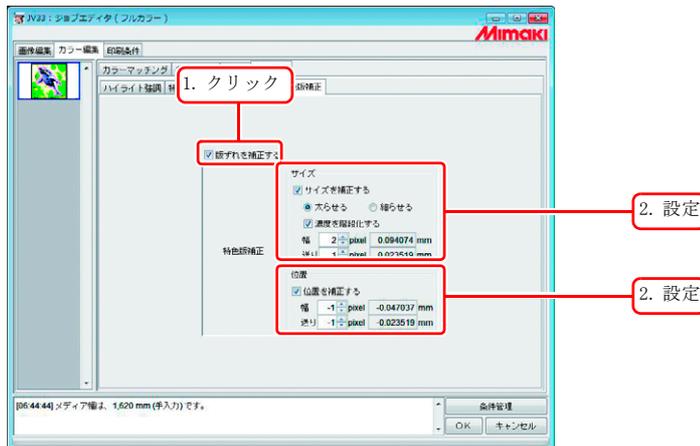
グラデーションの色置換で特色インクを使用した場合のインクカーブ適用例



特色版補正機能

以下のような問題を改善したい場合、特色版補正機能を設定します。

- 特色 (ホワイト) とカラー画像を重ねて印刷する場合、特色版とカラー画像が若干ずれて印刷されることがあり、これを補正したい。
- ベースに印刷したホワイトインクがカラー画像からはみ出て印刷されるので、ホワイトインクの画像を若干小さめに印刷したい。



[サイズを補正する]

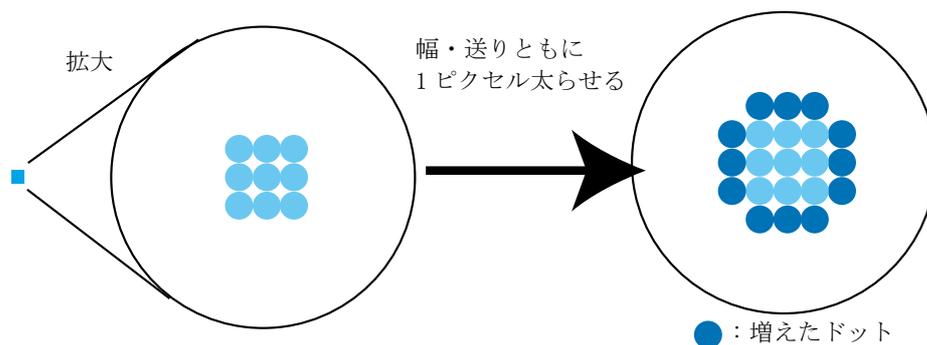
特色版の大きさを補正します。

太らせる : 特色版を指定した幅および送りのピクセル数分大きくします。

細らせる : 特色版を指定した幅および送りにピクセル数分小さくします。

濃度を階段化する : [太らせる] を選択したときに有効になります。太らせた部分のインク濃度が、グラデーション状に外に向かって変化します。

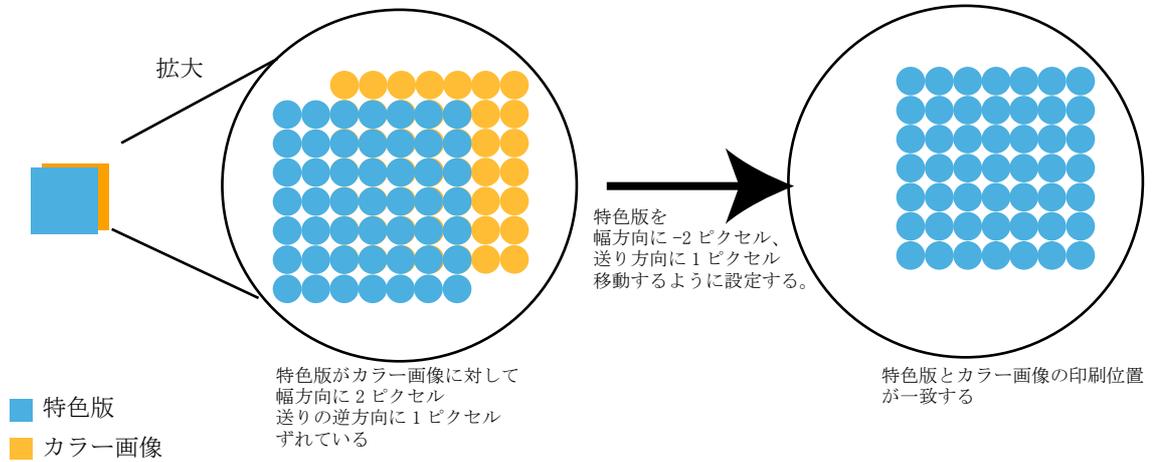
例 : 特色版を幅、送りと共に 2 ピクセル太らせる設定にした場合



[位置を補正する]

特色版の位置を指定した幅および送りのピクセル数分移動させます。

例：カラー画像と特色版が以下のようにずれていた場合



重要!

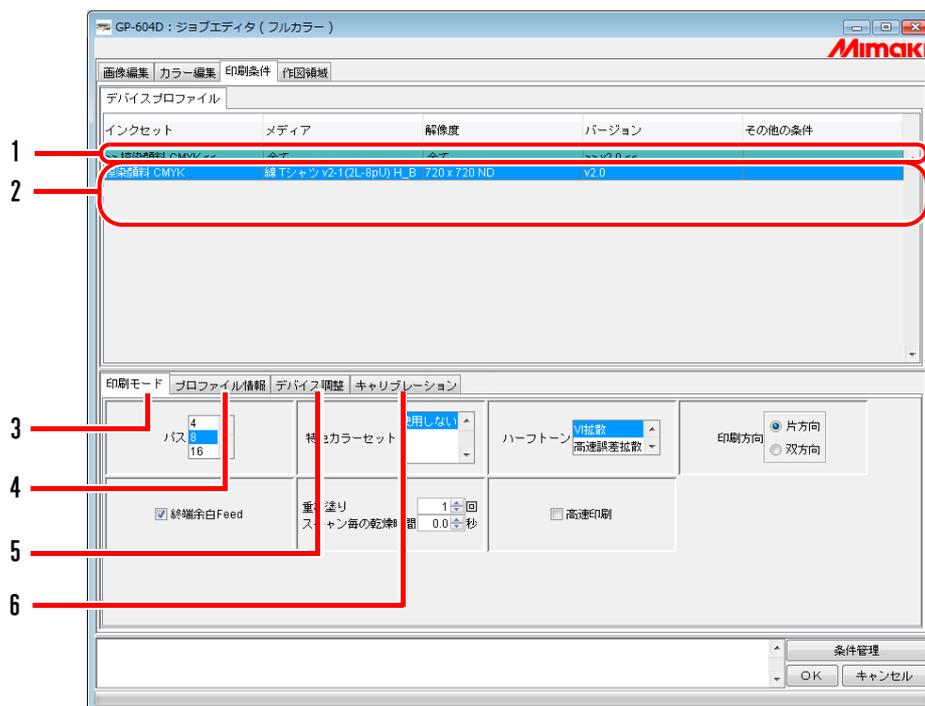
- 画像編集画面で以下の設定を行っている場合、特色補正は行えません。
コピー、カットライン印刷、トンボ印刷、両面印刷、パネリング
- 以下のジョブでは特色補正は行えません。
複数ページあるもの、RIP 分版、アプリ分版のジョブ
複数ジョブを面付けしているが、重ね印刷を OFF にしている
- 特色補正の値は画像編集画面のプレビューには反映されません。
- 重ね印刷を“ON”にしても、自動特色版合成を行っている場合は、[位置を補正する] を設定することはできません。

印刷条件の編集

印刷条件を設定します。

重要!

- 複数のジョブをグループ化している場合、すべてのジョブが同じ出力条件になります。
- RasterLinkPro5 TA で設定した印刷条件を使って印刷する場合、必ずプリンタ本体の「優先順位」の設定を“ホスト”にしてください。「優先順位」の設定を“パネル”にしていると、RasterLinkPro5 TA で設定した印刷条件は無視され、プリンタ側で設定した印刷条件を使って印刷を行います。（「優先順位」の設定方法について、詳しくはプリンタの取扱説明書をご参照ください。）



1. デバイスプロファイルの絞込み

デバイスプロファイルを絞込み表示します。(P.110)

2. デバイスプロファイルリスト

最適な印刷を行うためのデバイスプロファイルを表示します。
使用するデバイスプロファイルをクリックして選択します。

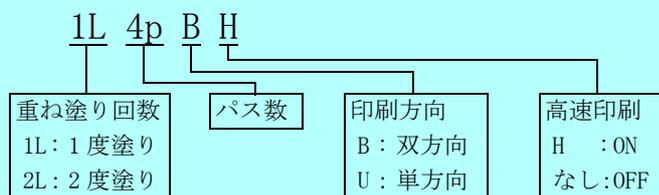
重要!

- プリンタ本体のインクセットに合わせてデバイスプロファイルを選択してください。
例えば、プリンタ本体で6色充填しているときにRasterLinkPro5 TA側で7色または8色のデバイスプロファイルを選択しても、正常に印刷できません。

重要!

- 出力できる解像度は、インストールされているデバイスプロファイルに依存します。
出力したい解像度がない場合、対応するプロファイルをインストールしてください。(対応するプロファイルは用意されていない場合もあります。)
- デバイスプロファイルには推奨の印刷条件設定(パス数/重ね塗り回数/印刷方向/高速印刷の有無)があります。それ以外の条件で印刷すると適切な画質を得られません。
デバイスプロファイルはメディア毎に適した条件で作成しているので、使用するメディアのデバイスプロファイルをご使用ください。メディアとデバイスプロファイルが合っていない場合、適切な画質が得られないことがあります。
デバイスプロファイルの推奨値は以下の手順で、印刷条件に設定します。
プロファイルバージョンがV3の場合：
プロファイルを選択することで自動的に推奨値が設定されます。
プロファイルバージョンがV2の場合：
プロファイルを選択すると初期値が設定されます。これは、プロファイルの推奨値ではありません。メディア名に推奨値が記載されているプロファイルでは、下記の説明に従い、推奨値を印刷条件に設定してください。

例1) メディア名が「UV- ペット v2(1L4pBH)」の場合、括弧の中が推奨値となります。



※ 重ね塗り回数とパス数の間に-(ハイフン)がついているものもありますが、基本的には上記と同じです。

例2) メディア名が「光沢塩ビ (1Layer)」の場合、括弧内は重ね塗り回数を表します。

1Layer : 1度塗り
2Layer : 2度塗り

メディア名に推奨値が記載されていないプロファイルの場合、初期設定値でテストプリントを行い、画質が悪いと判断された場合は印刷条件設定を変更してください。

3. [印刷モード] サブメニュー

印刷モードを設定します。(☞ P.111)

4. [プロファイル情報] サブメニュー

デバイスプロファイルの情報を表示します。(☞ P.113)

5. [デバイス調整] サブメニュー

送り補正值やヒーター温度を設定します。(☞ P.114)

6. [キャリブレーション] サブメニュー (P.116)

現在選択しているバージョン 3.0 のデバイスプロファイルが“キャリブレーション情報”、“イコライゼーション情報”を含む場合、“キャリブレーション”メニューを表示します。

RIP 時にキャリブレーション情報、イコライゼーション情報を適用する／しないを選択します。

キャリブレーション (情報) : ... 現在のプリンタの色みを、プリンタ初期状態など特定の状態の色みに近似させるための調整 (情報)

イコライゼーション (情報) : ... 現在のプリンタの色みを、対象となるプリンタの色みに近似させるための調整 (情報)

重要!

この機能を使用する場合、弊社のプロファイル作成専用ソフトウェア「MimakiProfileMaster II」で作成した“キャリブレーション情報”または“イコライゼーション情報”を含むバージョン 3.0 のデバイスプロファイルが必要です。

弊社が提供するバージョン 3.0 のデバイスプロファイルには、“キャリブレーション情報”と“イコライゼーション情報”は含まれていません。

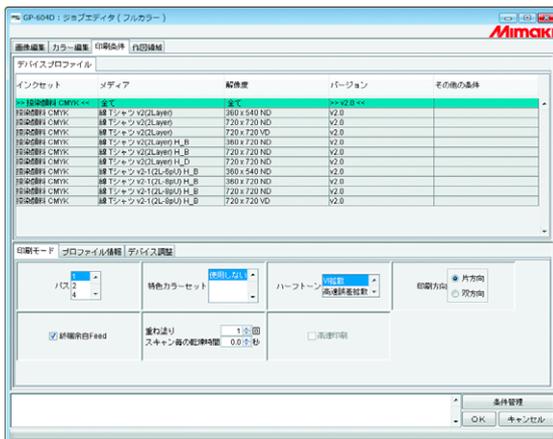
プロファイルの絞込み表示

デバイスプロフィールをインクセット、メディア、解像度、バージョン、プロフィールに含まれるその他の条件でプロフィールを絞込み表示します。

リスト 1 行目の緑色の行で絞込み条件を指定します。

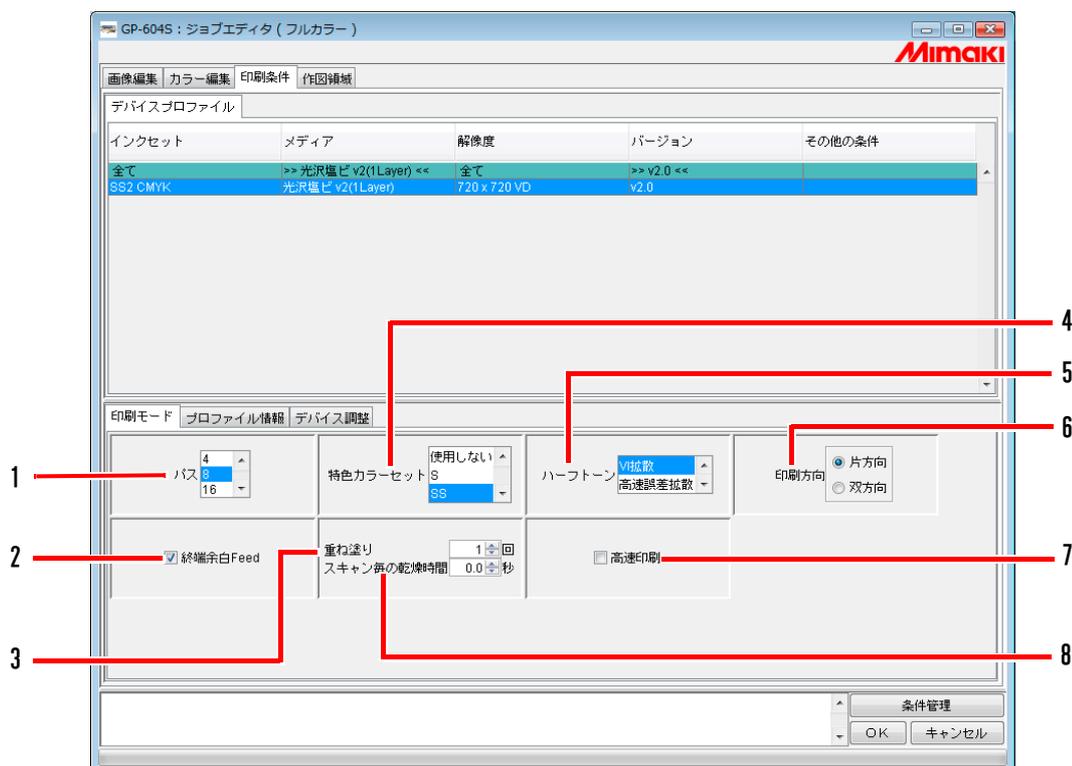


[インクセット] が捺染顔料 CMYK のプロフィールを絞り込んだとき



[印刷モード] サブメニュー

印刷モードを設定します。



1. パス

1 バンドを何分割で印刷するか指定します。
数が大きいくほど綺麗に印刷できますが、印刷時間は長くなります。

2. 終端余白 Feed

画像の終端（元画像の上部）に空白があった場合、その空白部分をフィードするかどうかを設定します。

3. 重ね塗り

発色を強くしたい場合に設定します。

重ね塗り用の出力プロファイル（2Layer用）を使用する場合は、重ね塗りの回数には“2”を入力してください。

4. 特色カラーセット

色置換で使用する特色インクを選択します。

次のものが選択可能です。

S 特色を1つ使用します。

SS 特色を2つ使用します。

使用しない..... プロファイルで使用されている色以外使用しません。

5. ハーフトーン

プリントの階調表現を指定します。

VI 拡散..... ベタ塗りが多い画像向きです。

高速誤差拡散..... 小さな文字にシャープさを求める場合選択します。ベタ塗りが多い画像ではシマが出てしまうため不向きです。

ILL 拡散..... バージョン3 デバイスプロファイルで選択できます。淡い色の再現性にすぐれ、グラデーションが多い画像向きです。

6. 印刷方向

片方向..... ヘッドが右から左へ移動する際にインクを吐出して印刷します。“双方向”より綺麗に印刷できますが、印刷時間は長くなります。

双方向..... ヘッドが左右に移動する際にインクを吐出して印刷します。“片方向”より画質が落ちますが、印刷時間は早くなります。

7. 高速印刷

印刷時間を短くするために、高速で印刷することができます。

ただし、通常の印刷より画質が落ちます。

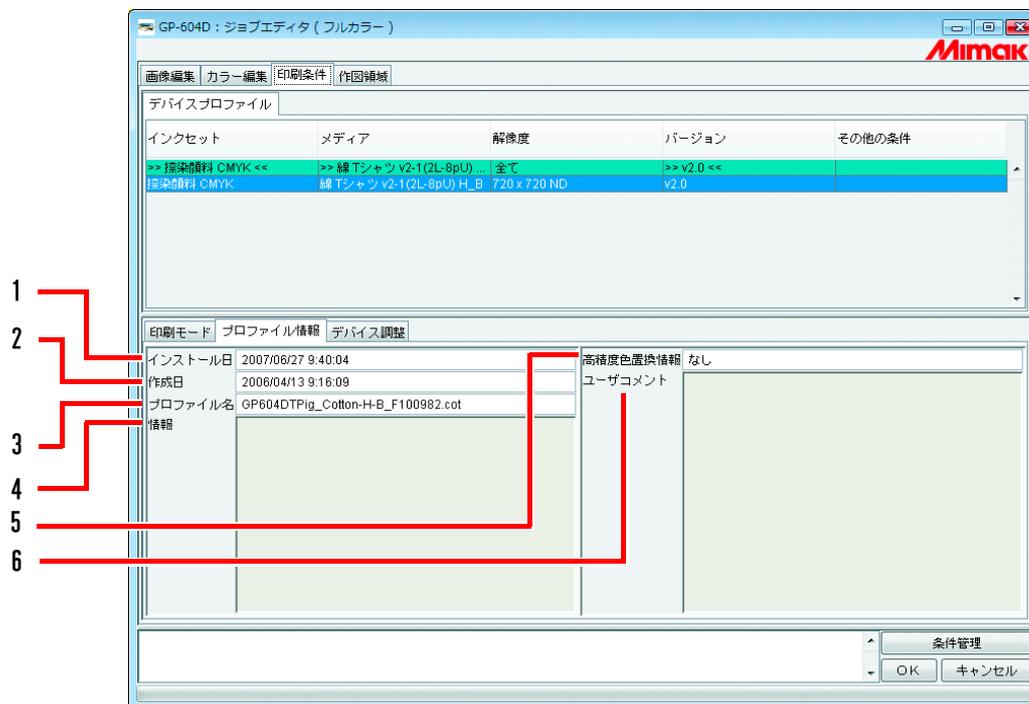
8. スキャン毎の乾燥時間

ヘッドが1 スキャンする度に停止する時間を設定します。

インクの乾燥状態を目安に設定してください。

[プロファイル情報]サブメニュー

デバイスプロファイルの情報を表示します。



1. インストール日

選択したプロファイルのインストール日を表示します。

2. 作成日

選択したプロファイルの作成日を表示します。

3. プロファイル名

選択したプロファイルのファイル名を表示します。

4. 情報

選択したプロファイルの情報を表示します。

5. 高精度色置換情報

デバイスプロファイル内の、高精度色置換情報の有無を表示します。

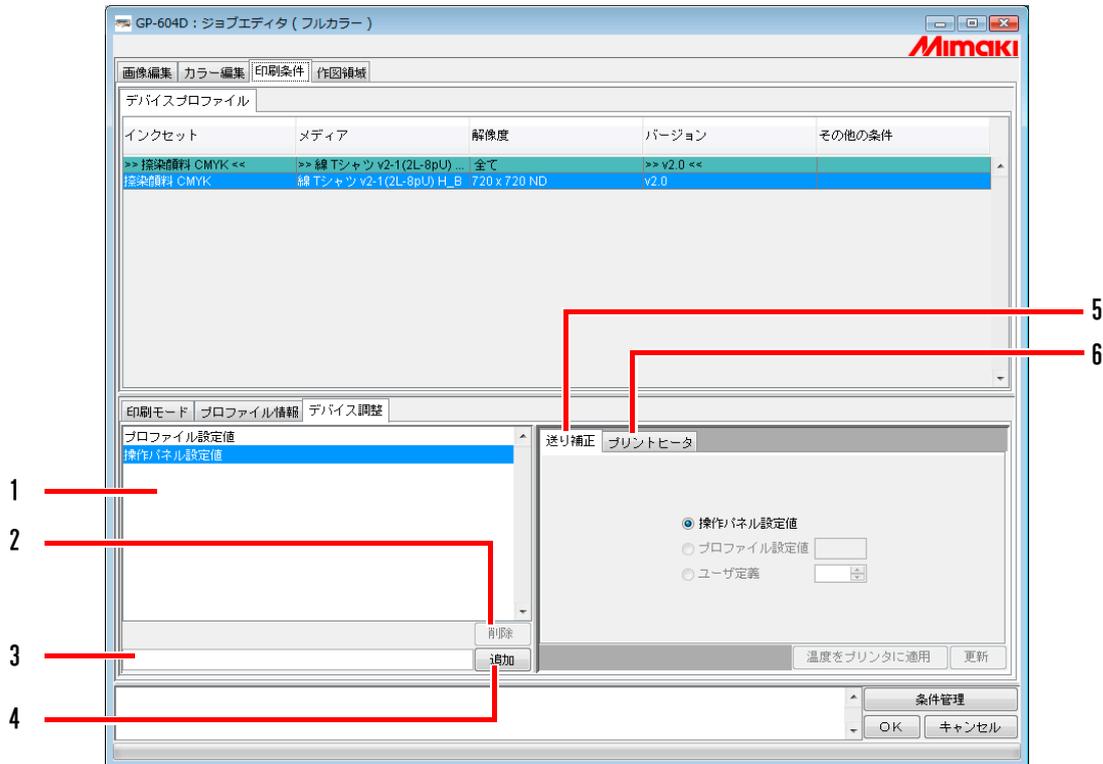
6. ユーザコメント

プロファイルに対してコメントを書き込むことができます。

プロファイルを選択すると、ユーザーコメント欄に書き込んだコメントを表示します。

[デバイス調整] サブメニュー

送り補正值やヒーター温度を設定します。



1. デバイス調整セットリスト

登録されているデバイス調整セットを表示します。

デバイス調整セットとは、[デバイス調整]サブメニューで設定・登録した値を名前を付けて登録したファイルです。

2. 削除

登録してあるデバイス調整セット名を削除します。

重要!

“プロフィール設定値”と“操作パネル設定値”は削除することはできません。

3. デバイス調整セット入力ボックス

登録するデバイス調整セット名を入力します。

メディア名と送り補正值がわかるような名前を入力すると便利です。

重要!

デバイス調整セット名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > |

4. 追加

デバイス調整セットを追加します。

5. 送り補正

フラットタイプのプリンタは、メディアを手前に送り出しながら印刷します。作図した画像に縞などが入るなど綺麗に印刷できない場合は、メディアの送り量を補正します。下記のいずれかの送り補正值を優先にするか設定します。

操作パネル設定値： プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロファイル設定値： 選択したプロファイルに登録されている値を優先にします。

重要!

送り補正が登録されていないプロファイルがあります。この場合、プロファイル設定値は表示しません。

ユーザー定義： ボックスに入力した値でプリンタが動作します。

6. プリントヒータ(GP-604 シリーズ)

The screenshot shows a settings window titled "送り補正 プリントヒータ". It contains three radio button options for selecting the heater temperature source: "操作パネル設定値" (selected), "プロファイル設定値" (60°C), and "ユーザー定義" (20°C). There is also a checkbox for "ヒータオフ". At the bottom, there are two buttons: "温度をプリンタに適用" and "更新".

プリンタに搭載のヒータ設定を行います。

操作パネル設定値： プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロファイル設定値： 選択したプロファイルに登録されている値を優先にします。

重要!

ヒータ温度が登録されていないプロファイルがあります。この場合、温度表示はしません。

ユーザー定義： ボックスに入力した値でプリンタが動作します。

ヒータオフ： チェックするとヒータを使用しません。

温度をプリンタに適用

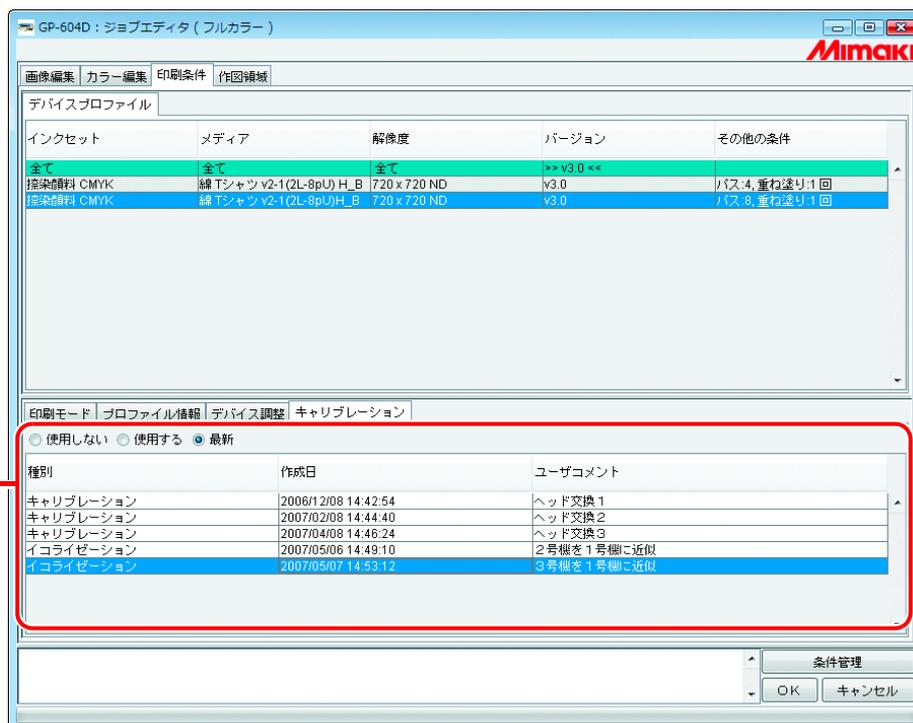
： クリックするとプリンタへ温度設定情報を送信します。プリント前に温度設定を行うことで、プリント直前のヒータ温度調整時間を短くすることができます。

[キャリブレーション] サブメニュー

“キャリブレーション”“イコライゼーション”の使用の有無を設定します。



[キャリブレーション] サブメニューは、キャリブレーション情報があるバージョン 3.0 のデバイスプロファイルを選択すると表示されます。
デバイスプロファイルにキャリブレーション情報を追加するには、弊社のプロファイル作成ソフト「MimakiProfileMaster II」をご使用ください。



1. キャリブレーション

[使用する] リストから選択されたキャリブレーションもしくはイコライゼーション情報を使用して RIP します。

[使用しない] キャリブレーション、イコライゼーション情報を使用しません。

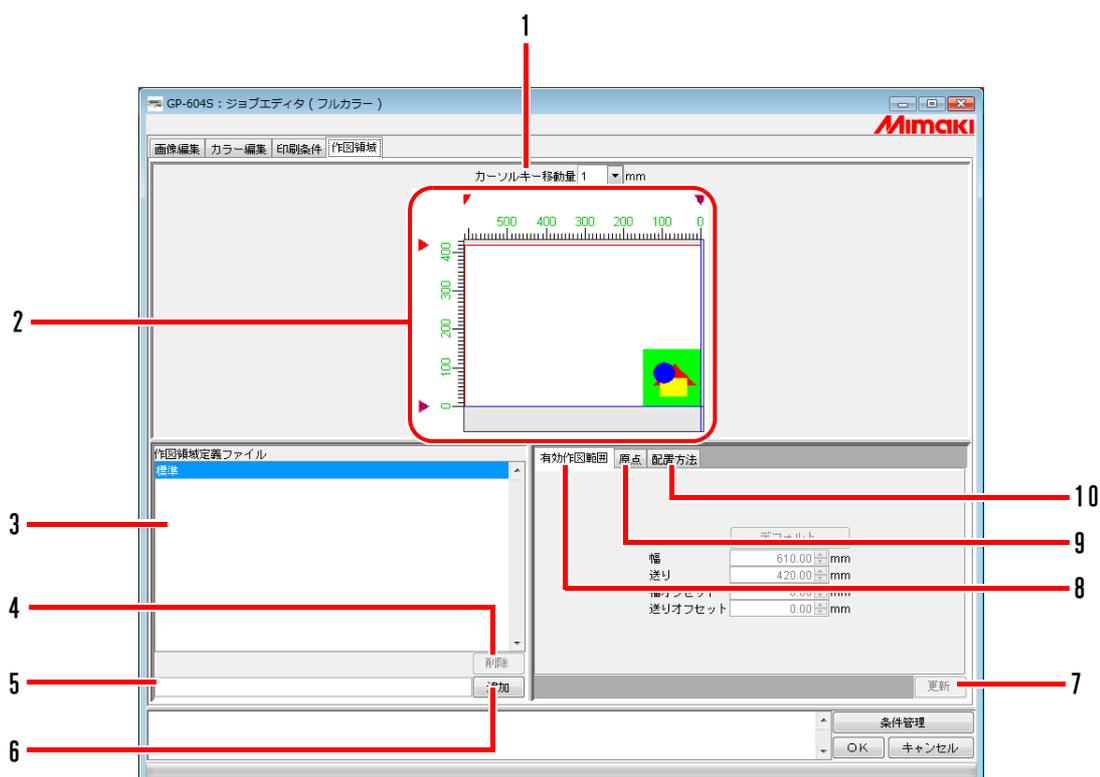
[最新] 常に作成日が最も新しいキャリブレーションもしくはイコライゼーション情報を使用して RIP します。キャリブレーション情報を日々追加して運用する場合、毎回選択する手間を省略します。

作図領域の編集

印刷するメディアのサイズに合わせて有効作図領域を登録します。
有効作図領域を登録すると、画像を配置する際の目安になります。
また、メディアの外に印刷してしまうのを防ぎます。

[作図領域] メニュー

有効作図領域に関する設定を行います。



1. カーソルキー移動量(GP-604S, GP-1810 シリーズ, DM シリーズ)

キーボードの矢印キーを押して原点の位置を移動するときの単位を選択します。(参照 P.126)

2. プリントエリアビュー

[作図領域]メニューで設定した内容を表示します。(参照 P.119)

3. 作図領域定義ファイル

登録されている作図領域定義ファイルを表示します。

作図領域定義ファイルとは、[有効作図範囲]、[原点]、および[配置方法]サブメニューで設定した値を名前を付けて登録したファイルです。

印刷をする場合は、作図領域定義ファイルを選択する必要があります。

(参照 P.130)

4. **削除**

作図領域定義ファイルを削除します。

ただし“標準”の作図領域定義ファイルは削除できません。(☞ P.130)

5. **作図領域定義ファイル名入力ボックス**

現在選択されている作図領域定義ファイル名を表示します。新規に登録する場合は、新しいファイル名を入力します。

重要!

作図領域定義ファイル名に下記の半角文字は使用できません。

¥ / : * ? “ < > |

6. **追加**

新規に作図領域定義ファイルを作成します。また、登録済みの作図領域定義ファイルの設定条件を変更して上書きできます。(☞ P.129)

7. **更新**

選択中の作図領域定義ファイルを、“作図領域”メニューで設定した値で更新します。

8. **[有効作図範囲] サブメニュー**

有効作図範囲を設定します。(☞ P.121)

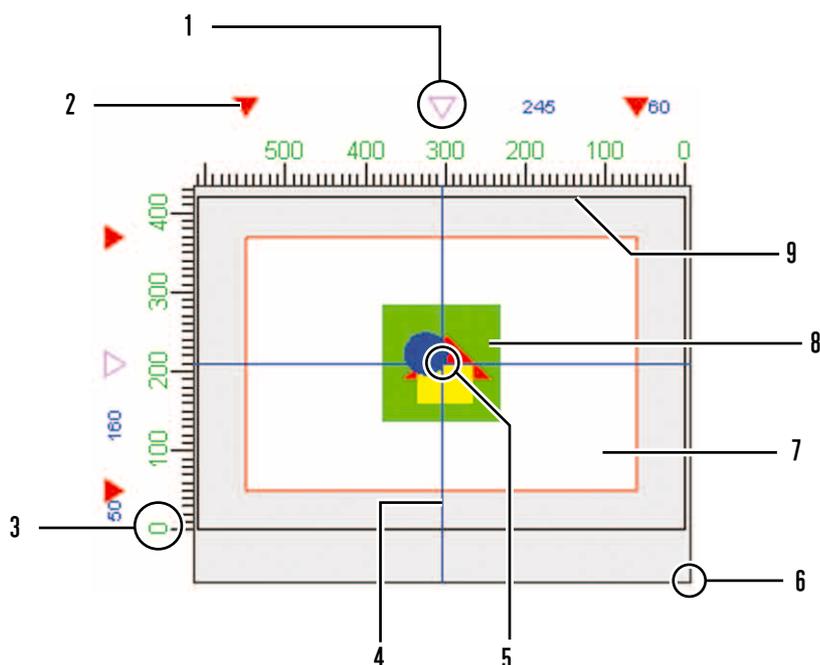
9. **[原点] サブメニュー(GP-604S, GP-1810 シリーズ, DM シリーズ)**

有効作図範囲上に原点を設定します。(☞ P.125)

10. **[配置方法] サブメニュー(GP-604S, GP-1810 シリーズ, DM シリーズ)**

原点に対する画像の配置方法を設定します。(☞ P.127)

プリントエリアビュー



1. 原点ガイド

原点ガイドライン（青）を移動する場合にドラッグします。

2. 有効作図範囲の端面

4個の▼マークで有効作図範囲の境界を示します。

3. 最大作図エリアの先端

最大作図エリアの先端を0で表示します。

4. 原点ガイドライン

縦の青いガイドラインは幅方向の原点を示します。横の青いガイドラインは送り方向の原点を示します。

5. 原点

画像を配置するための原点を2本の青いガイドラインの交点で示します。(☞ P.122、P.124)

6. プリンタ原点、初期原点

プリンタの電源を入れた時に設定される初期原点です。(☞ P.122、P.124)

作図領域の初期原点です。(☞ P.122、P.124)

7. 有効作図エリア

[有効作図範囲]サブメニューで設定した有効作図範囲を赤い矩形で表示します。

( P.122、P.124)

赤い矩形内をマウスでドラッグすることにより、プリンタのテーブル上の任意の位置に作図エリアを配置できます。

8. 画像の配置方法

原点との画像の配置方法を示します。

実際の画像のサイズを表すものではありません。また、画像の正確な配置位置を表すものでもありません。

画像サイズを確認する場合は、“ジョブエディタ”で確認できます。

( P.22)

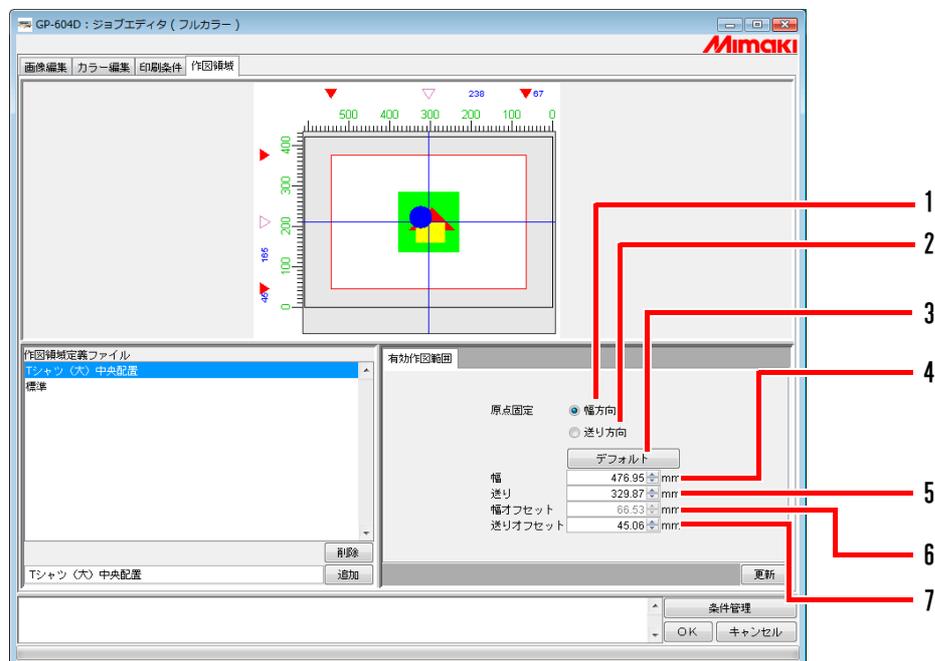
9. 最大作図エリア

最大作図エリアです。

[有効作図範囲] サブメニュー

プリンタのテーブル上に有効作図領域を設定します。

GP-604、GP-604D



1. 原点固定:幅方向

幅方向中央から左右均等の作図領域になるように変更できます。

2. 原点固定:送り方向

送り方向中央から上下均等の作図領域になるように変更できます。

3. デフォルト

有効作図範囲を最大に設定し、原点の位置をプリンタの初期原点の位置に設定します。

4. 幅:

有効作図範囲の幅を入力します。

5. 送り:

有効作図範囲の高さを入力します。

6. 幅オフセット:

プリンタのプリンタ原点から幅方向への移動距離を入力します。

7. 送りオフセット:

プリンタのプリンタ原点から送り方向への移動距離を入力します。

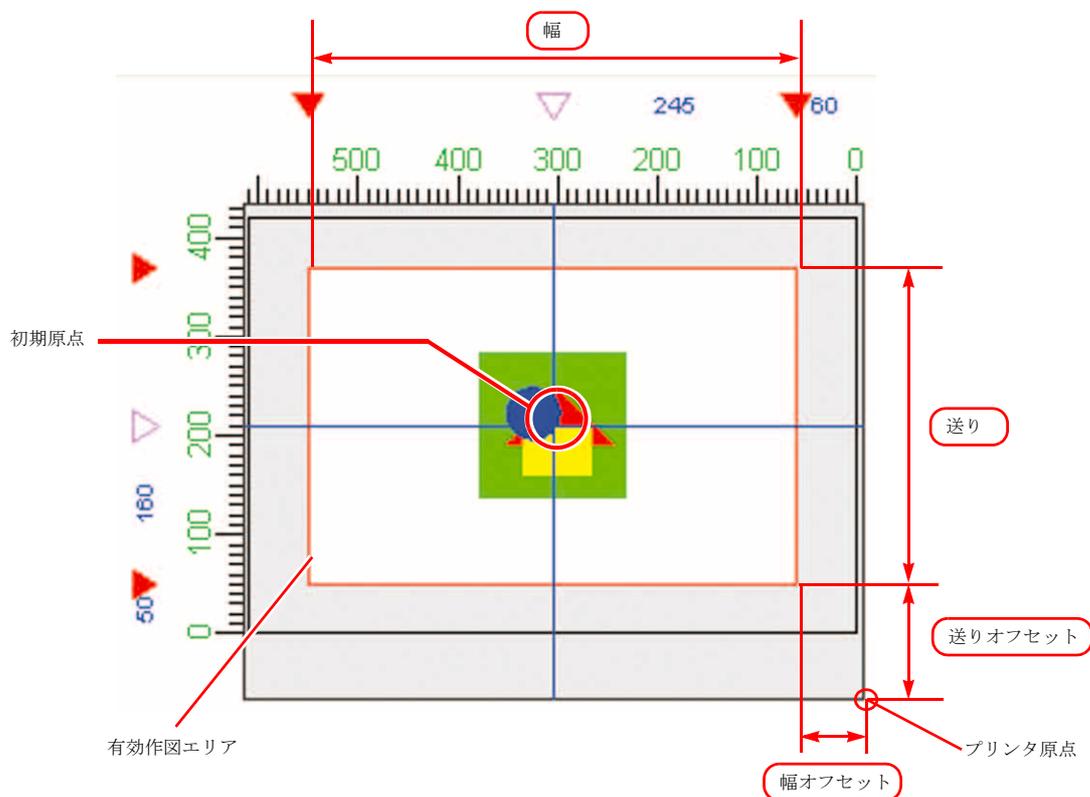
有効作図範囲の設定

有効作図範囲は、赤い矩形で表示します。

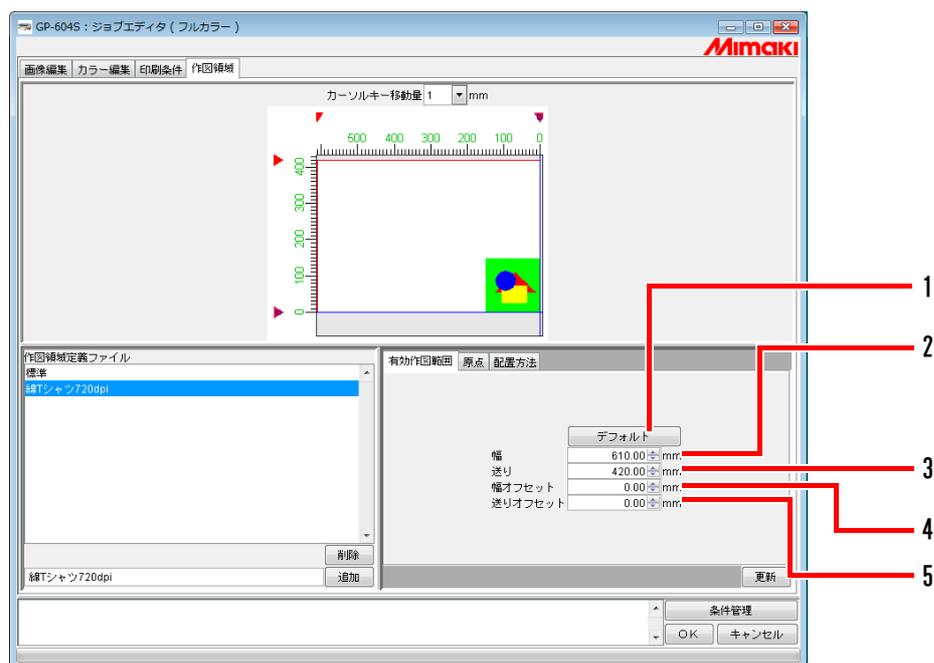
有効作図範囲からはみ出した画像は、印刷しません。



- 赤い矩形の四隅をマウスでドラッグしても有効作図範囲のサイズを変更できます。
- 有効作図範囲内をマウスでドラッグすると、有効作図範囲の“幅オフセット”と“送りオフセット”を変更することができます。



GP-604S, GP-1810 シリーズ, DM シリーズ

1. **デフォルト**：

有効作図範囲を最大に設定し、原点の位置をプリンタの初期原点の位置に設定します。

2. **幅**：

有効作図範囲の幅を入力します。

3. **送り**：

有効作図範囲の高さを入力します。

4. **幅オフセット**：

プリンタ原点から幅方向への移動距離を入力します。

5. **送りオフセット**：

プリンタ原点から送り方向への移動距離を入力します。

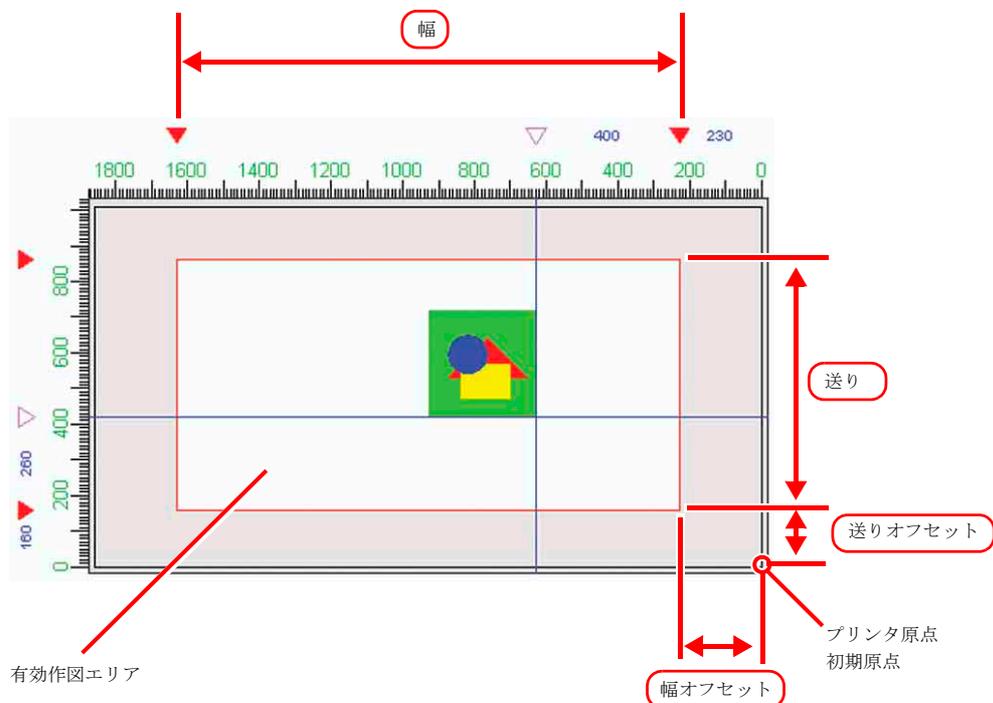
有効作図範囲の設定

有効作図範囲は、赤い矩形で表示します。

有効作図範囲からはみ出した画像は、印刷しません。



- 赤い矩形の四隅をマウスでドラッグしても有効作図範囲のサイズを変更できます。
- 有効作図範囲内をマウスでドラッグすると、有効作図範囲の“幅オフセット”と“送りオフセット”を変更することができます。

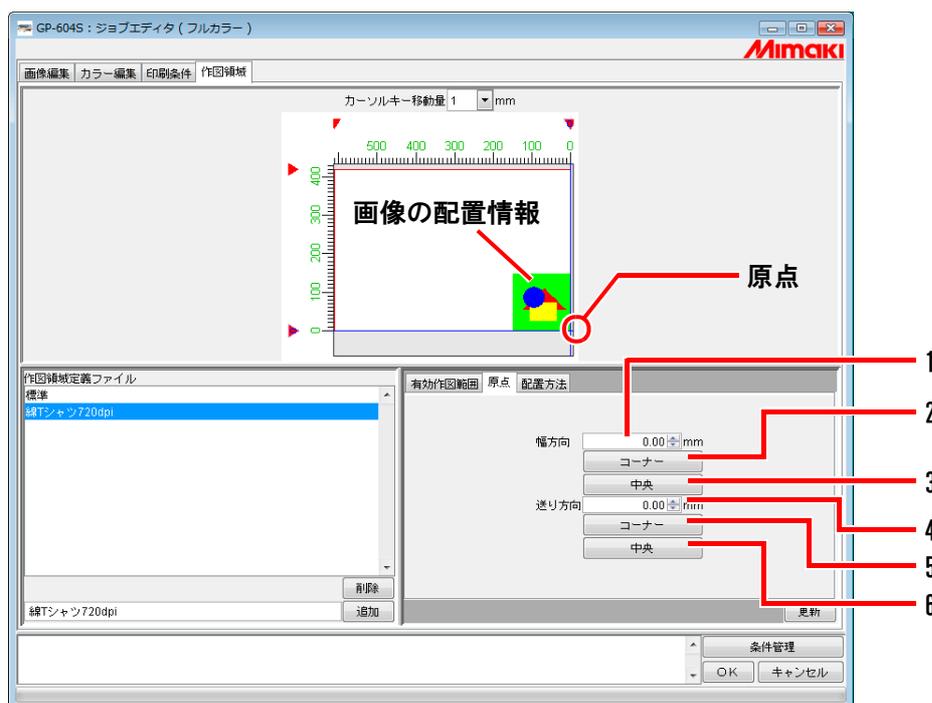


[原点] サブメニュー (GP-604S, GP-1810 シリーズ, DM シリーズ)

画像を配置するための基準となる原点を設定します。

2本の青いガイドラインの交点が原点になります。

原点の位置は、有効作図範囲の右下隅からのオフセットを幅方向および送り方向について設定します。



1. 幅方向:

有効作図範囲右端から幅方向へのオフセット量を入力します。

2. 幅:

原点を有効作図範囲の幅方向の右端に配置します。

3. 幅:

原点を有効作図範囲の幅方向の中央に配置します。

4. 送り方向:

有効作図範囲下線から送り方向へのオフセット量を入力します。

5. 送り方向:

原点を有効作図範囲の下線に配置します。

6. 送り方向:

原点を有効作図範囲の送り方向の中央に配置します。

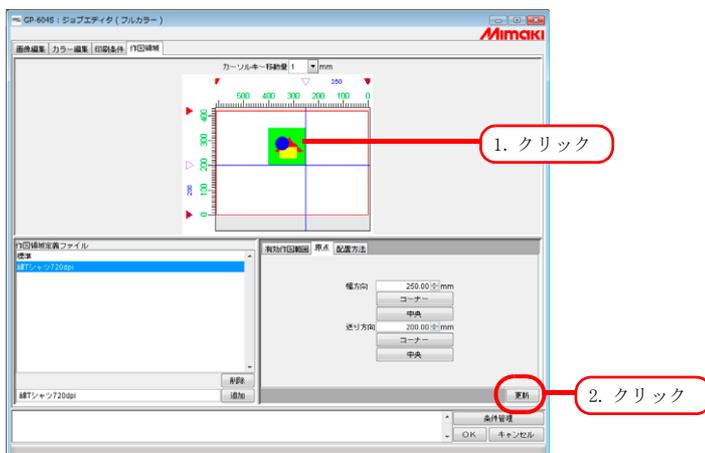
キーボードによる原点の移動

- 1 “カーソルキー移動量”でキーボードの矢印キーを押したときの移動量を選択します。



- 2 作図領域内をマウスでクリックし、プリントエリアビューをアクティブにします。プリントエリアビューの枠が青く変わります。キーボードの **Tab** キーを数回押しても配置ビューをアクティブにできます。キーボードの矢印キーを押して原点を移動します。

更新 ボタンをクリックします。

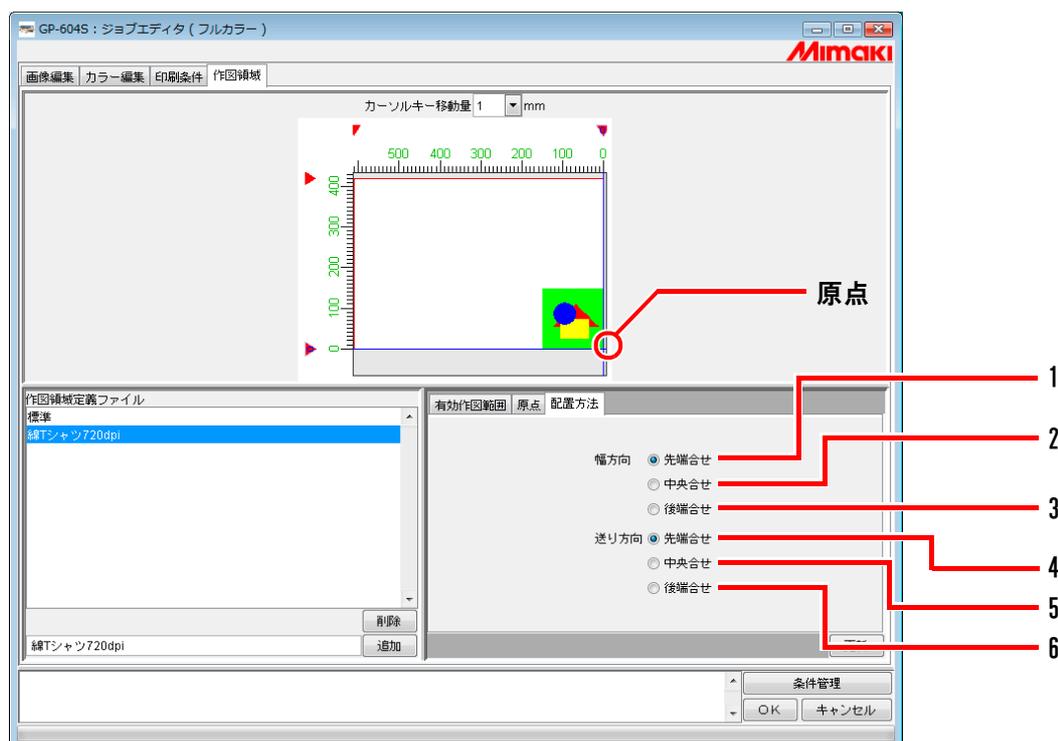


[配置方法] サブメニュー (GP-604S, GP-1810 シリーズ, DM シリーズ)

画像を原点の中央に配置するか、先端または後端配置するかを設定します。

重要!

画像の配置は、[原点] 設定と組み合わせて、適切な位置に設定してください。
組み合わせが適切でない場合は、画像が作図領域からはみ出す場合があります。作図領域からはみ出した画像は、印刷されません。



1. 幅方向：先端合わせ

画像の幅方向の先端を原点に合わせます。

2. 幅方向：中央合わせ

画像の幅方向の中央を原点に合わせます。

3. 幅方向：後端合わせ

画像の幅方向の後端を原点に合わせます。

4. 送り方向：先端合わせ

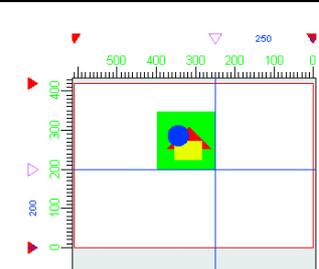
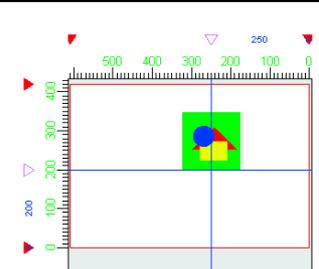
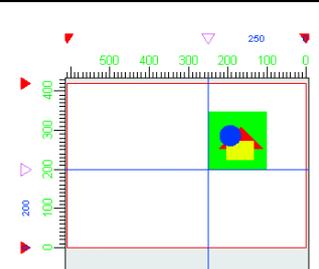
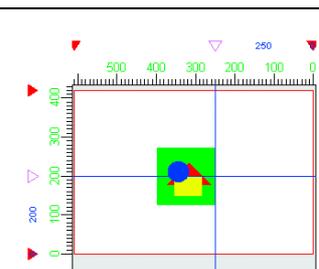
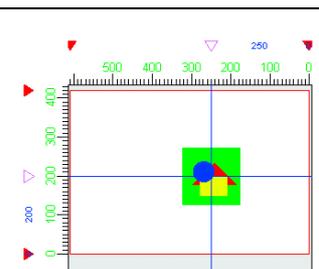
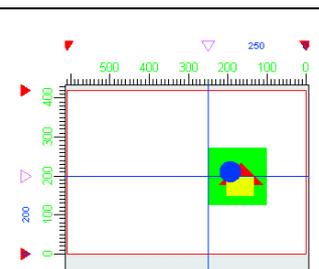
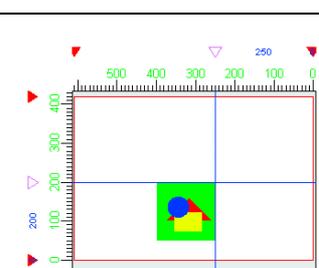
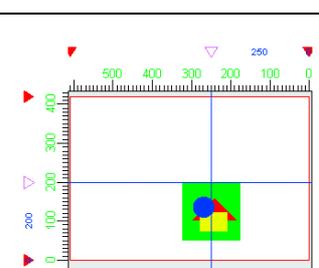
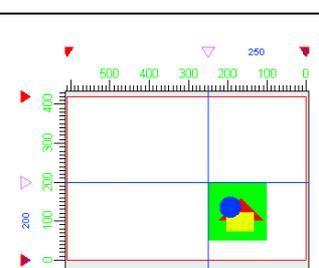
画像の送り方向の先端を原点に合わせます。

5. 送り方向：中央合わせ

画像の送り方向の中央を原点に合わせます。

6. 送り方向：後端合わせ

画像の送り方向の後端を原点に合わせます。

幅方向 送り方向	先端合せ	中央合せ	後端合せ
先端合せ			
中央合せ			
後端合せ			

作図領域定義ファイルの登録

[作図領域] で設定した原点・配置位置の作図領域定義ファイルを登録します。

印刷する際は、必ず作図領域定義ファイルを選択してください。

重要!

“標準”の作図領域定義ファイルは、有効作図範囲・原点位置・オフセットの変更はできません。新規に作図領域定義ファイルを作成してから、有効作図範囲などの変更をします。

作図領域定義ファイルを作成する

作図領域定義ファイルは追加登録することができます。

登録名を入力します。

登録名は、有効作図範囲、原点の位置、および画像の配置方法がわるような名称にします。

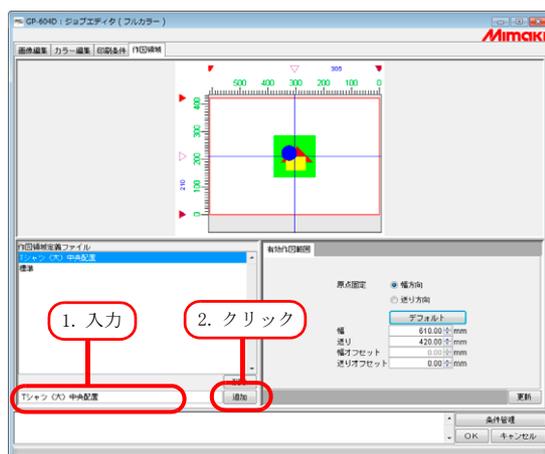
重要!

作図領域定義ファイル名に下記の半角文字は使用できません。

¥ / : * ? “ < > |

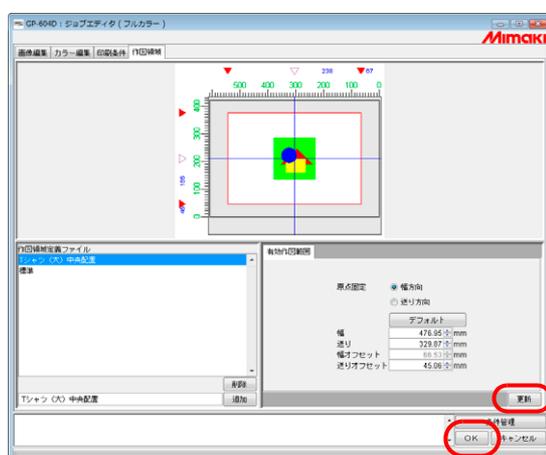
追加 ボタンをクリックします。

新しい名称のファイルが、作図領域定義ファイルリストに表示します。



作図領域定義ファイルの更新

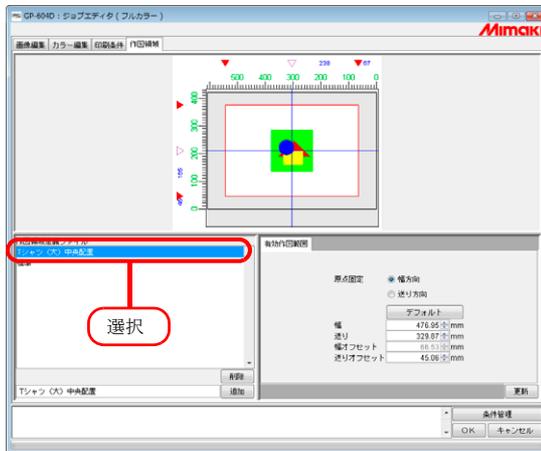
設定した作図領域定義情報を更新するには **更新** をクリックするか、**OK** をクリックし、“ジョブエディタ”を終了させます。



作図領域定義ファイルの選択

登録されている作図領域定義ファイルの情報を表示します。

適用する作図領域定義ファイルをクリックします。



作図領域定義ファイルの削除

登録してある作図領域定義ファイルを削除します。

削除する作図領域定義ファイルをクリックします。

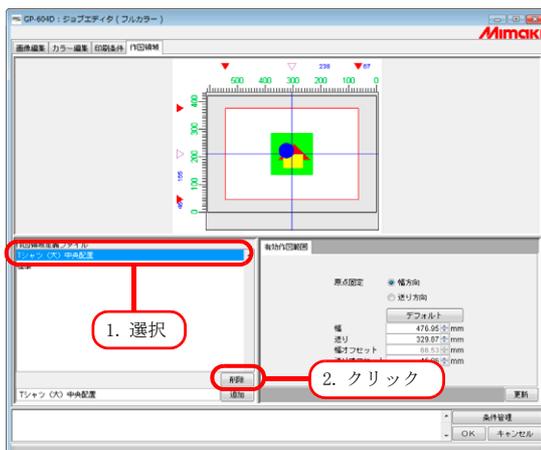
削除 ボタンをクリックします。

重要!

- “標準”の作図領域定義ファイルは削除できません。
- 複数のジョブに同じ作図領域定義ファイルを設定している場合、作図領域定義ファイルの削除には注意してください。

他のジョブで作図領域定義ファイルを削除すると、同じ作図領域定義ファイルを設定しているジョブを印刷するときエラーになります。

またこのジョブを“ジョブエディタ”で表示した場合、情報表示欄にエラーログを表示します。作図領域定義ファイルは、自動的に“標準”が選択されます。



複数ページのジョブ

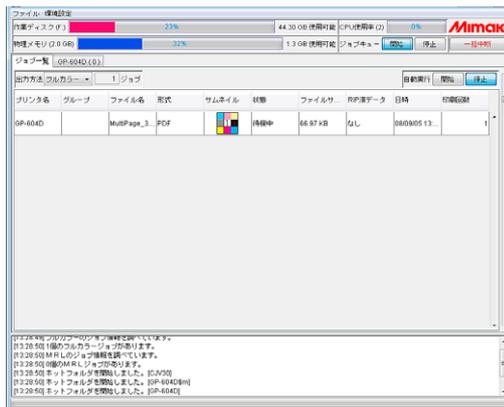
1つのファイルで複数の画像を持つファイルを、「複数ページ」画像と呼びます。
RasterLinkPro5 TA では、複数ページ画像の全てのページを同時に出力することができます。

重要!

画像サイズが違うページのある複数ページ画像には対応していません。

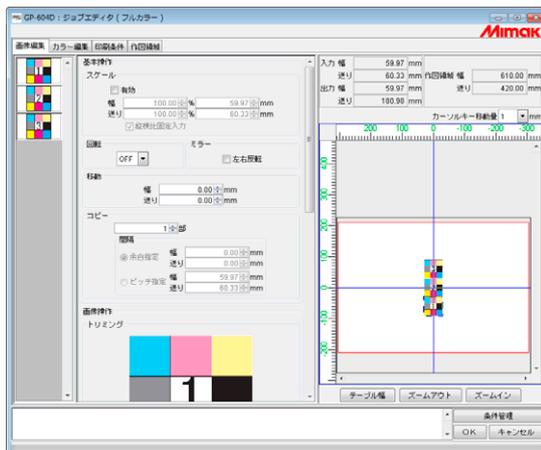
メインウィンドウについて

サムネイルには、1ページ目の画像のみ表示します。



“ジョブエディタ”について

“ジョブエディタ”には、全てのページを表示します。



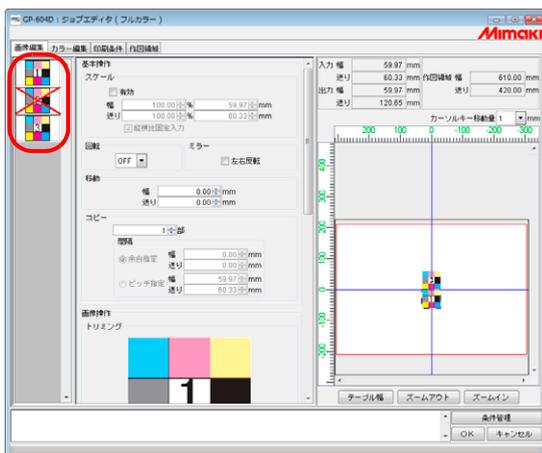
“ジョブエディタ”の全ての設定は、全ページ共通です。

ジョブの編集（画像編集）

出力ページの決定

編集対象のジョブの全ページをサムネイル画像で一覧表示します。
出力するページを選択することができます。

サムネイルリストから印刷しない画像をクリックします。
サムネイルに×マークが付き、プレビュー画像からも消えます。



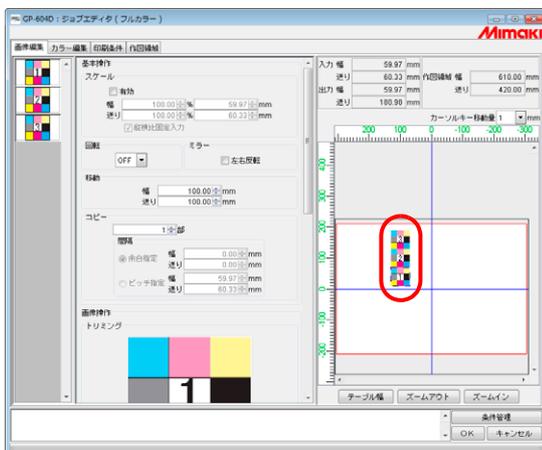
- ×の付いている画像（プレビューにない画像）は印刷しません。
- 印刷しないように設定した画像を再度印刷するように設定するには、×印の付いているサムネイルをクリックします。

重要!

全てのページを印刷対象から外すことはできません。

移動

全てのページを1つのオブジェクトとして移動します。
マウスでドラッグアンドドロップするか、幅・送りの移動量を入力します。

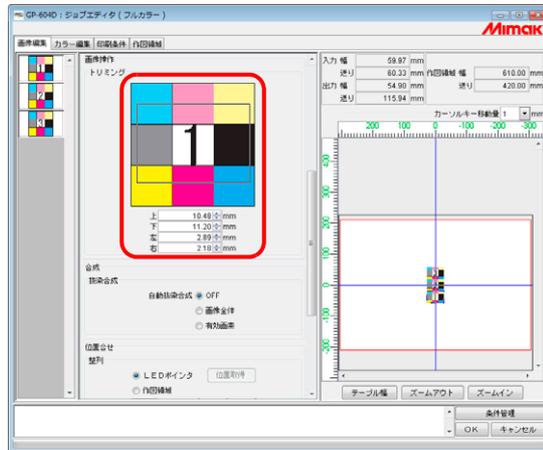


各ページバラバラに配置することはできません。

トリミング

全てのページをトリミングします

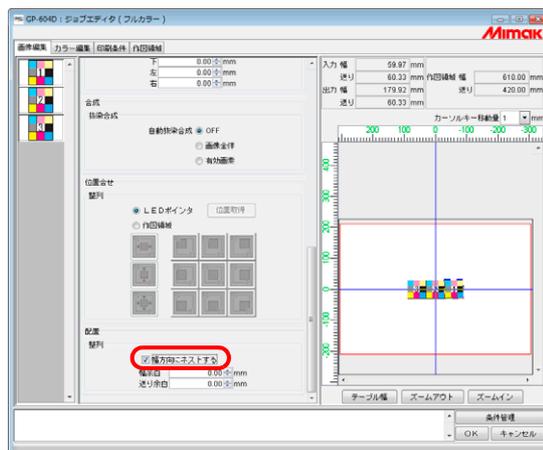
トリミングプレビューには、出力対象の先頭ページを表示します。



整列

各ページの間隔を指定します。

“幅方向にネストする”をチェックすると、横方向に整列します。

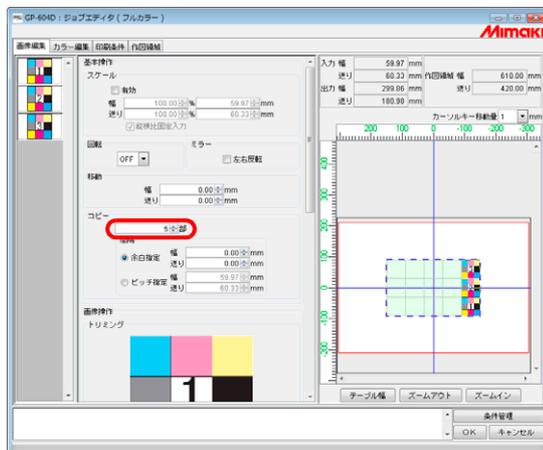


コピー

各ページをコピーします。

重要!

“幅方向にネストする”と“コピー”は同時に指定できません。

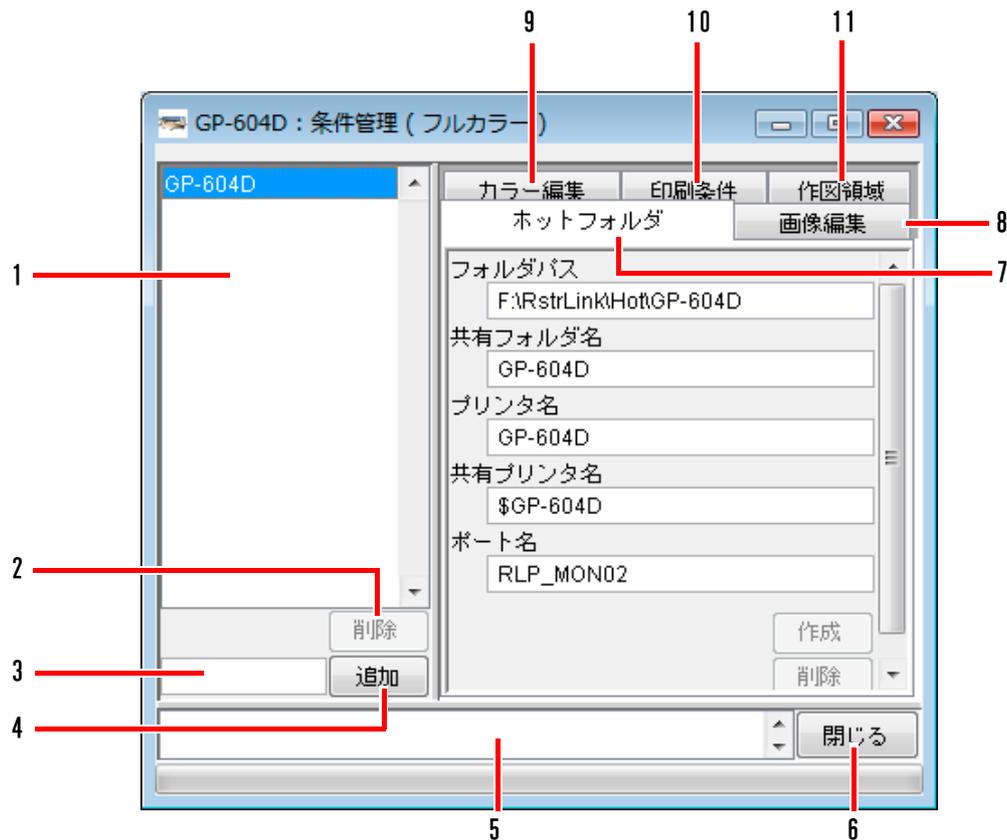


条件管理について

ジョブの実行に必要な各種条件（印刷条件、画像編集、など）を、一つの「条件セット」として管理します。

条件管理の機能は以下の通りです。

- 1) 編集中のジョブに、条件セットを適用することができます。
- 2) 条件セットごとにホットフォルダとプリンタを作成することができます。作成したホットフォルダまたはプリンタでスプールしたジョブの初期値は、対応する条件セットの設定値になります。



1. 条件リスト

条件セットの一覧を表示します。

2.

選択した条件を削除します。デフォルトで作成された条件は削除できません。

3. 条件名入力ボックス

新規に条件を登録する場合、新しい名称を入力します。

重要! 条件名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > ! ,

4.

新規に条件を登録します。

5. 情報表示

条件管理の処理状況を表示します。

6. 閉じる

条件管理ウィンドウを閉じます。

7. [ホットフォルダ] サブメニュー

ホットフォルダとプリンタドライバを作成します。(☞ P.137、P.147)

8. [画像編集] サブメニュー

画像編集の条件を設定します。(☞ P.138)

9. [カラー編集] サブメニュー

カラー編集の条件を設定します。(☞ P.139)

10. [印刷条件] サブメニュー

印刷条件を設定します。(☞ P.140)

11. [作図領域] サブメニュー

作図領域の条件を設定します。(☞ P.141)

[ホットフォルダ] サブメニュー

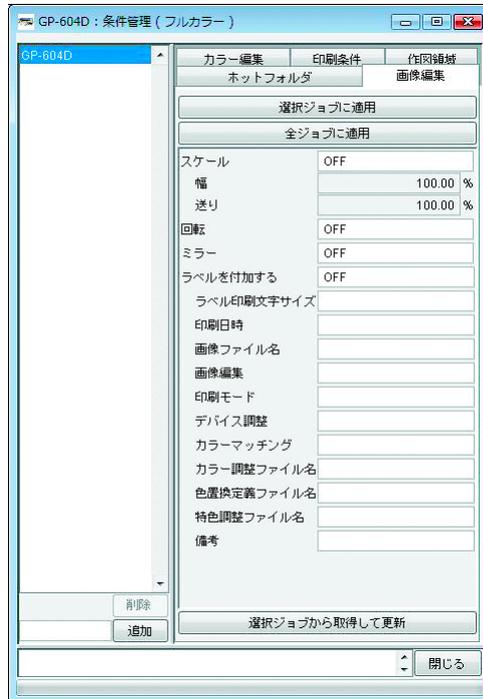
ホットフォルダとプリンタドライバの追加と削除を行います。ホットフォルダとプリンタドライバの追加と削除方法は、[P.147](#) を参照してください。



[画像編集] サブメニュー

画像編集のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、P.143 を参照してください。
設定可能なパラメータは次の通りです。

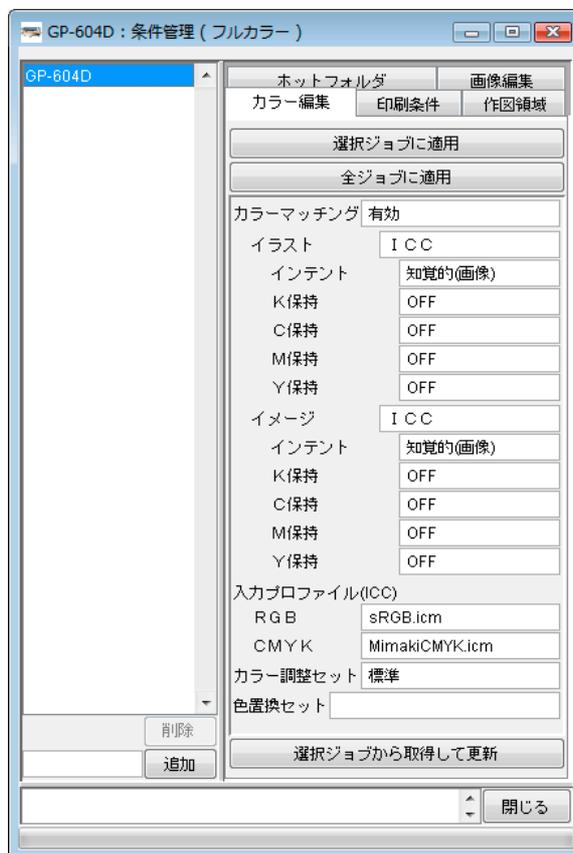
スケール、回転、ミラー、印刷情報ラベル



[カラー編集] サブメニュー

カラー編集のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、P.143 を参照してください。
設定可能なパラメータは次の通りです。

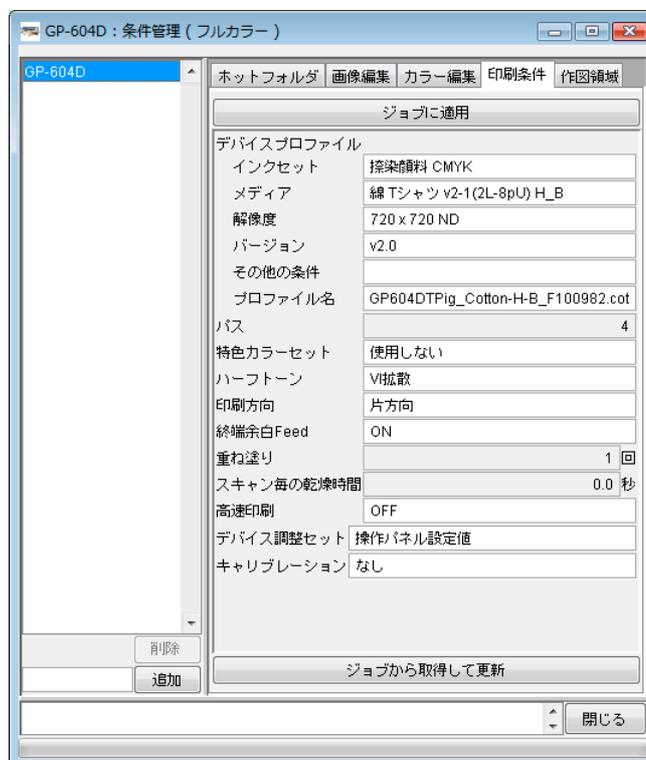
カラーマッチングの全てのパラメータ、カラー調整セット、色置換セット、特色調整設定



[印刷条件] サブメニュー

印刷条件のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、P.143 を参照してください。
設定可能なパラメータは次の通りです。

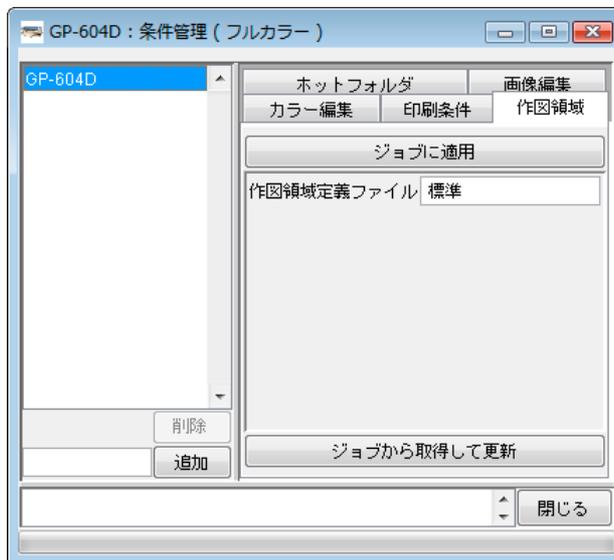
デバイスプロファイル、印刷モードの全てのパラメータ



[作図領域] サブメニュー

作図領域のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、P.143 を参照してください。
設定可能なパラメータは次の通りです。

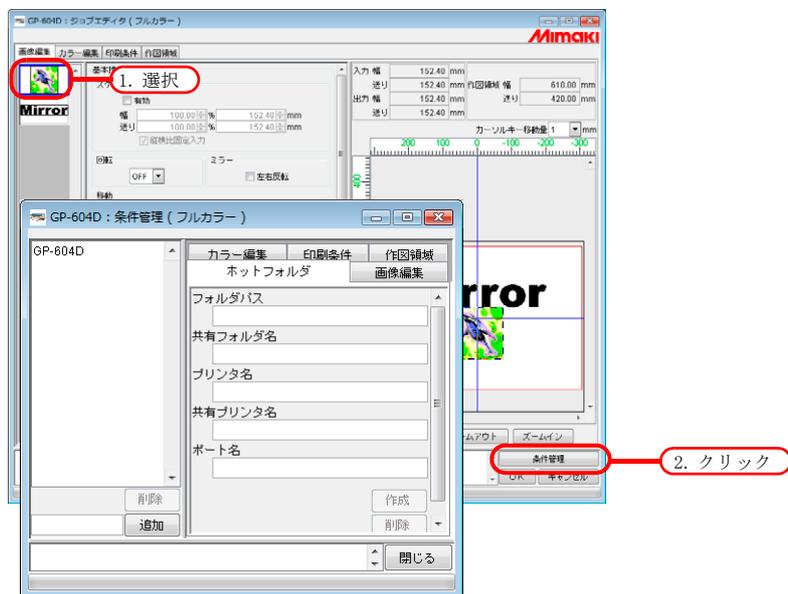
作図領域定義ファイル



条件管理ウィンドウを表示する

条件を設定するジョブを1画像選択し、**条件管理** ボタンをクリックします。

“条件管理”ウィンドウを開きます。



条件セットの新規作成

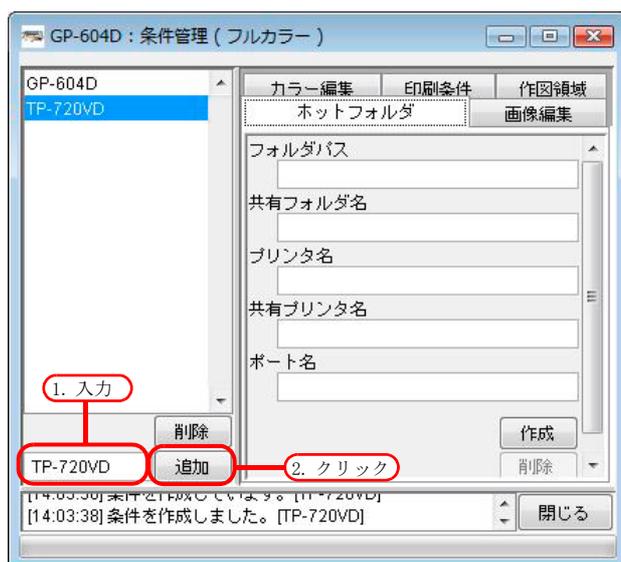
条件名を入力します。

重要!

条件管理名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > ! ,

追加 ボタンをクリックします。

条件リストに追加します。

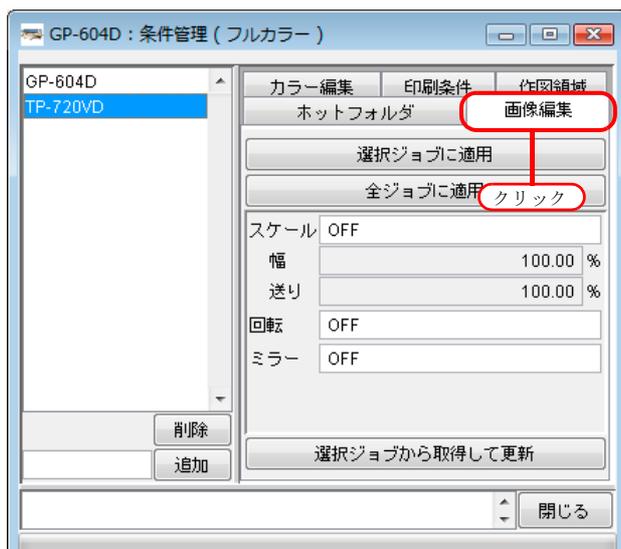


登録済みの条件セットを編集して別名で登録する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に **追加** ボタンをクリックします。

条件の設定値を変更する

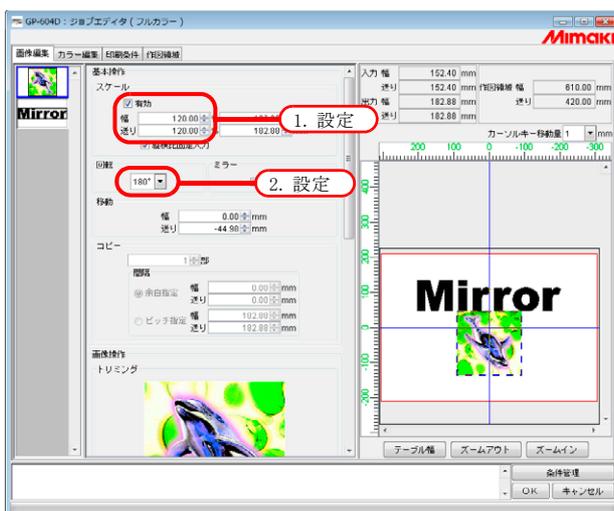
各条件（画像編集、カラー編集、印刷条件、作図領域）の設定値を変更します。
 現在“ジョブエディタ”で編集中のジョブから値を取得します。
 画像編集と作図領域は単独で、カラー編集と印刷条件はセットで設定が変更されます。

- 1 条件管理ウィンドウを開きます。
 変更する条件のサブメニューを開きます。
 ここでは[画像編集]を開きます。
 “ジョブエディタ”も[画像編集]を表示します。

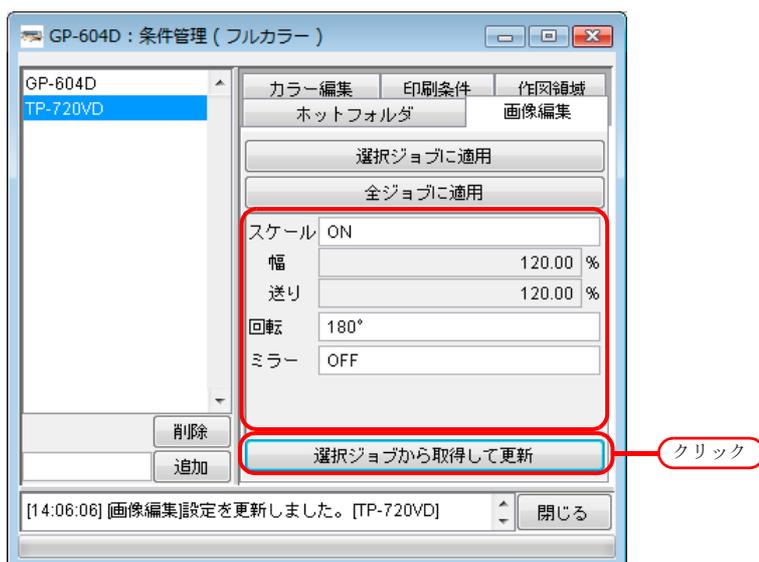


条件管理ウィンドウで表示したサブメニューに合わせて、“ジョブエディタ”のメニューも切り替わります。

- 2 “ジョブエディタ”で、パラメータの設定を行います。
 例では以下のように設定しています。
 スケール : 120%
 回転 : 180°



- 3 条件管理ウィンドウの **選択ジョブから取得して更新** ボタンをクリックします。
“ジョブエディタ”で設定したパラメータを取得し、表示します。



条件をジョブに適用する

条件管理で設定した条件を、ジョブに適用します。

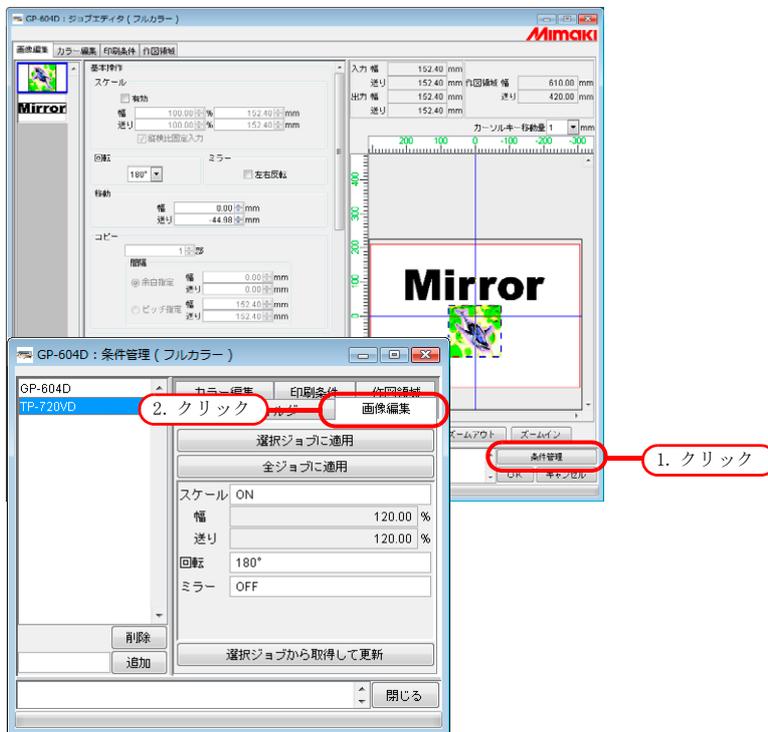
画像編集と作図領域は単独で設定が変更されます。カラー編集と印刷条件はセットで設定が変更されます。

画像編集の条件は、“画像編集”のサムネイルリストで選択している1つ以上のジョブ、または全てのジョブに適用します。

カラー編集の条件は、“カラー編集”のサムネイルリストで選択しているジョブにだけ、または全てのジョブに適用します。

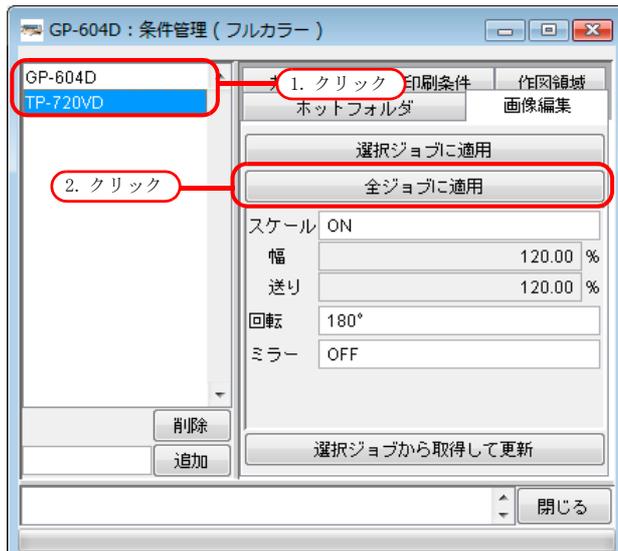
印刷条件と作図領域の条件は、グループ化している全てのジョブに適用します。

- 1 条件管理ウィンドウを開きます。
変更する条件のサブメニューを開きます。
ここでは [画像編集] を開きます。
“ジョブエディタ”も [画像編集] を表示します。

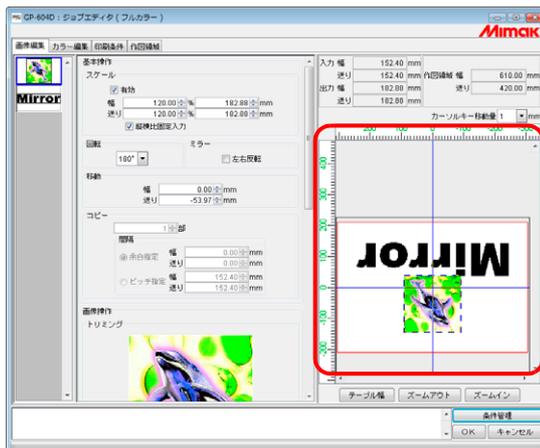


条件管理で表示したメニューに合わせて、“ジョブエディタ”のメニューも切り替わります。

- 2 適用する条件を選択します。
適用ボタンをクリックします。
ここでは **全ジョブに適用** ボタンをクリックします。



- 3 “ジョブエディタ”の全ジョブに適用します。



[ホットフォルダ] サブメニュー

ホットフォルダとプリンタドライバを作成します。

1つの条件セットに対し、1つのホットフォルダとプリンタドライバを作成します。

作成したホットフォルダ・プリンタドライバを使用してスプールしたジョブの各条件には、条件管理で設定した条件が反映されます。

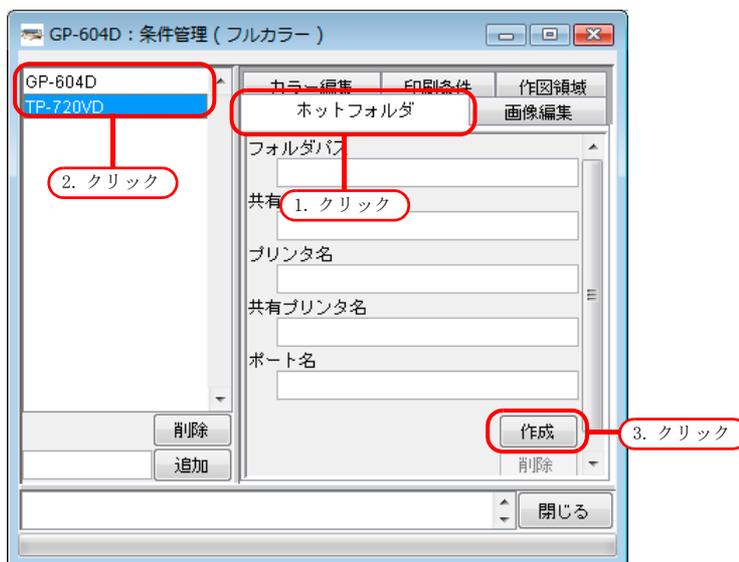
ホットフォルダとプリンタドライバの作成

- 1 条件管理ウィンドウを開き、[ホットフォルダ]メニューを開きます。
ホットフォルダを作成する条件セットを選択します。

ボタンをクリックします。

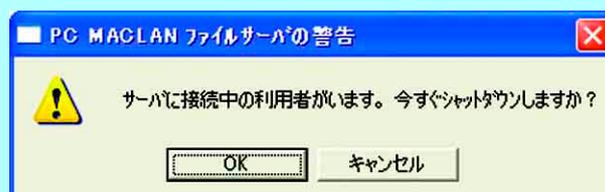
重要!

- ホットフォルダやプリンタドライバの作成中に RasterLinkPro5 TA を強制終了しないでください。
- Windows Me 以前の古い OS の PC からホットフォルダ・共有プリンタにアクセスする場合、条件セット名を半角で 11byte 以内にしてください。



重要!

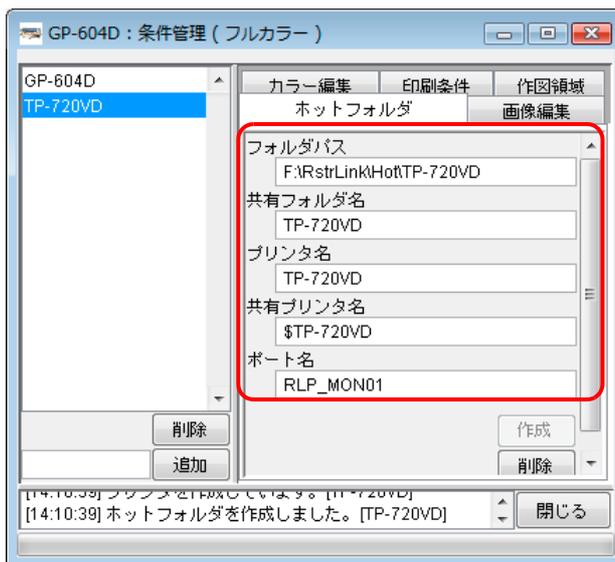
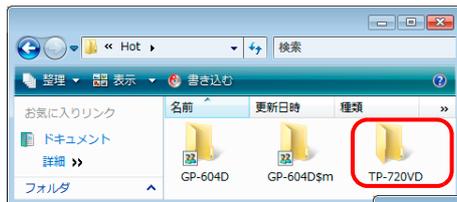
RasterLinkPro5 TA PC に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダの作成途中で [PC MACLAN ファイルサーバの警告] 画面が表示されることがあります。 ボタンをクリックして PC MACLAN ファイルサーバを停止してください。PC はシャットダウンされません。



2 ホットフォルダとプリンタドライバが作成されます。 ホットフォルダとプリンタドライバの情報を表示します。

重要!

- RasterLinkPro5 TA で作成したホットフォルダに対し、以下のことは絶対に行わないでください。アンインストールできなくなります。
フォルダ名の変更、共有名の変更、共有の解除、ホットフォルダの削除
- RasterLinkPro5 TA で作成したプリンタドライバに対し、以下のことは絶対に行わないでください。アンインストールできなくなります。
名前の変更・削除、共有名の変更、共有の解除



PC MACLAN の自動設定について

RasterLinkPro5 TA に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダとプリンタドライバの作成を行うと、自動的に PC MACLAN の設定が行われます。

この際、自動的に以下の名称が付けられます。

PC MACLAN ファイルサーバ

ファイルサーバ名称： RasterLinkPro5 TA PC のホスト名

共有フォルダ名： 条件セット名

PC MACLAN プリントサーバ

スプーラ名： 条件セット名 _RasterLinkPro5 TA PC のホスト名

重要!

- PC MACLAN プリントサーバのスプーラ名は、仕様上最大 27byte となっています。条件セット名またはホスト名が長い場合、28byte 目を以降は切り捨てられます。Macintosh からプリンタドライバ出力される場合は、あまり条件セット名を長くしないことをお奨めします。
- ホットフォルダとプリンタドライバの作成時に、RasterLinkPro5 TA は PC MACLAN を再起動させます。この際一時的に Macintosh クライアントとの接続が絶たれるため、ホットフォルダ内に削除できないファイルが残る等の問題が発生します。ホットフォルダとプリンタドライバの作成は、Macintosh でマウントしたホットフォルダをアンマウントしてから行ってください。

ホットフォルダとプリンタドライバの削除

1

条件管理ウィンドウを開きます。

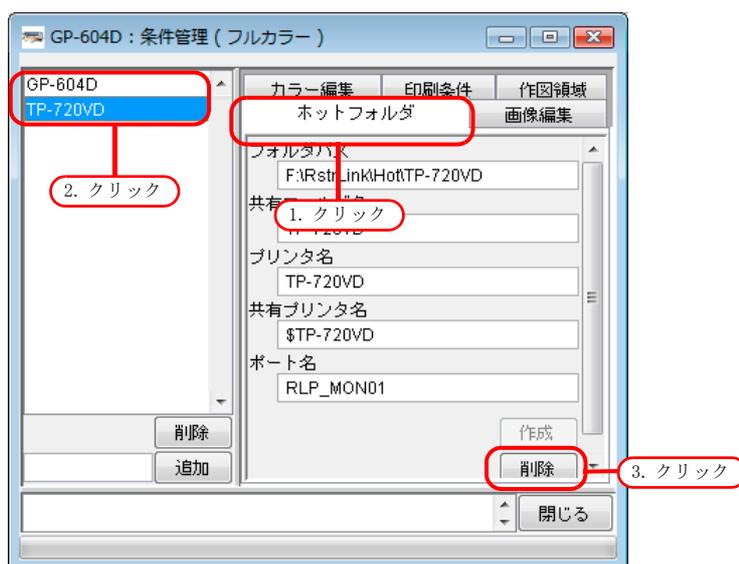
[ホットフォルダ]メニューを開きます。

ホットフォルダを削除する条件セットを選択します。

削除 をクリックします。

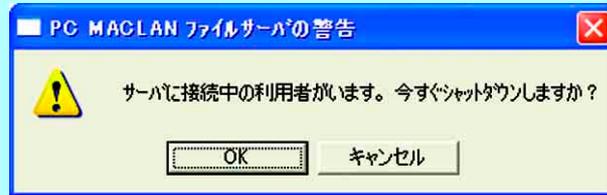
重要!

ホットフォルダやプリンタドライバの削除中に RasterLinkPro5 TA を強制終了しないでください。



重要!

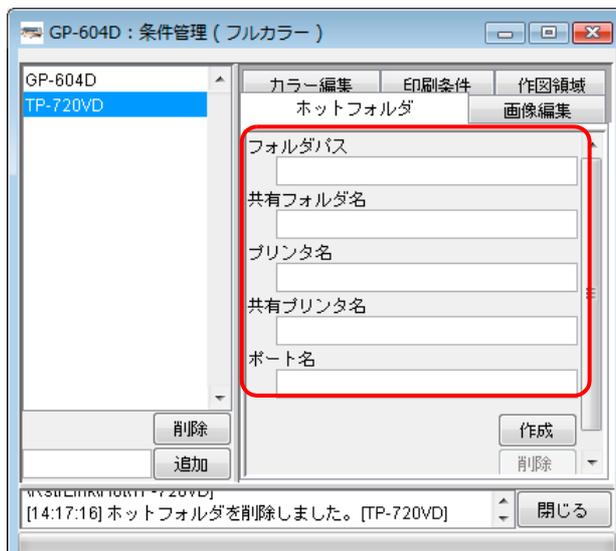
RasterLinkPro5 TA PC に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダの削除途中で [PC MACLAN ファイルサーバの警告] 画面が表示されることがあります。**OK** をクリックして PC MACLAN ファイルサーバを停止してください。PC はシャットダウンされません。



2 ホットフォルダとプリンタドライバが削除されます。

重要!

Macintosh から AppleShare で RasterLinkPro5 TA のホットフォルダを共有している場合、ホットフォルダを削除できない場合があります。この場合、Macintosh でマウントした共有ボリュームをアンマウントしてから **削除** をクリックしてください。



PC MACLAN の設定解除について

RasterLinkPro5 TA に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダとプリンタドライバの削除を行うと、自動的に PC MACLAN の設定が解除されます。

重要!

- ホットフォルダとプリンタドライバの削除時に、RasterLinkPro5 TA は PC MACLAN を再起動させます。この際一時的に Macintosh クライアントとの接続が絶たれるため、ホットフォルダ内に削除できないファイルが残る等の問題が発生します。ホットフォルダとプリンタドライバの削除は、Macintosh でマウントしたホットフォルダをアンマウントしてから行ってください。
- PC MACLAN ファイルサーバのボリューム情報は自動的に削除されません。PC MACLAN ユーザガイドの、PC MACLAN ファイルサーバの使用法の章に従い、[ボリューム情報を削除] を行ってください。

プリンタステータス表示機能

“プリンタステータス”では、接続されたプリンタの状態表示や、プリンタ固有の設定を行います。

出力ポートごとに表示する内容が異なります。

“プリンタステータス”は、各プリンタの実行中ジョブ画面に表示されます。

重要!

- プリンタステータスは自動的に更新表示されません。最新の状態を確認したい場合は **最新の情報に更新** ボタンをクリックしてください。
- 印刷中に **最新の情報に更新** ボタンをクリックすると、表示が更新されるまでに時間がかかります。

出力ポートが IEEE1394 の場合

“一般” 情報

現在のプリンタの状態を表示します。



1. 状態

現在のプリンタの状態です。

状態	内容
ノットレディ	プリンタ起動時に行う初期動作中です。この状態の時はプリンタに出力しないでください。
カバーオープン	プリンタのフロントカバーが上がっています。フロントカバーを閉めて下さい。
ローカルアイドル	プリンタがローカル状態です。この状態でプリンタに出力しても、印刷を開始しません。出力する場合、プリンタをリモートモードにしてください。
ローカルアクティブ	プリンタがクリーニングやテストプリントを実行中です。この状態でプリンタに出力しても、印刷を開始しません。出力する場合、プリンタをリモートモードにしてください。
リモートアイドル	プリンタがリモート状態です。この状態でプリンタに出力すると、印刷を開始します。
リモートアクティブ	印刷中です。

2. プリント長

出力最中の実際にプリントされた長さを表示します。

3. ヘッドワイパ状態

ヘッドワイパが使用可能かどうか表示します。

“インク” 情報

プリンタにセットしてあるインクの情報を表示します。



重要!

プリンタ本体にインクカートリッジが挿入されていない場合、インク情報を正しく表示できない場合があります。
インク情報を表示するには、プリンタ本体にインクカートリッジを正しく挿入してください。

1. インク状態

インクセット名を表示します。

2. 各スロットのインク色と残量

各スロットのインク色名と残量を表示します。

“ヒータ” 情報 (GP-604 シリーズ)

プリンタに搭載しているヒーターの情報を表示します。

一般	インク	ヒータ	バージョン
プリントヒータ			
ヒータ温度	40 °C		
ヒータ状態	使用可能		
最新の情報に更新			

“バージョン” 情報

プリンタのバージョン情報などを表示します。

一般	インク	ヒータ	バージョン
モデル名	GP-604		
エンジンバージョン	1.50		
コマンド名	MRL-IIE		
コマンドバージョン	1.20		
最新の情報に更新			

出力ポートが IEEE1394 以外の場合

“インク” 情報

インク

インク状態 未検出

1	未検出	0%
2	未検出	0%
3	未検出	0%
4	未検出	0%

最新の情報に更新

付録

色取得機能と対応スキャナについて

スキャナを使ってカンパなどの原稿とデータの色味を合わせて出力（色取得機能）することができます。

ここでは、色取得機能を使用するときにスキャナドライバで設定する項目について説明します。お使いになるスキャナの機種に応じて、本書で説明しているスキャナドライバの設定を行ってください。

対応スキャナ

色取得機能では、以下のスキャナに対応しています。

EPSON GT-X800

重要!

- スキャナ本体、およびスキャナドライバの操作方法や注意事項については、スキャナに同梱の取扱説明書を参照してください。
- 色取得機能を使用する場合、本書に記載された設定値を使用してください。取得される色の精度に影響が出ます。
- スキャナを本ソフトウェアの色取得機能以外に使用している場合、スキャナドライバのデフォルト設定値が変更されています。本ソフトウェアの色取得機能で使用する場合、設定値の確認をしてください。

スキャナドライバの設定内容

色取得機能で使用するスキャナの機種を選択し、**スキャン開始** をクリックすると、スキャナドライバの画面が表示されます。

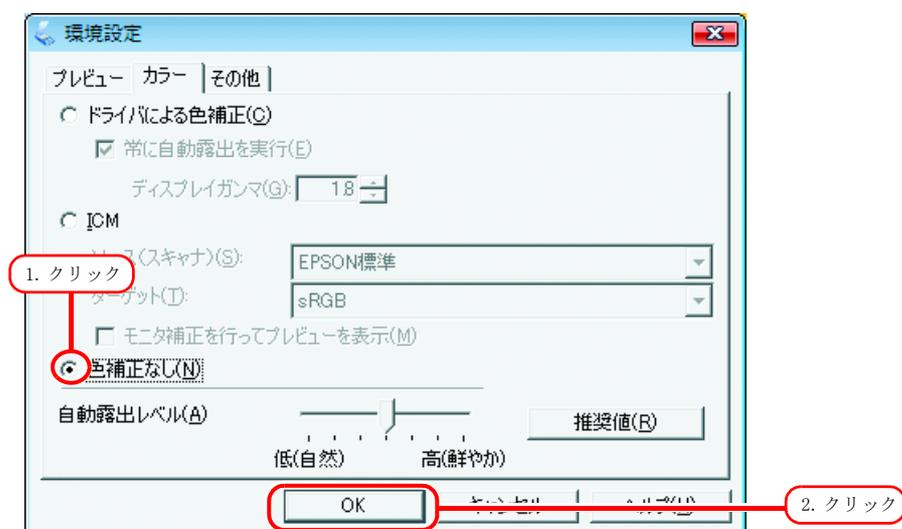
以降で説明する設定で画像データの取り込みを行ってください。

EPSON GT-X800 をお使いの場合

- 1 スキャナの動作が始まってから、しばらくするとスキャナドライバの画面が表示されます。以下のような設定をして、**環境設定** をクリックします。



- 2 [環境設定] 画面の [カラー] メニューで [色補正なし] を選択して、**OK** をクリックします。



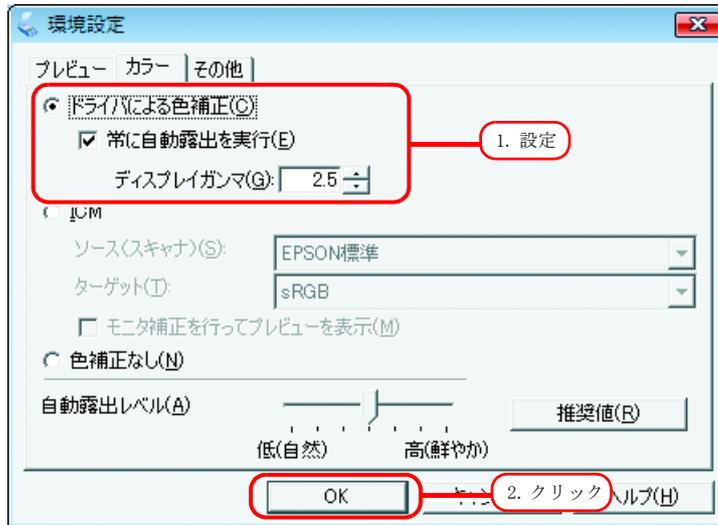
- 3 **スキャン** をクリックします。
画像の取り込みが始まります。



- 4 画像の取り込みが終わると、再度スキャナドライバの画面が表示されます。
そのままの設定で **環境設定** をクリックします。



- 5 [環境設定] 画面の [カラー] メニューで以下のような設定をして、**OK** をクリックします。



- 6 **スキャン** をクリックします。
再度画像の取り込みが始まります。



以上でスキャナの操作は終了です。

「原稿の色を取得する（色取得）」(P.89) を参照して、色取得機能の操作を進めてください。

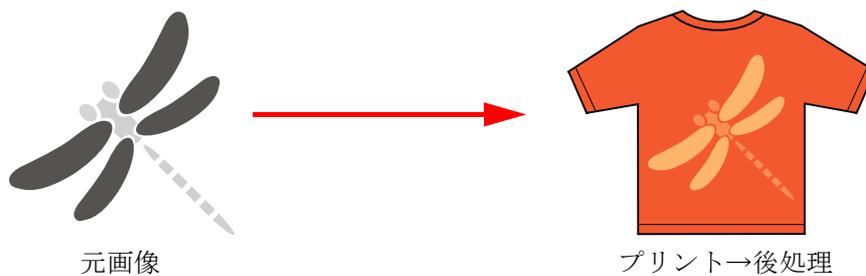
抜染方法について

抜染方法の種類

抜染方法は次の方法があります。

抜染液のみでプリント

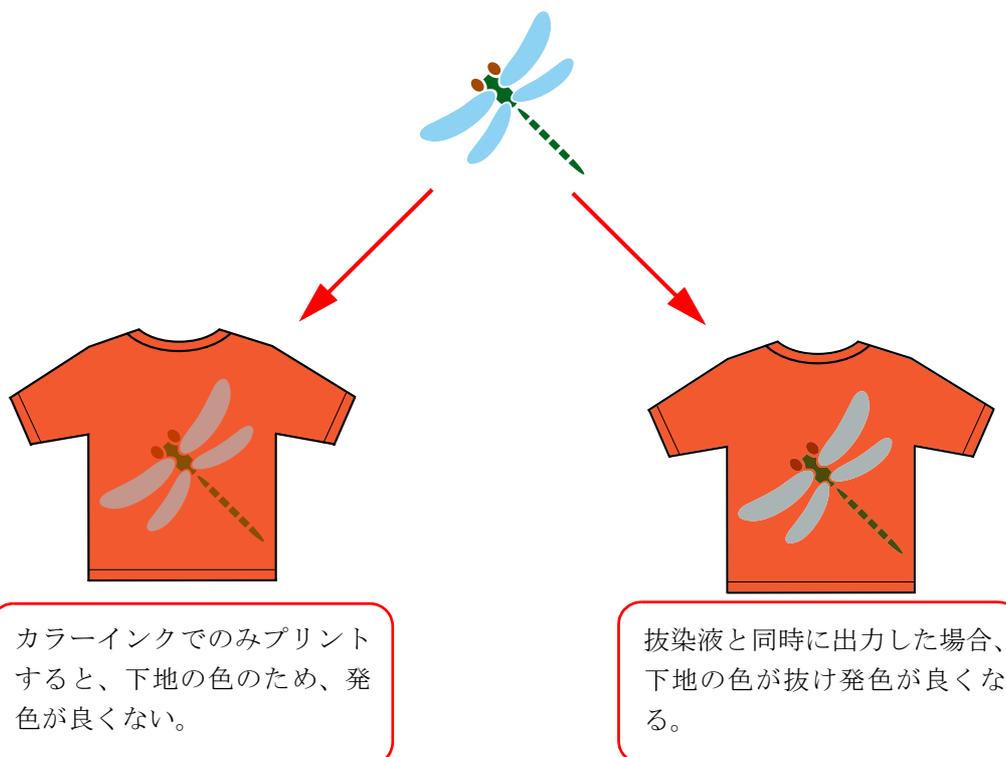
抜染液のみで画像をプリントします。
元となる画像はモノクロで作成します。



カラー画像と同時に出力

カラーインクと抜染液を同時に出力します。

カラーTシャツにカラーインクのみでプリントすると、画像が目立ちません。抜染液を同時に出力することでカラーTシャツの色が抜け、カラーインクの発色が良くなります。



抜染液のみでプリント

抜染用出力画像の色変更

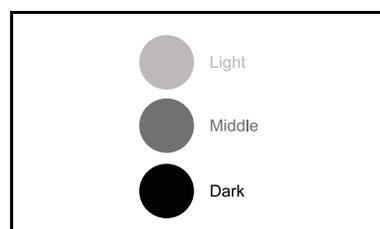
出力したい画像がカラーデータの場合、画像データの色を **グレースケール (Black のみで画像を表現する)** にします。

グレースケール画像と仕上がり

出力するグレースケール画像中の一番黒い部分に、一番多く抜染液が塗布されます。つまり、仕上がり時には元の**グレースケール画像で一番黒い部分が、一番色が抜けて薄くなります。**

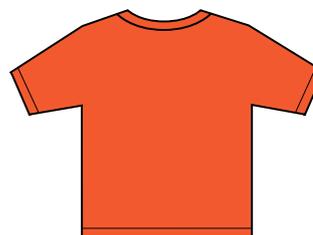
例)

右の画像を



↓ プリント

色つきの T シャツに抜染剤を使ってプリントし、後処理します。



↓ プリント後、後処理する

右のように、元の画像の色が濃いところが一番色が抜けます。

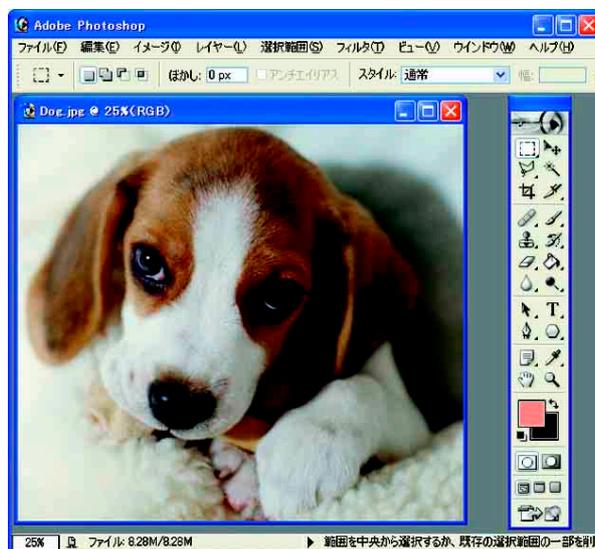


通常のプリンタでは、画像の暗い部分は濃くプリントされます。しかし、抜染液でプリント、後処理すると上記のように、元の画像の色が濃い部分が薄く、色が薄い部分が濃くなり、元の画像と逆になります。このため、プリントする画像は白 / 黒を反転させる必要があります。

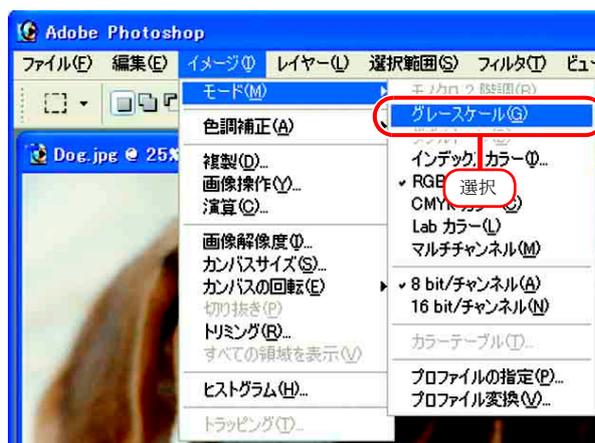
Photoshop での加工方法

Photoshop7 でグレースケール画像に加工する方法を説明します。

- 1 編集する画像を、Photoshop で開きます。



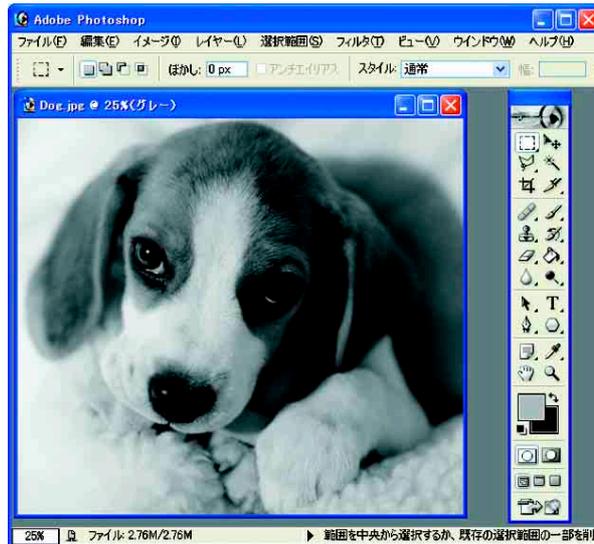
- 2 メニューから [イメージ]-[モード]-[グレースケール] を選択します。



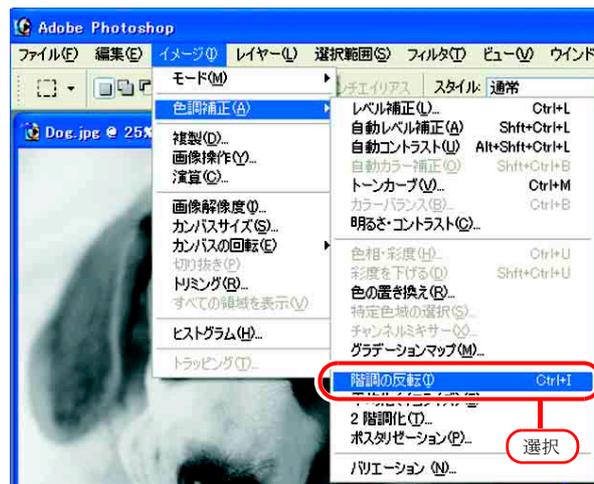
- 3 「カラー情報を破棄しますか？」メッセージボックスを表示します。OK をクリックします。



4 グレースケール画像に変換されます。



5 画像色を反転させます。 メニューから [イメージ]-[色調補正]-[階調の反転] を選択します。



- 6 色が反転します。
画像を保存します。



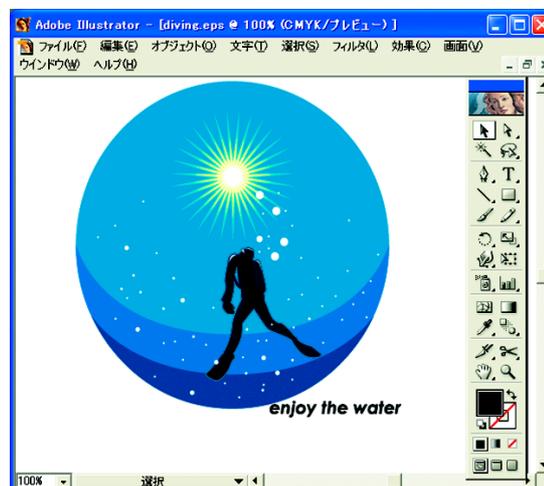
Illustrator での加工方法

Illustrator10 でグレースケール画像に加工する方法を説明します。

Illustrator でグレースケール画像へ加工する方法は2種類あります。

共通操作

- 1 編集する画像を、Illustrator で開きます。

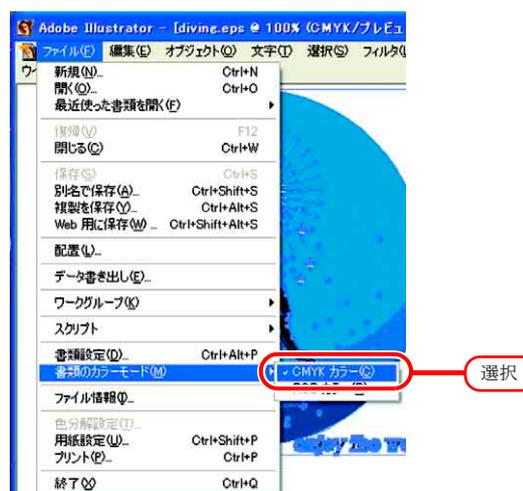


- 2 画像のカラーモードが“RGB”の場合、“CMYK”へ変換します。

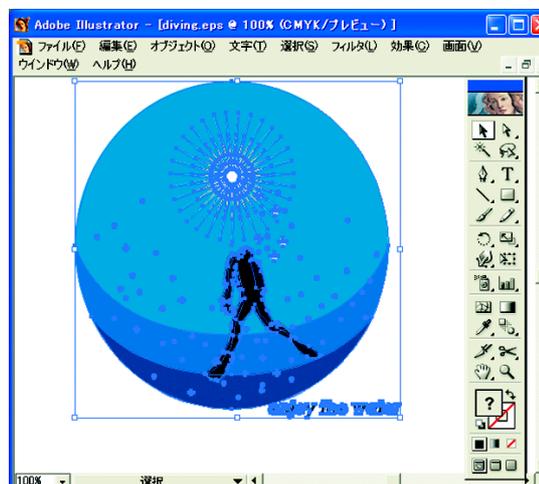
重要!

画像のカラーモードは、タイトルバーに (RGB) または (CMYK) と表示しています。

メニューから [ファイル]-[書類のカラーモード]-[CMYK カラー] を選択します。

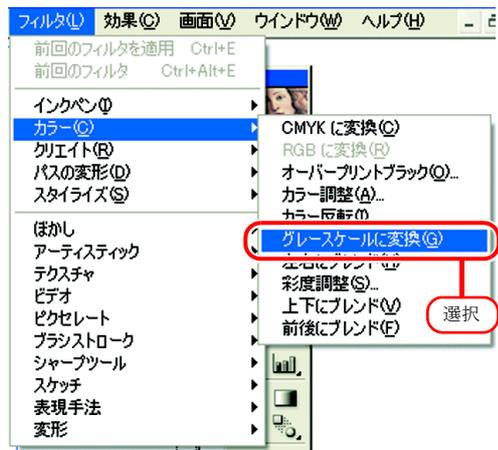


- 3 すべてのオブジェクトを選択します。

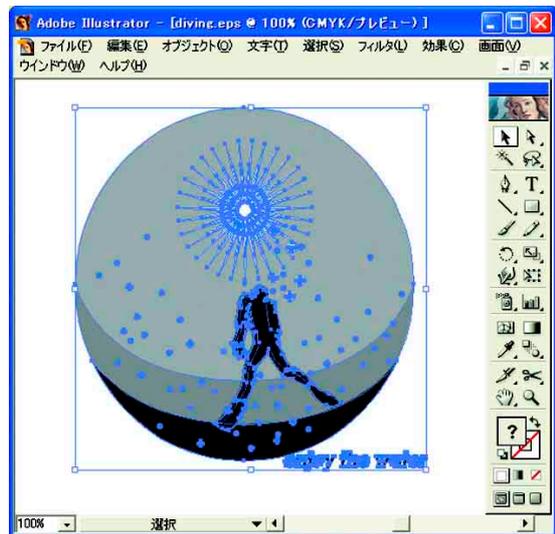


A. ベクタオブジェクトのままグレースケール画像へ変換

- 1 メニューより [フィルタ]-[カラー]-
[グレースケールに変換] を選択します。

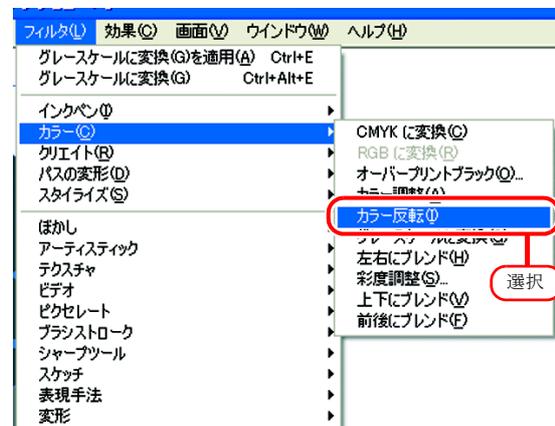


- 2 グレースケール画像に変換されます。



- 3 画像色を反転させます。

メニューから [フィルタ]-[カラー]-
[カラー反転] を選択します。

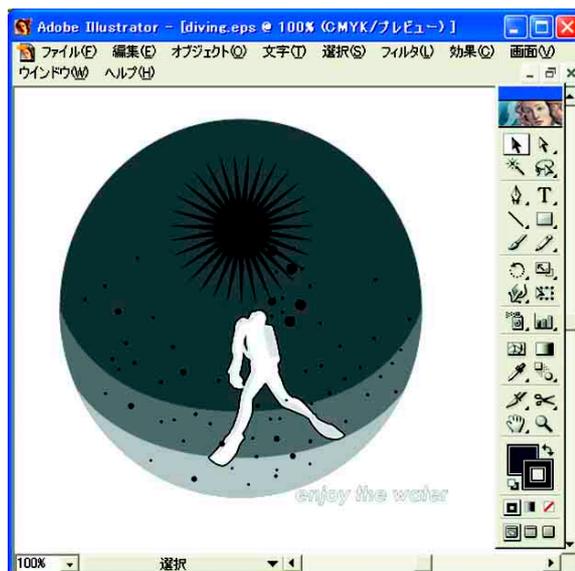


4 色が反転します。

重要!

オブジェクトが複雑な場合、一部の色がグレー以外の色に変換されることがあります。この場合ラスターライズしてグレースケールへ加工する（次章で説明）か、そのオブジェクトのみ選択し、再度 [グレースケールに変換] を実行してください。

画像を保存します。



B. ラスタライズしてグレースケール画像へ加工する

- 1 メニューから [オブジェクト] - [ラスタライズ] を選択します。

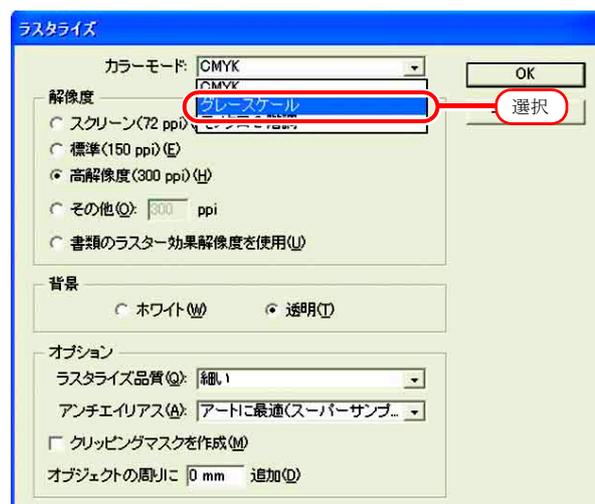


2 “ラスタライズ”ダイアログを表示します。

“カラーモード”から“グレースケール”を選択します。

重要!

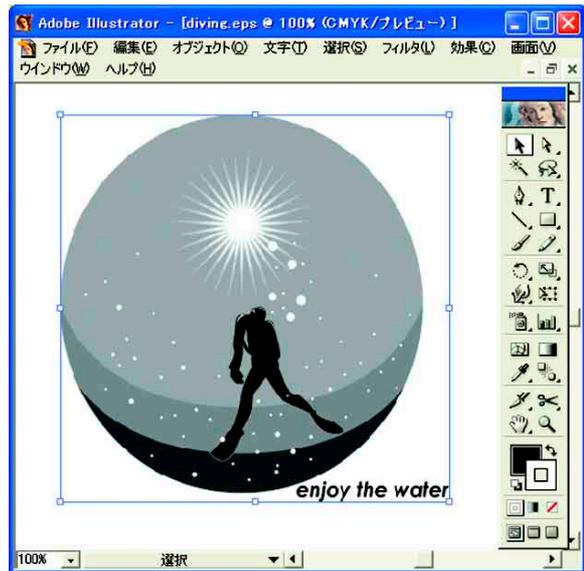
“背景”を“ホワイト”にする
と色を反転した場合、背景色は黒
に、“透明”にした場合そのまま
白になります。



3 グレースケール画像に変換されます。

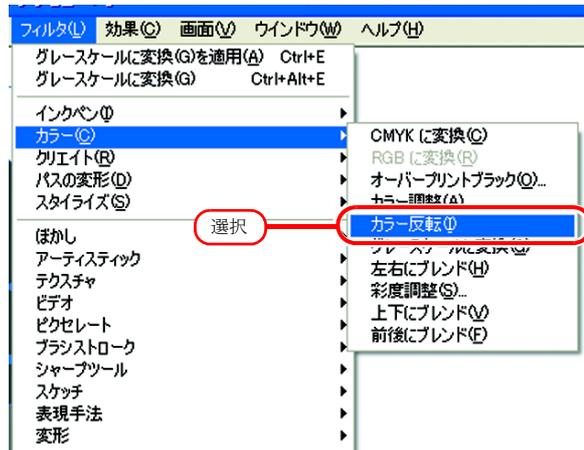
重要!

この時点で全てのオブジェクトは1つのラスターオブジェクトにまとめられます。



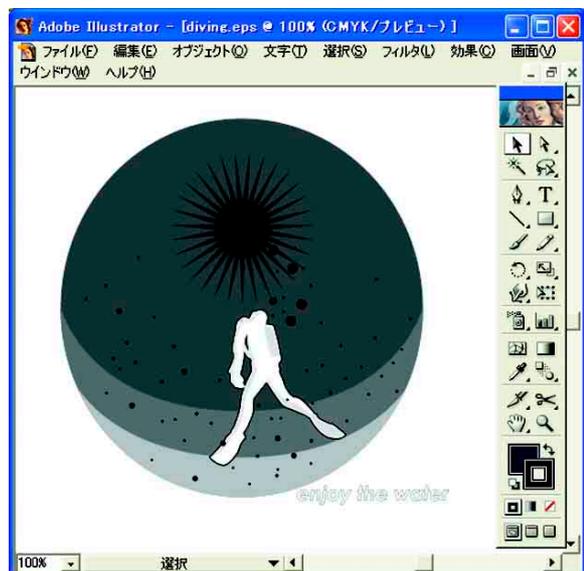
4 画像色を反転させます。

メニューから [フィルタ]-[カラー]-[カラー反転] を選択します。



5 色が反転します。

画像を保存します。



RasterLinkPro5 TA の設定

RasterLinkPro5 TA の設定について説明します。

印刷条件の変更

拔染液のみを使用する場合、印刷条件で以下のように設定します。印刷条件の設定についての詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

1 拔染を行うジョブを選択しジョブエディタを開きます。

2 ジョブエディタの [印刷条件] を開きます。

“拔染”のプロファイルを選択します。



カラー画像と同時に出力する

RasterLinkPro5 TA の設定

RasterLinkPro5 TA の設定について説明します。

カラー画像と同時に抜染液を出力する設定は次のように行います。

1 抜染を行うジョブを選択しジョブエディタを開きます。

2 ジョブエディタの[印刷条件]メニューを開きます。

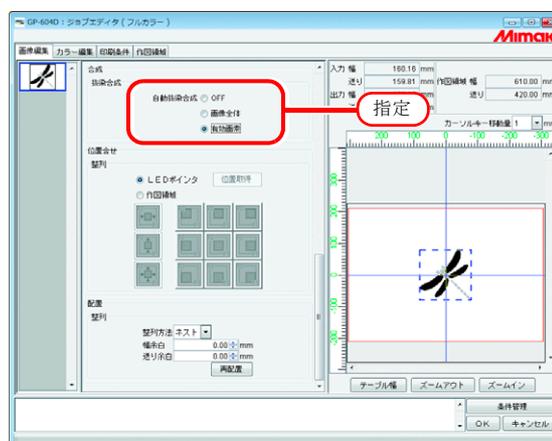
“ 捺染顔料 CMYK ” のプロファイルを選択します。



3 [画像編集]メニューを開きます。

“ 抜染合成 ” で抜染液の出力方法を指定します。

重要! “ 抜染合成 ” が選択できない場合、[印刷条件]でインクセット名が“ 捺染 ” のプロファイルが選択されています。“ 捺染顔料 CMYK ” のプロファイルを選択してください。



自動抜染合成

OFF : 抜染液を出力しません。

画像全体 : 画像全体(プレビューで点線の四角形で囲まれた部分)すべてに抜染液を出力します。

有効画素 : 画像内の色がある部分のみ抜染液を出力します。



索引

記号

.....85

B

Back Space キー.....61

C

CMYK.....67

CMYK カラー.....78

C 保持.....52

D

Delete キー.....61

DIC カラーガイド.....93

I

ICM.....52

IEEE1394.....151

ILL 拡散.....112

K

K 保持.....52

L

LED ポインタを取得してジョブの位置合わせを
行う.....27

M

M 保持.....52

S

S.....111

SS.....111

V

VI 拡散.....112

Y

Y 保持.....52

あ

青いガイドライン.....125

赤い矩形.....120, 122, 124

い

イコライゼーション (情報).....109

“一般” 情報.....151

移動.....18, 132

イメージ.....52

イメージ画像のハイライト部を特色インクで

強調する.....99

イラスト.....52

色取得.....71, 89

色置換.....66

色置換セットの更新.....76

色置換セットの削除.....77

色置換セットの作成.....75

色置換セットの選択.....77

インクカーブ.....58, 60, 63

インク指定リスト.....61

インク状態.....152

“インク” 情報.....152, 154

インク濃度の調整.....56

インクリミット.....58, 59

インクリミット値.....56

印刷条件.....136, 140

印刷条件の編集.....107

印刷情報ラベル印刷.....24

印刷濃度.....100

印刷モード.....108, 111

お

送り.....121, 123

送りオフセット.....121, 123

送り方向.....121, 125, 127

か

カーソルキー移動量.....10, 117

回転.....16

各スロットのインク色と残量.....152

画像基準点を指定してジョブの位置合わせを

行う.....32

画像サイズ表示.....10

画像の配置方法.....120

画像編集.....136, 138

片方向.....112

カバーオープン.....151

カラー.....72

カラーインクと同時に抜染液を使用する.....26

カラーコレクション.....71, 93

カラー調整.....53

カラー調整セット.....54

カラー調整セット名.....54

カラー編集.....	51, 136, 139
カラーマッチング.....	51

き

キーボード.....	63
キーボードによる画像の移動.....	19
キーボードによる原点の移動.....	126
キャリブレーション.....	109, 116
キャリブレーション、イコライゼーション.....	116
キャリブレーション（情報）.....	109

く

グラデーション.....	67, 73, 86
グラデーション置換.....	86
グループ化.....	38
グレーバランス.....	52, 58

け

原点.....	118, 119, 125
原点ガイド.....	119
原点ガイドライン.....	119
原点固定.....	121

こ

コーナ.....	125
更新.....	62, 118
更新ボタン.....	62
合成した複数ジョブの出力順設定.....	48
合成順.....	100
合成順例.....	101
合成に固有の機能.....	49
合成の指定方法.....	47
高速誤差拡散.....	112
後端合わせ.....	127
この取扱説明書について.....	4
コピー.....	20, 134
コピー間隔.....	21
コントラスト.....	57
コントロールポイント.....	60, 61, 63

さ

最大作図エリア.....	120
最大作図エリアの先端.....	119
彩度（グラフィック）.....	52
削除.....	114, 118, 135
作図領域.....	117
作図領域定義ファイル.....	117
作図領域定義ファイルの削除.....	130
作図領域定義ファイルの選択.....	130
作図領域定義ファイルの登録.....	129
作図領域定義ファイル名入力ボックス.....	118
作図領域内でジョブの位置合わせを行う.....	34
作図領域表示.....	10
作図領域内の配置位置を指定する.....	36
サムネイル.....	72, 73

サムネイルリスト.....	10, 11, 132
---------------	-------------

し

指定色を反転表示する.....	71, 73, 85
自動特色版合成.....	100
自動抜染合成.....	26
終端余白 Feed.....	111
出力階調.....	62
出力情報.....	71, 73
出力ポートが IEEE1394 以外の場合.....	154
出力ポートが IEEE1394 の場合.....	151
順次.....	45
条件管理.....	135
条件管理ウィンドウを表示する.....	142
条件セットの新規作成.....	142
条件の設定値を変更する.....	143
条件名入力ボックス.....	135
条件リスト.....	135
条件をジョブに適用する.....	145
状態.....	151
情報表示.....	136
初期原点.....	119
“ジョブ一覧”上で面付けする.....	39
ジョブの配置位置を指定する.....	30, 33
ジョブの編集.....	132
ジョブの編集集中に面付けするジョブを追加する.....	41

す

スウォッチライブラリを作成する.....	85
スケール.....	14
全て表示.....	62
スポットカラー.....	66, 68, 78
スポットカラー・CMYK カラーの置換.....	78

せ

整列.....	45, 133
絶対的な色域を維持.....	52
設定画面.....	10
前回のカーブを表示.....	62
全ジョブに適用.....	146
先端合わせ.....	127

そ

操作パネル設定値.....	115
相対的な色域を維持.....	52
双方向.....	112

た

縦横比固定入力.....	14
単色.....	74
単色置換を設定する.....	74
単色の置換.....	88

ち

知覚的 (画像).....	52
置換後の色.....	74
置換情報一覧.....	72, 73, 84
置換元の色.....	74
中央.....	125
中央合わせ.....	127

つ

追加.....	62, 114, 118, 135
---------	-------------------

て

デバイス調整.....	108, 114
デバイス調整セットリスト.....	114
デバイスプロファイル.....	110
デフォルト.....	121, 123
デフォルトカーブ.....	62
デフォルトに戻す.....	62
デフォルトに戻すボタン.....	62

と

特色.....	111
特色カラーセット.....	111
特色調整.....	98
特色調整セットを更新する.....	103
特色調整セットを削除する.....	103
特色版補正機能.....	105
特色領域.....	100
閉じる.....	136
トリミング.....	23, 133
トリミング印刷.....	23

に

入力階調.....	60, 62
入力情報.....	71, 73
入力プロファイル.....	52

ね

ネスト.....	45
----------	----

の

ノットレディ.....	151
-------------	-----

は

“バージョン” 情報.....	153
ハーフトーン.....	112
配置.....	45
配置 - 整列.....	45
配置方法.....	118, 127
配置方法とネストの関係について.....	22

抜染合成.....	26
幅.....	121, 123, 125
幅オフセット.....	121, 123
幅方向.....	121, 125, 127

ひ

ヒータオフ.....	115
“ヒータ” 情報.....	153
ピッチ指定.....	21

ふ

複数印刷.....	20
複数色置換を設定する.....	71, 73
複数ジョブの入れ替え.....	12
複数のジョブを一度に印刷する.....	38
複数ページ.....	131
プリンタ原点.....	119
プリンタステータス.....	151
プリントエリアビュー.....	117, 119
プリント長.....	152
プリントヒータ.....	115
プレビュー.....	85
プレビュー画面.....	73, 74
プロファイル情報.....	108, 113
プロファイル設定値.....	115
プロファイルの絞込み.....	110
プロファイルリスト.....	108

へ

ヘッドワイパ状態.....	152
---------------	-----

ほ

補間方法.....	62
ホットフォルダ.....	136, 137, 147
ホットフォルダとプリンタドライバの削除.....	149
ホットフォルダとプリンタドライバの作成.....	147
本文中の表記について.....	4

ま

マークについて.....	4
--------------	---

み

ミラー.....	17
----------	----

め

面付けジョブ編集中の面付け解除.....	44
面付けの解除.....	43
面付けの指定方法.....	39

も

元に戻す	62
元に戻すボタン	62

ゆ

ユーザー定義	115
有効	51
有効作図エリア	120
有効作図範囲	118, 121
有効作図範囲の設定	122, 124
有効作図範囲の端面	119

よ

用語について	4
余白指定	21

り

リニアライゼーション	59
リモートアイドル	151
リモートアクティブ	151

れ

レイアウトプレビュー	10, 13
レンダリング	51

ろ

ローカルアイドル	151
ローカルアクティブ	151

